

市民向けアンケート

2022. 2. 15 時点

1. 調査の概要

調査名

犬山市の文化財に関する市民アンケート調査

調査の目的

身の回りにある文化財との日常的な関わりや大切にしたいもの、今後に残したい文化や風習、保存・活用の重要性や継承のために必要なことなど把握し、計画に反映するため。

調査対象

犬山市内在住の18歳以上の市民から無作為に抽出した2,000人

調査方法

郵送による配付・回収

調査期間

令和3年8月10日（火）～令和3年8月31日（火）

回収状況

配布数：2,000 票

有効回収数：933 票 有効回収率：46.7%

調査の見方

- 比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。このため、百分率の合計が100.0%にならないことがある。
- 基数となる実数はNとして掲載しており、各グラフの比率はNを母数とした割合を示している。
- 1人の回答者が複数回答する設問では、比率の合計は100.0%を上回ることがある。
- クロス集計表内は、百分率の数値で表している。
- 記述式の回答は原文のまま記載することを基本としているが、明確な誤字等については修正を加えている。また、不明の場合は「●」とし、無回答欄は「－」としている。

アンケートの精度

$$\text{標本誤差} = \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}} \times 1.96$$

N : 母集団(犬山市の18歳以上人口)
n : サンプル数(有効回答数)
p : 回答比率(1つの選択肢に対して得られた回答者の割合)
1.96: 信頼率 95%と設定した場合の定数(調査の母集団(全市民)に同じ設問をしても、統計学的には95%の確率で同じ回答が得られるというもの)

標本誤差は、以下の式で得られ、比率算出の基数（n、回答者数）、回答の比率（p）によって誤差幅が異なる。

回答比率 (p) 回答者数 (n)	90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	70%または 30%程度	50%程度
2,000	±1.29%	±1.72%	±1.98%	±2.11%	±2.16%
1,500	±1.50%	±2.00%	±2.29%	±2.45%	±2.50%
1,000	±1.84%	±2.46%	±2.82%	±3.01%	±3.07%
933	±1.91%	±2.55%	±2.92%	±3.12%	±3.18%
800	±2.07%	±2.75%	±3.16%	±3.37%	±3.44%
400	±2.93%	±3.91%	±4.48%	±4.79%	±4.88%
200	±4.15%	±5.53%	±6.34%	±6.78%	±6.92%
100	±5.88%	±7.83%	±8.97%	±9.59%	±9.79%
50	±8.31%	±11.08%	±12.70%	±13.57%	±13.85%

<上表の見方>

全体（母集団）の中から一部を抽出する標本調査では、全体を対象に行った調査（全数調査）と比べて調査結果に差が生じることがある。標本誤差とは、そのような誤差のことを指す。標本誤差は標本の抽出方法や標本数によって異なるが、数学的に計算することが可能であり、その計算式を今回の調査にあてはめて算出したのが上表である。

例えば、「ある問の回答者数が933人であり、その設問中の選択肢の回答比率が50%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±3.18%以内（46.82%～53.18%）である」とみることができる。

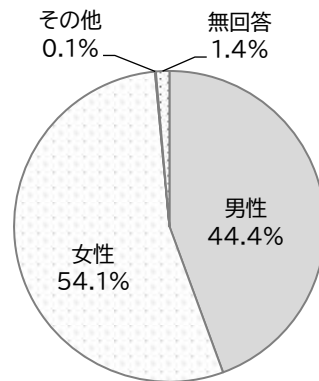
2. 調査の結果

<回答者の属性>

問 16 【性別】

「女性」が54.1%、「男性」が44.4%、「その他」が0.1%となっている。

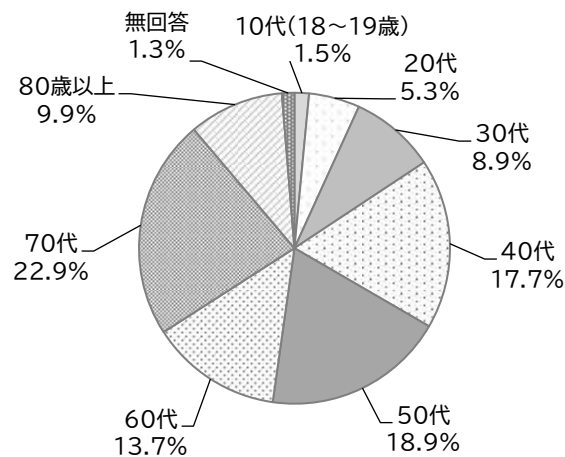
(N=933)



問 16 【年齢】

「70代」が22.9%と最も多く、次いで「50代」が18.9%、「40代」が17.7%となっている。

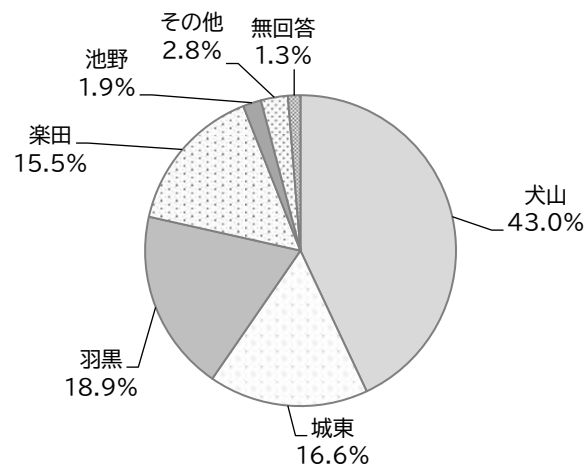
(N=933)



問 16 【居住地区】

「犬山」が 43.0%と最も多く、次いで「羽黒」が 18.9%、「城東」が 16.6%となっている。

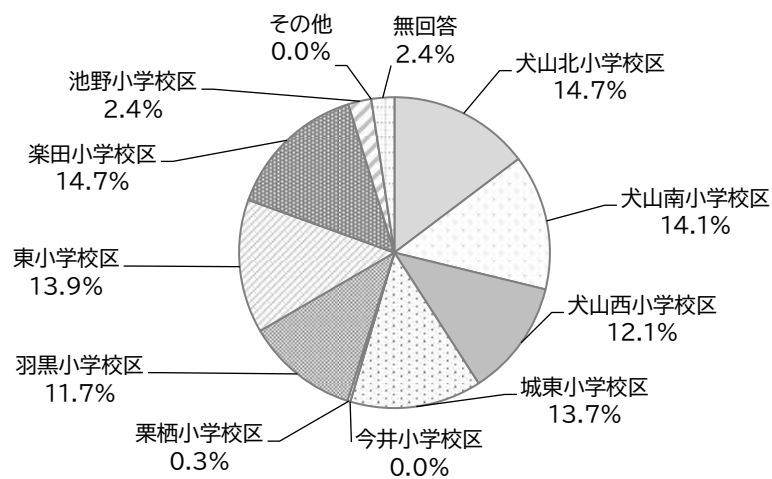
(N=933)



問 16 【居住地区（小学校区）】

「犬山北小学校区」「楽田小学校区」が 14.7%と最も多く、次いで「犬山南小学校区」が 14.1%、「東小学校区」が 13.9%となっている。

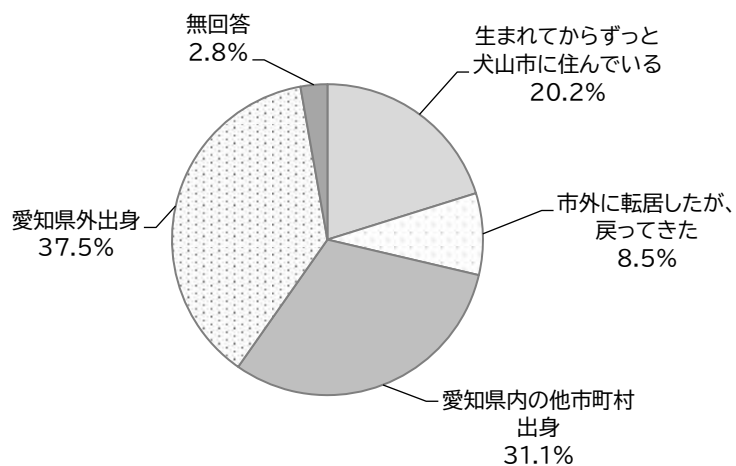
(N=933)



問 16 【出身地】

「愛知県外出身」が 37.5%と最も多く、次いで「愛知県内の他市町村出身」が 31.1%、「生まれてからずっと犬山市に住んでいる」が 20.2%となっている。

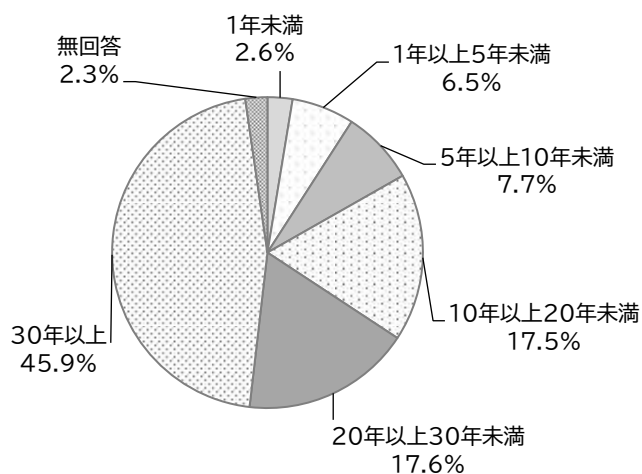
(N=933)



問 16 【現在のお住いの居住年数】

「30 年以上」が 45.9%と最も多く、次いで「20 年以上 30 年未満」が 17.6%、「10 年以上 20 年未満」が 17.5%となっている。

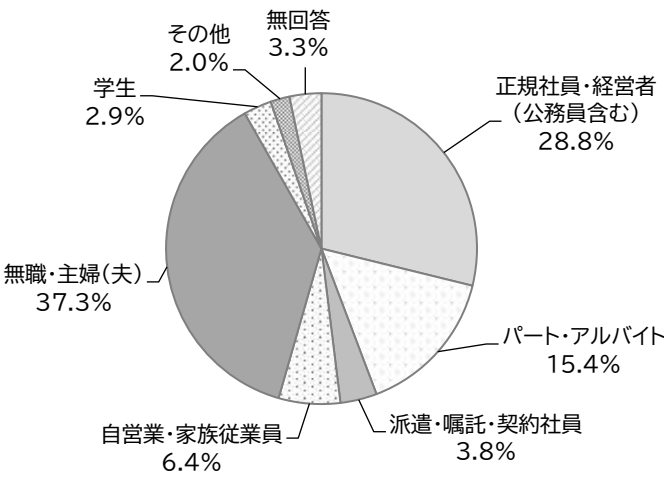
(N=933)



問 16 【職業】

「無職・主婦（夫）」が37.3%と最も多く、次いで「正規社員・経営者（公務員含む）」が28.8%、「パート・アルバイト」が15.4%となっている。

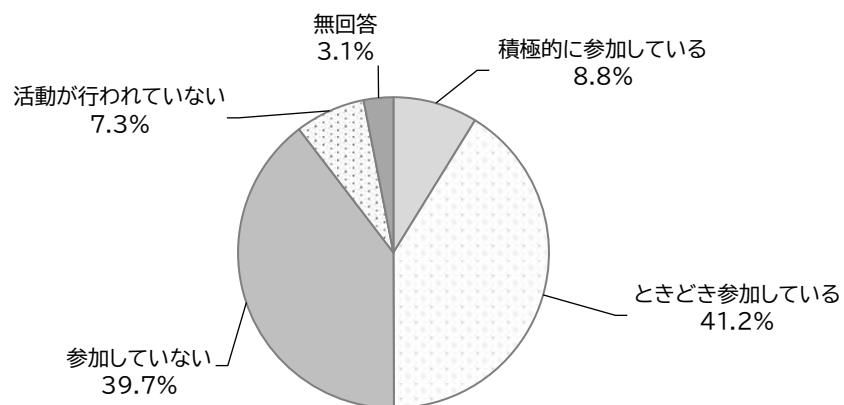
(N=933)



問 16 【地域活動への参加状況】

「ときどき参加している」が 41.2%と最も多く、次いで「参加していない」が 39.7%、「積極的に参加している」が 8.8%となっている。

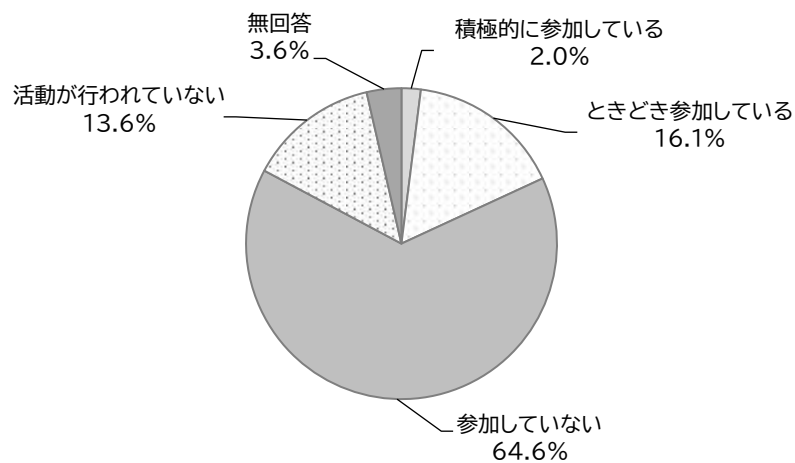
(N=933)



問 16 【文化財の保存・活用活動への参加状況】

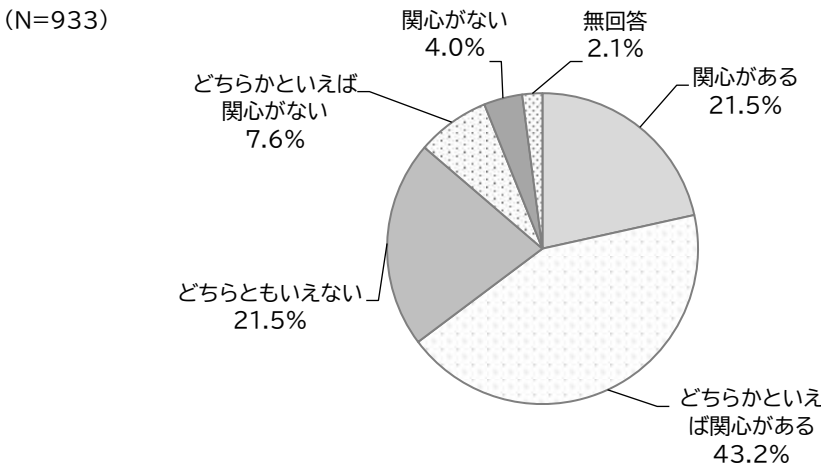
「参加していない」が 64.4%と最も多く、次いで「ときどき参加している」が 16.1%、「活動が行われていない」が 13.6%となっている。

(N=933)



問1 あなたは、文化財に関心がありますか。(○は1つ)

「関心がある」と「どちらかといえば関心がある」を合計した「関心がある傾向」は 64.7%と、半数以上が文化財に関心を持っている。



文化財に対する関心は、性別・年齢・居住地区による傾向はみられない。一方、文化財の保存・活用に「積極的に参加している」人は、文化財への関心が高い。

【性別】

	合計（人）	関心がある	どちらかといえば関心がある	どちらともいえない	どちらかといえば関心がない	関心がない	無回答
全体	933	21.5	43.2	21.5	7.6	4.0	2.1
男性	414	28.0	43.5	18.1	6.3	2.7	1.4
女性	505	15.8	43.8	24.2	8.9	5.1	2.2
その他	1	100.0	—	—	—	—	—
無回答	13	30.8	15.4	30.8	—	—	23.1

【年齢】

	合計（人）	関心がある	どちらかといえば関心がある	どちらともいえない	どちらかといえば関心がない	関心がない	無回答
全体	933	21.5	43.2	21.5	7.6	4.0	2.1
10代（18～19歳）	14	21.4	28.6	14.3	28.6	7.1	—
20代	49	18.4	42.9	6.1	16.3	14.3	2.0
30代	83	21.7	42.2	18.1	9.6	7.2	1.2
40代	165	14.5	44.8	26.7	8.5	4.8	0.6
50代	176	16.5	47.2	22.7	8.0	4.5	1.1
60代	128	19.5	43.0	25.8	7.0	2.3	2.3
70代	214	29.4	42.5	19.2	4.7	1.4	2.8
80歳以上	92	28.3	41.3	20.7	4.3	1.1	4.3
無回答	12	33.3	16.7	33.3	—	—	16.7

【居住地区】

	合計	関心がある	どちらかといえば関心がある	どちらともいえない	どちらかといえば関心がない	関心がない	無回答
全体	933	21.5	43.2	21.5	7.6	4.0	2.1
犬山	401	20.0	46.9	20.4	7.0	3.5	2.2
城東	155	15.5	47.7	21.9	9.0	5.2	0.6
羽黒	176	25.6	37.5	20.5	8.5	4.5	3.4
楽田	145	24.1	39.3	22.8	8.3	4.1	1.4
池野	18	27.8	27.8	33.3	11.1	—	—
その他	26	30.8	42.3	23.1	—	3.8	—
無回答	12	33.3	16.7	33.3	—	—	16.7

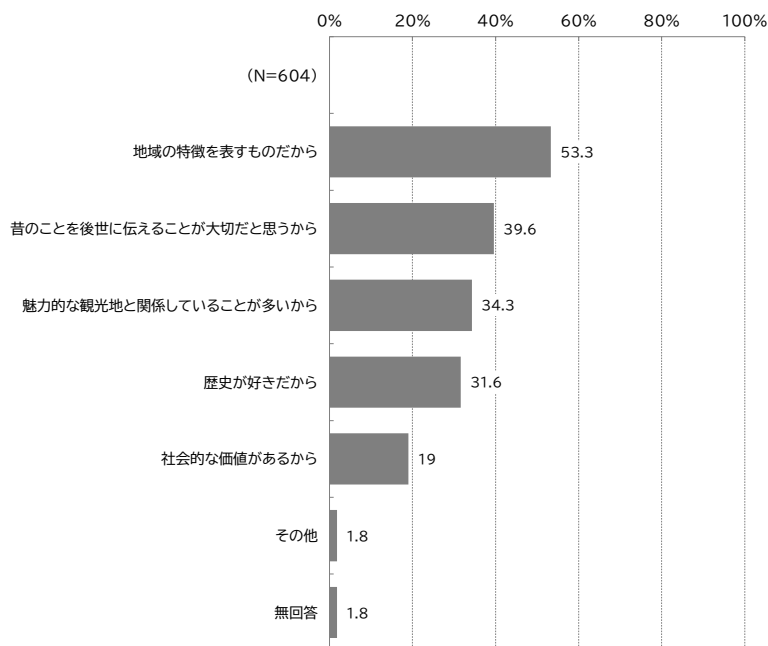
【文化財の保存・活用活動への参加状況】

	合計（人）	関心がある	どちらかといえば関心がある	どちらともいえない	どちらかといえば関心がない	関心がない	無回答
全体	933	21.5	43.2	21.5	7.6	4.0	2.1
積極的に参加している	19	78.9	5.3	15.8	—	—	—
ときどき参加している	150	30.0	49.3	14.0	3.3	2.7	0.7
参加していない	603	16.3	44.3	23.4	10.0	4.5	1.7
活動が行われていない	127	26.8	37.8	26.0	4.7	2.4	2.4
無回答	34	26.5	38.2	8.8	—	8.8	17.6

問1で「1. 関心がある」「2. どちらかといえば関心がある」と回答した方

問2 あなたが文化財に関心がある理由は何ですか。(○は2つまで)

「地域の特徴を表すものだから」が 53.3%と最も多く、次いで「昔のことを後世に伝えることが大切だと思うから」が 39.6%、「魅力的な観光地と関係していることが多いから」が 34.3%となっている。



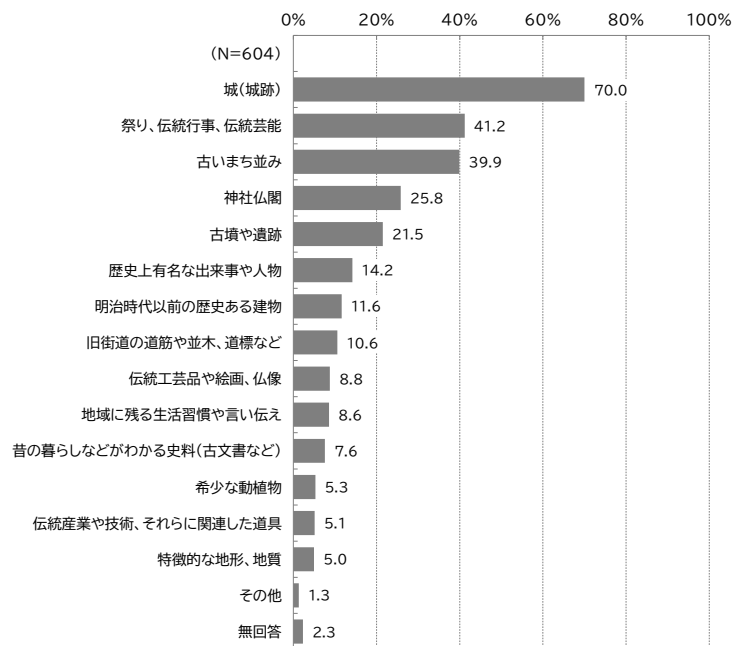
【その他の内容】

- 美しさを感じるものだから（昔の文化、芸術、建築）。
- 江戸時代からの文化財がすごく有る。
- 共有の財産（コモン）だから。
- 建築、神社、寺が好きだから。
- 見るのが好きだから。
- 市民憲章第1項、城と川と緑を守るのは市の最重要なきまり。
- 犬山祭が好きだから。

問1で「1. 関心がある」「2. どちらかといえば関心がある」と回答した方

問3 あなたが関心を持っている文化財はどのようなものですか。(○は3つまで)

「城（城跡）」が70.0%と最も多く、次いで「祭り、伝統行事、伝統芸能」が41.2%、「古いまち並み」が39.9%となっている。



【その他の内容】

- 山、海、川、小川、美しく守って。
- 日の出住宅周辺の桜並木、五条川の桜と彼岸花。
- 昔話
- 方言
- 郷土料理
- 地域に残る伝統的な食べ物、菓子など。

関心を持っている文化財は、20代～50代は「古いまち並み」が高く、60代以上は「祭り、伝統行事、伝統芸能」が高い傾向にある。地区別では、犬山地区・楽田地区では「祭り、伝統行事、伝統芸能」、城東地区・羽黒地区では「古いまち並み」が高い傾向にある。

【性別】

	合計（人）	古墳や遺跡	城（城跡）	明治時代以前の歴史ある建物	古いまち並み	旧街道の道筋や並木、道標など	神社仏閣	祭り、伝統行事、伝統芸能	伝統工芸品や絵画、仏像
全体	604	21.5	70.0	11.6	39.9	10.6	25.8	41.2	8.8
男性	296	22.3	73.0	9.8	40.5	11.5	25.7	39.5	6.1
女性	301	20.6	67.4	13.6	39.2	9.6	25.9	43.5	11.3
その他	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-
無回答	6	16.7	66.7	-	50.0	16.7	33.3	16.7	16.7
		伝統産業や技術、それらに関連した道具	昔の暮らしなどがわかる史料（古文書など）	地域に残る生活習慣や言い伝え	歴史上有名な出来事や人物	希少な動植物	特徴的な地形、地質	その他	無回答
全体		5.1	7.6	8.6	14.2	5.3	5.0	1.3	2.3
男性		4.7	6.4	7.1	15.2	4.1	4.7	0.7	3.4
女性		5.3	8.3	10.3	13.0	6.6	5.0	2.0	1.3
その他		-	100.0	-	-	-	-	-	-
無回答		16.7	16.7	-	33.3	-	16.7	-	-

【年齢】

	合計（人）	古墳や遺跡	城（城跡）	明治時代以前の歴史ある建物	古いまち並み	旧街道の道筋や並木、道標など	神社仏閣	祭り、伝統行事、伝統芸能	伝統工芸品や絵画、仏像
全体	604	21.5	70.0	11.6	39.9	10.6	25.8	41.2	8.8
10代（18～19歳）	7	-	57.1	28.6	42.9	-	28.6	85.7	-
20代	30	3.3	70.0	16.7	56.7	16.7	16.7	40.0	3.3
30代	53	15.1	64.2	13.2	52.8	5.7	24.5	47.2	13.2
40代	98	17.3	69.4	10.2	46.9	11.2	32.7	33.7	12.2
50代	112	19.6	75.9	9.8	38.4	8.9	33.0	37.5	8.9
60代	80	25.0	72.5	13.8	37.5	12.5	20.0	42.5	7.5
70代	154	28.6	68.8	12.3	31.2	13.0	24.0	42.2	8.4
80歳以上	64	26.6	67.2	7.8	35.9	6.3	18.8	48.4	4.7
無回答	6	16.7	66.7	-	50.0	16.7	33.3	16.7	16.7
		伝統産業や技術、それらに関連した道具	昔の暮らしなどがわかる史料（古文書など）	地域に残る生活習慣や言い伝え	歴史上有名な出来事や人物	希少な動植物	特徴的な地形、地質	その他	無回答
全体		5.1	7.6	8.6	14.2	5.3	5.0	1.3	2.3
10代（18～19歳）		-	14.3	-	28.6	14.3	-	-	-
20代		-	6.7	6.7	16.7	3.3	6.7	3.3	-
30代		5.7	5.7	15.1	7.5	3.8	3.8	-	1.9
40代		2.0	3.1	6.1	14.3	7.1	5.1	2.0	4.1
50代		8.9	6.3	8.9	14.3	7.1	7.1	0.9	0.9
60代		7.5	10.0	6.3	11.3	3.8	5.0	2.5	1.3
70代		3.9	7.8	7.8	14.3	3.2	2.6	1.3	3.9
80歳以上		4.7	14.1	14.1	18.8	7.8	6.3	-	1.6
無回答		16.7	16.7	-	33.3	-	16.7	-	-

【居住地区】

	合計（人）	古墳や遺跡	城（城跡）	明治時代以前の歴史ある建物	古いまち並み	旧街道の道筋や並木、道標など	神社仏閣	祭り、伝統行事、伝統芸能	伝統工芸品や絵画、仏像
全体	604	21.5	70.0	11.6	39.9	10.6	25.8	41.2	8.8
犬山	268	18.3	71.3	12.3	38.8	11.2	23.5	44.8	10.8
城東	98	19.4	65.3	8.2	42.9	12.2	28.6	34.7	8.2
羽黒	111	23.4	68.5	10.8	46.8	7.2	27.0	41.4	8.1
桑田	92	26.1	70.7	13.0	31.5	9.8	26.1	42.4	5.4
池野	10	70.0	80.0	10.0	30.0	10.0	40.0	10.0	10.0
その他	19	21.1	78.9	21.1	42.1	15.8	26.3	42.1	-
無回答	6	16.7	66.7	-	50.0	16.7	33.3	16.7	16.7
		伝統産業や技術、それらに関連した道具	昔の暮らしなどがわかる史料（古文書など）	地域に残る生活習慣や言い伝え	歴史上有名な出来事や人物	希少な動植物	特徴的な地形、地質	その他	無回答
全体		5.1	7.6	8.6	14.2	5.3	5.0	1.3	2.3
犬山		5.6	7.5	7.8	13.4	4.1	5.6	0.7	2.2
城東		6.1	8.2	9.2	12.2	9.2	5.1	3.1	3.1
羽黒		2.7	9.0	10.8	13.5	5.4	3.6	0.9	2.7
桑田		5.4	5.4	9.8	17.4	5.4	4.3	2.2	2.2
池野		10.0	10.0	-	-	-	10.0	-	-
その他		-	5.3	5.3	26.3	5.3	-	-	-
無回答		16.7	16.7	-	33.3	-	16.7	-	-

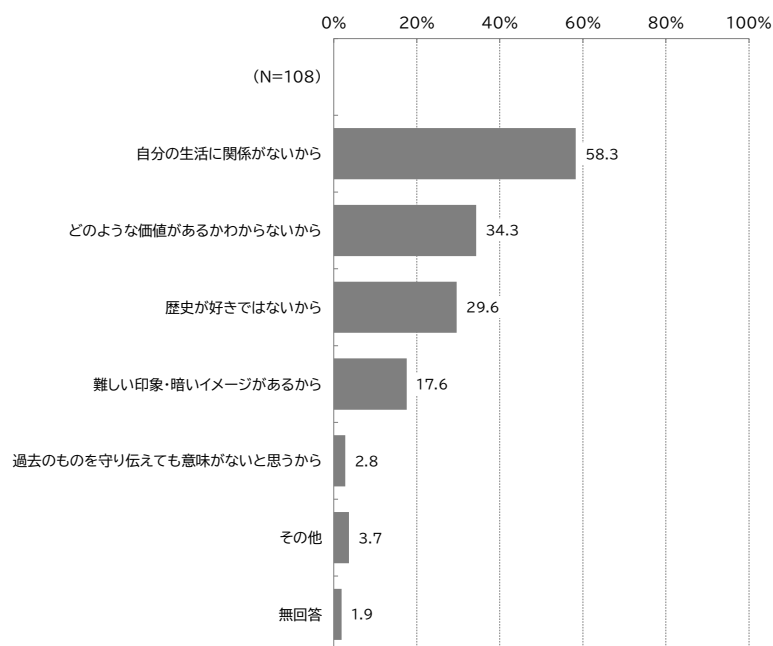
【文化財の保存・活用活動への参加状況】

	合計（人）	古墳や遺跡	城（城跡）	明治時代以前の歴史ある建物	古いまち並み	旧街道の道筋や並木、道標など	神社仏閣	祭り、伝統行事、伝統芸能	伝統工芸品や絵画、仏像
全体	604	21.5	70.0	11.6	39.9	10.6	25.8	41.2	8.8
積極的に参加している	16	18.8	37.5	12.5	37.5	12.5	18.8	43.8	-
ときどき参加している	119	25.2	71.4	9.2	36.1	12.6	34.5	41.2	10.9
参加していない	365	21.6	72.3	11.5	44.4	9.9	21.9	39.2	8.2
活動が行われていない	82	18.3	64.6	14.6	30.5	9.8	34.1	45.1	12.2
無回答	22	13.6	68.2	13.6	22.7	13.6	18.2	59.1	-
		伝統産業や技術、それらに関連した道具	昔の暮らしなどがわかる史料（古文書など）	地域に残る生活習慣や言い伝え	歴史上有名な出来事や人物	希少な動植物	特徴的な地形、地質	その他	無回答
全体		5.1	7.6	8.6	14.2	5.3	5.0	1.3	2.3
積極的に参加している		-	18.8	6.3	-	-	6.3	-	18.8
ときどき参加している		3.4	8.4	8.4	10.9	2.5	7.6	1.7	0.8
参加していない		5.8	7.4	8.5	15.1	6.0	3.8	1.4	2.2
活動が行われていない		6.1	4.9	8.5	14.6	7.3	4.9	-	2.4
無回答		4.5	9.1	13.6	27.3	4.5	9.1	4.5	-

問1で「4. どちらかといえば関心がない」「5. 関心がない」と回答した方

問4 あなたが文化財に関心がない理由は何ですか。(○は2つまで)

「自分の生活に関係がないから」が 58.3%と最も多く、次いで「どのような価値があるかわからないから」が 34.3%、「歴史が好きではないから」が 29.6%となっている。

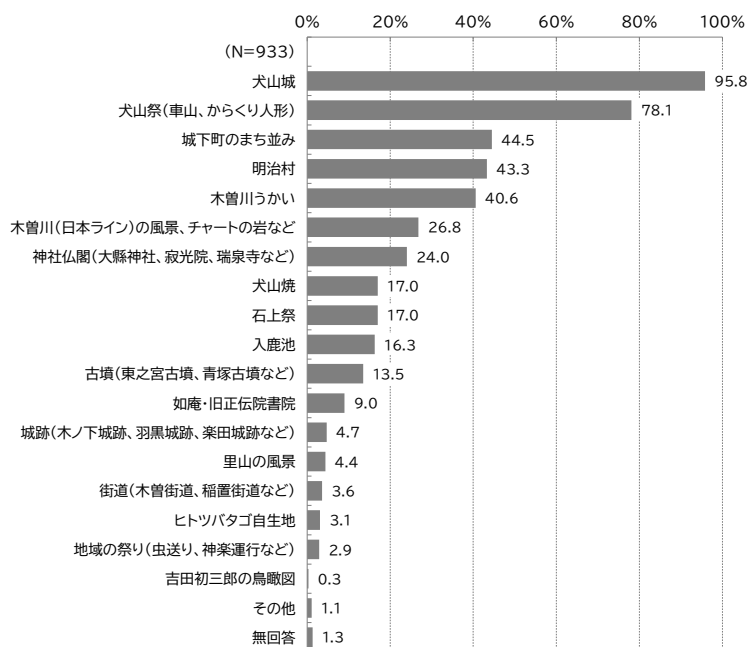


【その他の内容】

- 文化財と一口に言っても、具体的な文化財を知らない。
- 観光に力を入れて、社会保険等が高い。
- その土地に住んでいると、面倒な事が多いから。よそで見る分にはいいが。
- 関心を持つきっかけがない為。

問5 あなたが「犬山市らしい」と思う文化財は何ですか（〇は5つまで）

「犬山城」が95.8%と最も多く、次いで「犬山祭（車山、からくり人形）」が78.1%、「城下町のまち並み」が44.5%となっている。



【その他の内容】

- モンキーパーク、リトルワールド。
- 日の出住宅周辺の桜並木、五条川の桜と彼岸花。
- ライン祭り花火。
- 名鉄
- 用水路、鉄道、職犬、わん犬リサイクルステーションへ行く途中の湧き水、村社の行事。
- 木曽川花火

「犬山市らしい」という文化財のうち、「城下町のまち並み」は、年齢が高くなるにつれて低下傾向にある。

また、「石上祭」は池野地区や羽黒地区で高い一方、その他の地区では低くなっており、地域性がみられる。

【性別】

	合計（人）	犬山城	犬山祭（車山、からくり人形）	城下町のまち並み	如庵・旧正伝院書院	木曾川（日本ライン）の風景、チャートの岩など	木曾川うかい	吉田初三郎の鳥瞰図	古墳（東之宮古墳、青塚古墳など）	城跡（木ノ下城跡、羽黒城跡、栗田城跡など）	街道（木曾街道、稲置街道など）
全体	933	95.8	78.1	44.5	9.0	26.8	40.6	0.3	13.5	4.7	3.6
男性	414	95.2	74.9	44.9	7.2	24.4	38.6	0.5	15.5	8.0	5.8
女性	505	96.6	81.4	45.0	10.5	28.5	42.0	0.2	12.1	2.0	2.0
その他	1	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-
無回答	13	84.6	61.5	15.4	7.7	30.8	53.8	-	7.7	7.7	-
		犬山焼	神社仏閣（大森神社、寂光院、瑞泉寺など）	明治村	入鹿池	ヒトツバタゴ自生地	石上祭	地域の祭り（虫送り、神楽運行など）	里山の風景	その他	無回答
全体		17.0	24.0	43.3	16.3	3.1	17.0	2.9	4.4	1.1	1.3
男性		13.8	27.1	41.5	17.9	2.4	17.6	3.6	4.6	1.0	1.2
女性		19.8	21.6	44.0	15.0	3.8	16.2	2.4	4.4	1.2	1.0
その他		100.0	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-
無回答		7.7	23.1	69.2	7.7	-	30.8	-	-	-	15.4

【年齢】

	合計（人）	犬山城	犬山祭（車山、からくり人形）	城下町のまち並み	如庵・旧正伝院書院	木曾川（日本ライン）の風景、チャートの岩など	木曾川うかい	吉田初三郎の鳥瞰図	古墳（東之宮古墳、青塚古墳など）	城跡（木ノ下城跡、羽黒城跡、栗田城跡など）	街道（木曾街道、稲置街道など）
全体	933	95.8	78.1	44.5	9.0	26.8	40.6	0.3	13.5	4.7	3.6
10代（18～19歳）	14	92.9	71.4	57.1	7.1	7.1	28.6	-	7.1	14.3	-
20代	49	93.9	73.5	67.3	2.0	24.5	28.6	-	2.0	2.0	2.0
30代	83	97.6	75.9	67.5	4.8	16.9	41.0	-	3.6	1.2	2.4
40代	165	97.6	75.8	51.5	7.9	26.7	47.9	0.6	6.7	4.2	2.4
50代	176	97.7	81.8	48.9	4.5	23.9	48.9	-	9.7	2.8	2.3
60代	128	93.8	79.7	42.2	8.6	28.1	43.0	-	20.3	4.7	2.3
70代	214	94.4	79.0	29.9	16.4	34.6	30.8	0.9	23.8	6.1	7.0
80歳以上	92	96.7	78.3	29.3	10.9	25.0	38.0	-	16.3	8.7	5.4
無回答	12	83.3	66.7	16.7	8.3	33.3	50.0	-	8.3	8.3	-
		犬山焼	神社仏閣（大森神社、寂光院、瑞泉寺など）	明治村	入鹿池	ヒトツバタゴ自生地	石上祭	地域の祭り（虫送り、神楽運行など）	里山の風景	その他	無回答
全体		17.0	24.0	43.3	16.3	3.1	17.0	2.9	4.4	1.1	1.3
10代（18～19歳）		7.1	14.3	35.7	-	-	14.3	-	14.3	7.1	7.1
20代		14.3	10.2	46.9	18.4	4.1	20.4	-	6.1	2.0	2.0
30代		12.0	21.7	44.6	13.3	3.6	8.4	2.4	3.6	-	1.2
40代		15.2	19.4	40.0	14.5	4.2	16.4	1.8	3.0	1.8	0.6
50代		18.8	20.5	49.4	18.2	2.8	13.6	1.7	3.4	-	-
60代		21.1	28.1	45.3	14.1	0.8	16.4	2.3	5.5	0.8	1.6
70代		16.4	29.9	40.2	17.3	3.7	15.9	6.5	5.1	0.9	1.9
80歳以上		21.7	30.4	37.0	22.8	3.3	32.6	2.2	4.3	2.2	-
無回答		8.3	25.0	66.7	-	-	33.3	-	-	-	16.7

【居住地区】

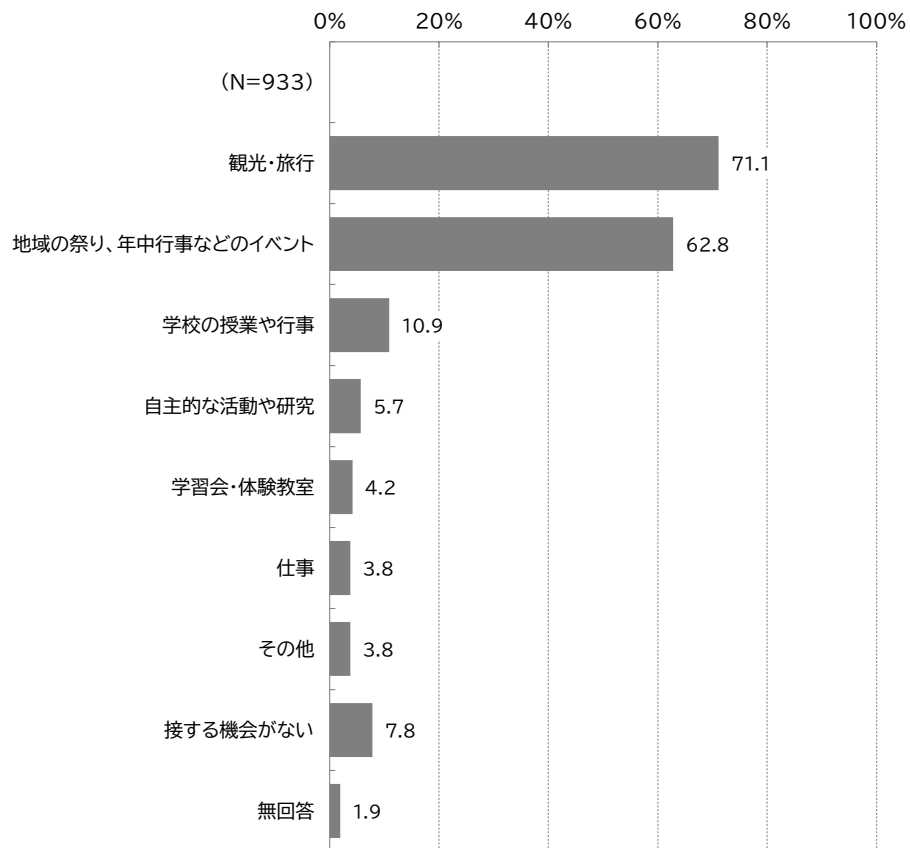
	合計	犬山城	犬山祭（車山、からくり人形）	城下町のまち並み	如庵・旧正伝院書院	木曾川（日本ライン）の風景、チャートの岩など	木曾川うかい	吉田初三郎の鳥瞰図	古墳（東之宮古墳、青塚古墳など）	城跡（木ノ下城跡、羽黒城跡、栗田城跡など）	街道（木曾街道、稲置街道など）
全体	933	95.8	78.1	44.5	9.0	26.8	40.6	0.3	13.5	4.7	3.6
犬山	401	96.8	82.5	48.6	10.7	29.9	41.9	0.5	11.5	3.5	3.2
城東	155	98.1	81.3	46.5	9.0	21.9	41.3	-	11.0	5.8	7.1
羽黒	176	93.8	76.1	38.1	5.7	23.9	37.5	-	10.8	2.8	1.7
桑田	145	93.1	68.3	39.3	8.3	24.1	35.9	0.7	23.4	9.7	4.1
池野	18	100.0	72.2	38.9	5.6	27.8	38.9	-	33.3	-	-
その他	26	100.0	69.2	57.7	11.5	38.5	61.5	-	11.5	3.8	3.8
無回答	12	83.3	66.7	16.7	8.3	33.3	50.0	-	8.3	8.3	-
		犬山焼	神社仏閣（大森神社、寂光院、瑞泉寺など）	明治村	入鹿池	ヒトツバタゴ自生地	石上祭	地域の祭り（虫送り、神楽運行など）	里山の風景	その他	無回答
全体		17.0	24.0	43.3	16.3	3.1	17.0	2.9	4.4	1.1	1.3
犬山		18.7	21.2	42.1	14.0	3.2	10.5	2.2	4.0	1.0	0.7
城東		18.1	21.3	44.5	12.3	0.6	13.5	5.2	5.8	1.3	0.6
羽黒		14.8	27.3	50.0	18.8	6.3	34.1	2.8	5.7	1.1	1.1
桑田		15.9	33.8	37.9	21.4	2.1	13.8	3.4	3.4	-	2.8
池野		11.1	16.7	16.7	44.4	5.6	44.4	-	-	11.1	-
その他		15.4	11.5	46.2	19.2	-	15.4	-	3.8	-	-
無回答		8.3	25.0	66.7	-	-	33.3	-	-	-	16.7

【文化財の保存・活用活動への参加状況】

	合計	犬山城	犬山祭（車山、からくり人形）	城下町のまち並み	如庵・旧正伝院書院	木曾川（日本ライン）の風景、チャートの岩など	木曾川うかい	吉田初三郎の鳥瞰図	古墳（東之宮古墳、青塚古墳など）	城跡（木ノ下城跡、羽黒城跡、栗田城跡など）	街道（木曾街道、稲置街道など）
全体	933	95.8	78.1	44.5	9.0	26.8	40.6	0.3	13.5	4.7	3.6
積極的に参加している	19	100.0	89.5	57.9	10.5	21.1	47.4	-	15.8	-	5.3
ときどき参加している	150	94.0	80.7	40.7	6.7	30.0	28.7	-	23.3	8.0	5.3
参加していない	603	96.8	77.8	45.8	10.0	24.9	42.1	0.3	12.1	3.8	3.5
活動が行われていない	127	94.5	75.6	44.1	7.9	32.3	44.9	0.8	7.1	4.7	2.4
無回答	34	88.2	76.5	32.4	5.9	29.4	47.1	-	17.6	8.8	2.9
		犬山焼	神社仏閣（大森神社、寂光院、瑞泉寺など）	明治村	入鹿池	ヒトツバタゴ自生地	石上祭	地域の祭り（虫送り、神楽運行など）	里山の風景	その他	無回答
全体		17.0	24.0	43.3	16.3	3.1	17.0	2.9	4.4	1.1	1.3
積極的に参加している		10.5	21.1	36.8	21.1	5.3	26.3	-	-	-	-
ときどき参加している		21.3	26.0	40.7	18.7	0.7	19.3	4.7	2.0	2.7	1.3
参加していない		16.3	22.2	44.6	14.4	3.5	15.8	2.7	4.8	0.8	1.2
活動が行われていない		19.7	29.9	40.9	20.5	3.9	18.1	2.4	4.7	-	0.8
無回答		5.9	26.5	44.1	20.6	2.9	20.6	2.9	8.8	2.9	5.9

問6 あなたが文化財に接するのはどのような機会ですか。(〇はいくつでも)

「観光・旅行」が71.1%と最も多く、次いで「地域の祭り、年中行事などのイベント」が62.8%、「学校の授業や行事」が10.9%となっている。

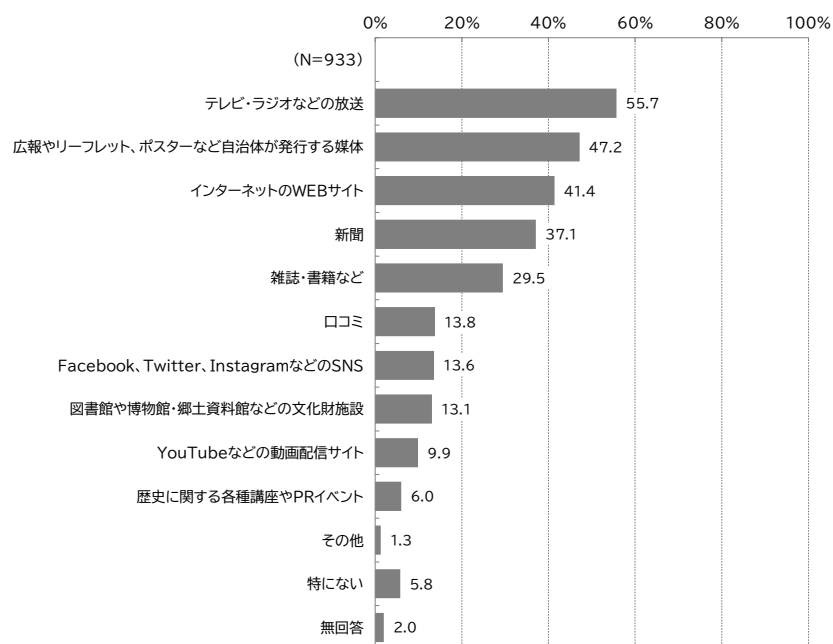


【その他の内容】

● 家族みんな城が大好きです、チョット犬山城に行こうか！と、時々訪れる事が有ります。
● 各務原市主催の里山自然ハイキングに参加した時、木曽川の風景、チャートの岩などに接した。
● サイクリング、ランニングで稀に。
● 正月
● 広報による文化財の記事。ケーブルテレビでの放映。
● 犬山高校からくり文化部。
● 実家が文化財の指定を受けている。
● 友人（別区域の人）を連れて行く。
● 花の開花時期の散策。
● 情報誌、広報、新聞 etc。
● ボランティア活動。
● 日常の風景として。
● 毎朝、散歩で神社にお参りしています。
● 神社お寺に参拝。
● 大学の講義、博物館、美術館、神社仏閣。
● 写真撮影
● 実家が犬山祭の山車がある町内なので。
● 青塚古墳の清掃、行事等。
● 里山学センター
● 散歩。好きだから見に行く。
● コミュニティの行事での「歴史探訪の会」で行くことがある。
● 散歩、サイクリング。
● 毎日通る道にあるから。
● ウォーキングのコース。
● 子供が城や古墳に興味を持った時。
● 散歩(子供との)。
● 他県からお客さんが来た時、一緒に犬山城へ。
● 友人が来て、案内する時。

問7 あなたはどのような媒体から文化財の情報を得ていますか。(○はいくつでも)

「テレビ・ラジオなどの放送」が55.7%と最も多く、次いで「広報やリーフレット、ポスターなど自治体が発行する媒体」が47.2%、「インターネットのWEBサイト」が41.4%となっている。



【その他の内容】

- 幼少時の学習。
- 旅行者から送付されるパンフレット。
- ボランティア活動。
- 道路案内看板
- 直接出向いて感じ取る。
- 地域のコミュニティ（子供会など）。
- 以前あった市民ミュージカル。
- 散歩時に看板で。
- 親

文化財の情報を得る媒体として、10代及び20代は「Facebook、Twitter、InstagramなどのSNS」、30代及び40代は「インターネットのWEBサイト」、50代以上は「テレビ・ラジオなどの放送」が高い傾向にある。

【性別】

	合計（人）	インターネットのWEBサイト	Facebook、Twitter、InstagramなどのSNS	YouTubeなどの動画配信サイト	テレビ・ラジオなどの放送	広報やリーフレット、ポスターなど自治体が発行する媒体	新聞	雑誌・書籍など
全体	933	41.4	13.6	9.9	55.7	47.2	37.1	29.5
男性	414	46.4	10.4	13.0	54.1	42.8	33.3	32.6
女性	505	37.4	16.4	7.1	57.4	50.7	40.2	26.7
その他	1	100.0	-	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
無回答	13	30.8	7.7	7.7	38.5	46.2	30.8	30.8
		歴史に関する各種講座やPRイベント	図書館や博物館・郷土資料館などの文化財施設	口コミ	その他	特にない	無回答	
全体		6.0	13.1	13.8	1.3	5.8	2.0	
男性		7.0	13.5	12.1	1.7	6.3	1.9	
女性		5.3	12.5	15.4	1.0	5.5	1.6	
その他		-	-	-	-	-	-	-
無回答		-	23.1	7.7	-	-	23.1	

【年齢】

	合計（人）	インターネットのWEBサイト	Facebook、Twitter、InstagramなどのSNS	YouTubeなどの動画配信サイト	テレビ・ラジオなどの放送	広報やリーフレット、ポスターなど自治体が発行する媒体	新聞	雑誌・書籍など
全体	933	41.4	13.6	9.9	55.7	47.2	37.1	29.5
10代（18～19歳）	14	42.9	57.1	14.3	28.6	21.4	14.3	7.1
20代	49	46.9	49.0	18.4	28.6	40.8	4.1	20.4
30代	83	67.5	38.6	16.9	38.6	45.8	13.3	21.7
40代	165	61.8	18.2	12.1	47.9	44.2	22.4	24.2
50代	176	52.3	10.2	11.4	60.8	42.0	34.1	27.8
60代	128	36.7	3.1	7.8	66.4	45.3	43.8	35.2
70代	214	22.0	3.7	6.1	61.2	58.9	55.1	36.4
80歳以上	92	9.8	2.2	3.3	68.5	46.7	62.0	32.6
無回答	12	33.3	8.3	8.3	41.7	41.7	25.0	33.3
		歴史に関する各種講座やPRイベント	図書館や博物館・郷土資料館などの文化財施設	口コミ	その他	特にない	無回答	
全体		6.0	13.1	13.8	1.3	5.8	2.0	
10代（18～19歳）		-	7.1	-	-	14.3	7.1	
20代		4.1	18.4	10.2	4.1	16.3	2.0	
30代		1.2	16.9	14.5	1.2	8.4	-	
40代		4.2	10.9	10.3	1.8	4.8	0.6	
50代		2.3	4.5	11.9	1.1	6.8	1.1	
60代		3.9	7.8	12.5	-	4.7	0.8	
70代		14.0	17.3	17.8	1.9	3.3	1.9	
80歳以上		7.6	23.9	20.7	-	4.3	6.5	
無回答		-	25.0	8.3	-	-	25.0	

【居住地区】

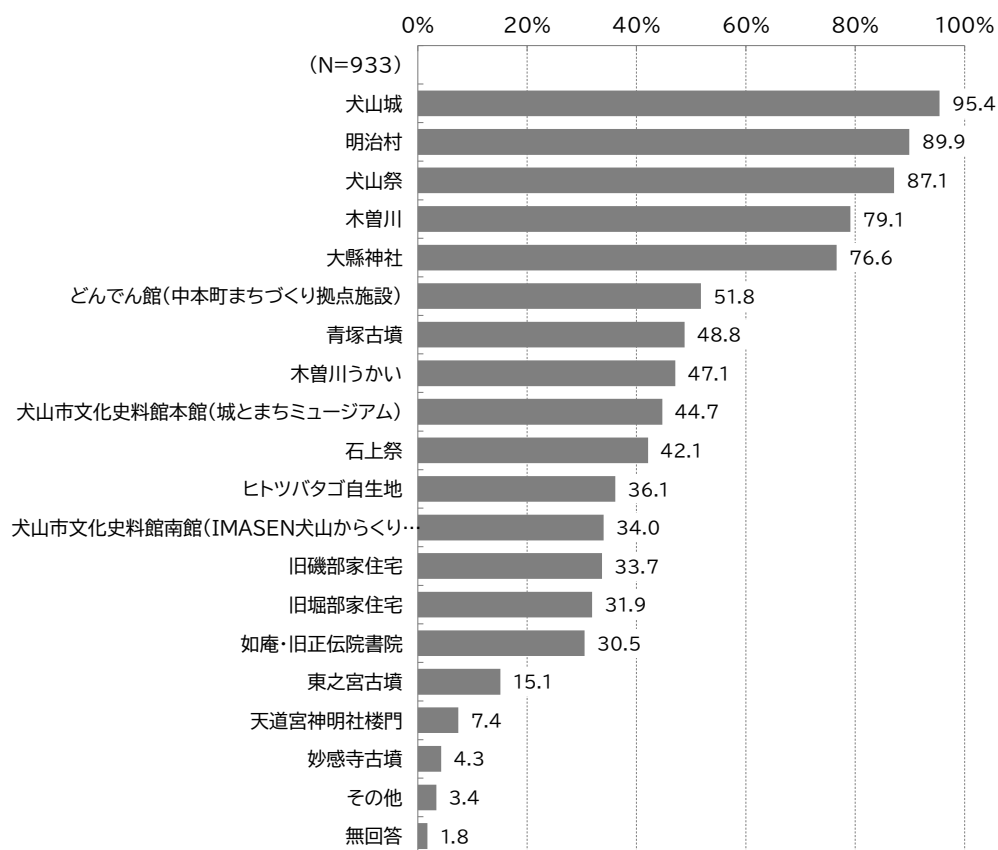
	合計	インターネットのWEBサイト	Facebook、Twitter、InstagramなどのSNS	YouTubeなどの動画配信サイト	テレビ・ラジオなどの放送	広報やリーフレット、ポスターなど自治体が発行する媒体	新聞	雑誌・書籍など
全体	933	41.4	13.6	9.9	55.7	47.2	37.1	29.5
犬山	401	45.6	16.5	11.2	55.6	46.1	38.2	28.4
城東	155	41.3	13.5	9.7	54.2	48.4	34.2	26.5
羽黒	176	36.4	11.4	6.8	57.4	47.7	35.2	29.0
楽田	145	33.8	11.7	9.0	55.9	44.1	39.3	32.4
池野	18	38.9	5.6	16.7	72.2	55.6	66.7	50.0
その他	26	57.7	3.8	11.5	50.0	65.4	23.1	34.6
無回答	12	33.3	8.3	8.3	41.7	41.7	25.0	33.3
		歴史に関する各種講座やPRイベント	図書館や博物館・郷土資料館などの文化財施設	口コミ	その他	特になし	無回答	
全体		6.0	13.1	13.8	1.3	5.8	2.0	
犬山		7.0	14.2	16.0	1.2	4.0	1.5	
城東		5.2	12.3	14.8	1.3	9.0	2.6	
羽黒		3.4	11.9	11.4	1.1	5.7	2.3	
楽田		7.6	11.7	10.3	1.4	8.3	1.4	
池野		16.7	22.2	27.8	5.6	5.6	-	
その他		-	3.8	3.8	-	3.8	-	
無回答		-	25.0	8.3	-	-	25.0	

【文化財の保存・活用活動への参加状況】

	合計	インターネットのWEBサイト	Facebook、Twitter、InstagramなどのSNS	YouTubeなどの動画配信サイト	テレビ・ラジオなどの放送	広報やリーフレット、ポスターなど自治体が発行する媒体	新聞	雑誌・書籍など	歴史に関する各種講座やPRイベント
全体	933	41.4	13.6	9.9	55.7	47.2	37.1	29.5	6.0
積極的に参加している	19	36.8	10.5	15.8	52.6	57.9	36.8	36.8	26.3
ときどき参加している	150	40.7	14.7	8.7	62.7	56.0	49.3	36.7	16.7
参加していない	603	43.0	14.1	10.1	54.2	45.6	35.2	28.4	3.6
活動が行われていない	127	39.4	13.4	10.2	54.3	46.5	32.3	24.4	2.4
無回答	34	26.5	2.9	5.9	58.8	32.4	35.3	32.4	2.9
		雑誌・書籍など	歴史に関する各種講座やPRイベント	図書館や博物館・郷土資料館などの文化財施設	口コミ	その他	特になし	無回答	
全体		29.5	6.0	13.1	13.8	1.3	5.8	2.0	
積極的に参加している		36.8	26.3	42.1	15.8	5.3	-	5.3	
ときどき参加している		36.7	16.7	22.7	15.3	-	3.3	2.0	
参加していない		28.4	3.6	10.4	14.6	1.5	7.1	1.3	
活動が行われていない		24.4	2.4	11.0	9.4	-	4.7	1.6	
無回答		32.4	2.9	8.8	8.8	5.9	-	14.7	

問8 犬山市には数多くの文化財や文化財に関連する施設があります。あなたが実際に行ったことや見たことがある文化財はどれですか。(〇はいくつでも)

「犬山城」が95.4%と最も多く、次いで「明治村」が89.9%、「犬山祭」が87.1%となっている。



【その他の内容】

● 桃太郎神社
● 犬山焼、尾関作十郎。
● 桃太郎神社、緑地、木曽川緑地、八曽。
● 岩田洗心館、本町大島家。
● 子供達が行くような所全て。
● 磯部家の住宅見学、昔の着物など拝見、蔵が二階作りでとても広くイベントが出来るくらい。
● 桃太郎神社
● リトルワールド
● 明治村
● 磨墨公園（墓）。
● タカラヤビル
● 小弓の庄。
● 入鹿池
● 旧石器時代から古代に至る遺跡（犬山市史史料編三遺跡分布図の遺跡）。
● 陽徳寺、大日如来像。
● 里山学センター
● 御旅所、元宮、針綱神社。
● 寂光院、桃太郎公園、成田山。
● 桃太郎神社公園
● モンキーパーク、リトルワールド
● 針綱神社、寂光院、圓明寺、桃太郎神社

「犬山祭」は犬山地区、「大縣神社」は楽田地区、「石上祭」は池野地区で高くなっており、居住地からの距離が影響している。

【性別】

	合計（人）	犬山城	如庵・旧正伝院書院	大縣神社	明治村	天道宮神明社楼門	旧磯部家住宅	旧堀部家住宅	東之宮古墳	青塚古墳	妙感寺古墳
全体	933	95.4	30.5	76.6	89.9	7.4	33.7	31.9	15.1	48.8	4.3
男性	414	95.4	30.0	76.8	87.2	7.0	29.7	25.8	16.4	52.9	5.6
女性	505	96.0	31.3	77.0	92.7	7.9	36.8	37.0	14.5	46.1	3.4
その他	1	100.0	-	100.0	100.0	-	100.0	100.0	-	-	-
無回答	13	69.2	23.1	53.8	69.2	-	30.8	23.1	-	23.1	-
		犬山祭	石上祭	木曾川	木曾川うかい	ヒトツバタゴ自生地	犬山市文化史料館本館（城とまちミュージアム）	犬山市文化史料館南館（IMASEN犬山からくりミュージアム玉屋庄兵衛工房）	どんでん館（中本町まちづくり拠点施設）	その他	無回答
全体		87.1	42.1	79.1	47.1	36.1	44.7	34.0	51.8	3.4	1.8
男性		85.0	44.7	79.2	47.3	33.6	38.2	30.0	45.4	3.6	1.9
女性		89.3	40.2	80.0	47.1	38.8	50.7	37.6	56.8	3.4	1.0
その他		100.0	-	100.0	100.0	-	100.0	100.0	100.0	-	-
無回答		69.2	38.5	38.5	30.8	15.4	15.4	15.4	53.8	-	30.8

【年齢】

	合計（人）	犬山城	如庵・旧正伝院書院	大縣神社	明治村	天道宮神明社楼門	旧磯部家住宅	旧堀部家住宅	東之宮古墳	青塚古墳	妙感寺古墳
全体	933	95.4	30.5	76.6	89.9	7.4	33.7	31.9	15.1	48.8	4.3
10代（18～19歳）	14	92.9	7.1	42.9	85.7	-	28.6	21.4	7.1	57.1	-
20代	49	93.9	10.2	55.1	87.8	2.0	18.4	16.3	4.1	61.2	2.0
30代	83	97.6	13.3	69.9	86.7	-	20.5	16.9	6.0	37.3	6.0
40代	165	95.2	21.8	72.1	82.4	6.1	24.2	22.4	9.7	40.6	1.8
50代	176	93.8	19.9	79.5	94.9	6.8	26.7	23.3	10.8	51.7	4.5
60代	128	96.9	37.5	82.0	93.8	3.9	38.3	32.0	15.6	44.5	1.6
70代	214	98.1	50.0	88.3	95.3	15.9	49.5	49.1	28.0	58.4	8.4
80歳以上	92	93.5	42.4	70.7	83.7	7.6	41.3	51.1	19.6	46.7	3.3
無回答	12	66.7	25.0	50.0	66.7	-	33.3	16.7	-	25.0	-
		犬山祭	石上祭	木曾川	木曾川うかい	ヒトツバタゴ自生地	犬山市文化史料館本館（城とまちミュージアム）	犬山市文化史料館南館（IMASEN犬山からくりミュージアム玉屋庄兵衛工房）	どんでん館（中本町まちづくり拠点施設）	その他	無回答
全体		87.1	42.1	79.1	47.1	36.1	44.7	34.0	51.8	3.4	1.8
10代（18～19歳）		85.7	14.3	85.7	28.6	-	57.1	57.1	71.4	7.1	7.1
20代		77.6	22.4	77.6	32.7	8.2	44.9	40.8	63.3	8.2	2.0
30代		85.5	25.3	81.9	31.3	13.3	30.1	15.7	34.9	3.6	-
40代		86.1	29.1	82.4	35.2	29.1	43.0	30.9	45.5	4.2	1.2
50代		87.5	36.9	77.8	44.3	26.7	38.6	30.1	46.6	1.7	0.6
60代		89.1	50.0	82.8	49.2	43.0	47.7	35.2	54.7	3.1	0.8
70代		92.5	59.3	80.8	65.0	61.2	55.6	39.3	62.1	4.2	0.9
80歳以上		82.6	55.4	68.5	55.4	42.4	45.7	44.6	50.0	1.1	5.4
無回答		66.7	33.3	41.7	33.3	16.7	8.3	16.7	58.3	-	33.3

【居住地区】

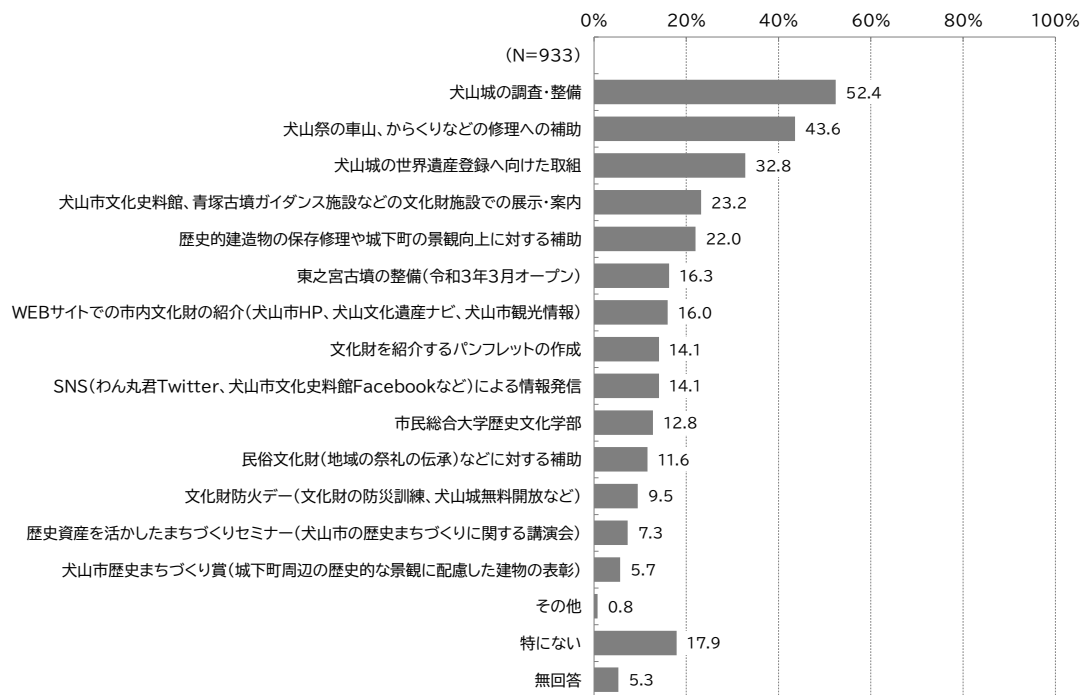
	合計	犬山城	如庵・旧正伝院書院	大縣神社	明治村	天道宮神明社樓門	旧磯部家住宅	旧堀部家住宅	東之宮古墳	青塚古墳	妙感寺古墳
全体	933	95.4	30.5	76.6	89.9	7.4	33.7	31.9	15.1	48.8	4.3
犬山	401	95.8	31.7	69.1	87.8	4.7	42.9	37.9	18.2	36.9	5.7
城東	155	96.8	29.7	74.2	94.8	20.6	23.9	25.2	15.5	41.9	5.2
羽黒	176	94.9	24.4	81.8	90.9	5.1	27.3	30.1	13.1	52.8	1.7
桑田	145	94.5	33.8	97.2	91.0	4.1	24.8	23.4	10.3	84.8	2.8
池野	18	100.0	38.9	88.9	100.0	5.6	38.9	44.4	22.2	72.2	5.6
その他	26	100.0	38.5	61.5	84.6	7.7	38.5	38.5	7.7	38.5	3.8
無回答	12	66.7	25.0	50.0	66.7	-	33.3	16.7	-	25.0	-
		犬山祭	石上祭	木曾川	木曾川うかい	ヒトツバタゴ自生地	犬山市文化史料館本館（城とまちミュージアム）	犬山市文化史料館南館（IMASEN犬山からくりミュージアム玉屋庄兵衛工房）	どんでん館（中本町まちづくり拠点施設）	その他	無回答
全体		87.1	42.1	79.1	47.1	36.1	44.7	34.0	51.8	3.4	1.8
犬山		91.0	33.2	80.5	49.6	27.4	49.9	37.4	60.8	3.7	1.5
城東		88.4	31.6	76.1	51.6	41.3	43.9	38.1	49.0	1.9	1.9
羽黒		84.7	65.3	79.5	42.6	43.8	42.6	26.1	43.8	4.5	1.7
桑田		78.6	44.8	80.0	44.1	41.4	37.9	33.8	40.7	2.1	0.7
池野		83.3	94.4	88.9	38.9	77.8	38.9	22.2	50.0	5.6	-
その他		96.2	38.5	76.9	38.5	38.5	42.3	26.9	42.3	7.7	-
無回答		66.7	33.3	41.7	33.3	16.7	8.3	16.7	58.3	-	33.3

【文化財の保存・活用活動への参加状況】

	合計	犬山城	如庵・旧正伝院書院	大縣神社	明治村	天道宮神明社樓門	旧磯部家住宅	旧堀部家住宅	東之宮古墳	青塚古墳	妙感寺古墳
全体	933	95.4	30.5	76.6	89.9	7.4	33.7	31.9	15.1	48.8	4.3
積極的に参加している	19	94.7	47.4	63.2	78.9	10.5	68.4	47.4	21.1	57.9	10.5
ときどき参加している	150	96.7	40.0	84.7	90.7	14.7	48.0	43.3	30.0	62.0	10.7
参加していない	603	95.4	28.4	74.0	89.7	5.8	30.0	28.4	10.9	45.8	2.7
活動が行われていない	127	96.1	26.8	85.0	92.1	6.3	29.1	33.9	16.5	46.5	3.1
無回答	34	88.2	32.4	64.7	88.2	5.9	32.4	29.4	14.7	47.1	5.9
		犬山祭	石上祭	木曾川	木曾川うかい	ヒトツバタゴ自生地	犬山市文化史料館本館（城とまちミュージアム）	犬山市文化史料館南館（IMASEN犬山からくりミュージアム玉屋庄兵衛工房）	どんでん館（中本町まちづくり拠点施設）	その他	無回答
全体		87.1	42.1	79.1	47.1	36.1	44.7	34.0	51.8	3.4	1.8
積極的に参加している		89.5	52.6	57.9	57.9	36.8	47.4	36.8	57.9	21.1	5.3
ときどき参加している		91.3	55.3	86.7	60.0	49.3	60.0	40.7	66.7	8.0	1.3
参加していない		86.4	38.3	77.4	45.4	34.8	41.8	33.7	48.1	2.3	1.3
活動が行われていない		88.2	44.1	83.5	41.7	29.1	40.9	26.8	50.4	0.8	1.6
無回答		76.5	38.2	70.6	32.4	26.5	41.2	35.3	52.9	2.9	11.8

問9 犬山市では、文化財の保存・活用のためのさまざまな取組を行っていますが、あなたが知っているものはありますか。(〇はいくつでも)

「犬山城の調査・整備」が52.4%と最も多く、次いで「犬山祭の車山、からくりなどの修理への補助」が43.6%、「犬山城の世界遺産登録へ向けた取組」が32.8%となっている。



【その他の内容】

- 名鉄犬山のCM。
- 旧城下町のジオラマの展示（江戸時代～）。
- 過去のエコアップリーダー養成講座など。
- 東之宮古墳たびや犬山たびのスマホアプリ。
- 犬山城の放水。

知っている文化財の保存・活用のための取組のうち、「SNS（わん丸君 Twitter、犬山市文化史料館 Facebook など）による情報発信」は、若年層で高い傾向にある。また、「犬山市歴史まちづくり賞（城下町周辺の歴史的な景観に配慮した建物の表彰）」や「文化財防火デー（文化財の防災訓練、犬山城無料開放など）」は、文化財の保存・活用活動へ参加している人が高い傾向にある。

【性別】

	合計（人）	犬山城の調査・整備	犬山城の世界遺産登録へ向けた取組	犬山祭の車山、からくりなどの修理への補助	東之宮古墳の整備（令和3年3月オープン）	歴史的建造物の保存修理や城下町の景観向上に対する補助	民俗文化財（地域の祭礼の伝承）などに対する補助	市民総合大学歴史文化学部	歴史資産を活かしたまちづくりセミナー（犬山市の歴史まちづくりに関する講演会）	犬山市文化史料館、青塚古墳ガイド施設などの文化財施設での展示・案内
全体	933	52.4	32.8	43.6	16.3	22.0	11.6	12.8	7.3	23.2
男性	414	58.9	35.5	44.7	18.6	25.1	12.8	10.9	6.8	22.0
女性	505	47.7	31.1	43.6	14.9	19.8	10.9	14.3	7.5	24.4
その他	1	-	-	-	-	-	-	100.0	100.0	100.0
無回答	13	30.8	15.4	15.4	-	7.7	-	7.7	7.7	7.7
		犬山市歴史まちづくり賞（城下町周辺の歴史的な景観に配慮した建物の表彰）	文化財を紹介するパンフレットの作成	WEBサイトでの市内文化財の紹介（犬山市HP、犬山文化遺産ナビ、犬山市観光情報）	文化財防火デー（文化財の防災訓練、犬山城無料開放など）	SNS（わん丸君 Twitter、犬山市文化史料館 Facebook など）による情報発信	その他	特になし	無回答	
全体		5.7	14.1	16.0	9.5	14.1	0.8	17.9	5.3	
男性		4.3	13.5	15.0	9.4	12.8	1.0	16.9	5.3	
女性		6.9	14.9	16.8	9.9	15.4	0.6	18.6	4.4	
その他		-	100.0	100.0	-	100.0	-	-	-	-
無回答		-	-	7.7	-	-	-	23.1	38.5	

【年齢】

	合計（人）	犬山城の調査・整備	犬山城の世界遺産登録へ向けた取組	犬山祭の車山、からくりなどの修理への補助	東之宮古墳の整備（令和3年3月オープン）	歴史的建造物の保存修理や城下町の景観向上に対する補助	民俗文化財（地域の祭礼の伝承）などに対する補助	市民総合大学歴史文化学部	歴史資産を活かしたまちづくりセミナー（犬山市の歴史まちづくりに関する講演会）	犬山市文化史料館、青塚古墳ガイド施設などの文化財施設での展示・案内
全体	933	52.4	32.8	43.6	16.3	22.0	11.6	12.8	7.3	23.2
10代（18～19歳）	14	14.3	14.3	50.0	-	14.3	-	-	7.1	7.1
20代	49	34.7	20.4	32.7	4.1	8.2	6.1	6.1	8.2	18.4
30代	83	45.8	18.1	28.9	6.0	16.9	7.2	4.8	4.8	13.3
40代	165	49.7	25.5	36.4	9.7	17.6	6.7	7.3	3.6	13.9
50代	176	52.8	34.7	44.9	8.5	17.6	6.3	9.7	5.7	21.6
60代	128	57.0	32.0	44.5	22.7	27.3	10.2	17.2	9.4	22.7
70代	214	60.3	44.9	52.8	30.8	31.8	20.6	20.6	9.8	36.4
80歳以上	92	55.4	40.2	53.3	20.7	22.8	21.7	17.4	9.8	29.3
無回答	12	33.3	16.7	16.7	-	8.3	-	8.3	8.3	-
		犬山市歴史まちづくり賞（城下町周辺の歴史的な景観に配慮した建物の表彰）	文化財を紹介するパンフレットの作成	WEBサイトでの市内文化財の紹介（犬山市HP、犬山文化遺産ナビ、犬山市観光情報）	文化財防火デー（文化財の防災訓練、犬山城無料開放など）	SNS（わん丸君 Twitter、犬山市文化史料館 Facebook など）による情報発信	その他	特になし	無回答	
全体		5.7	14.1	16.0	9.5	14.1	0.8	17.9	5.3	
10代（18～19歳）		7.1	21.4	14.3	-	42.9	-	21.4	7.1	
20代		2.0	18.4	28.6	6.1	24.5	2.0	26.5	6.1	
30代		1.2	10.8	22.9	1.2	18.1	1.2	33.7	3.6	
40代		4.8	10.3	15.2	4.2	17.6	1.2	23.6	2.4	
50代		5.1	8.0	15.3	4.5	14.8	0.6	17.6	3.4	
60代		1.6	20.3	21.9	10.9	6.3	1.6	18.8	4.7	
70代		10.3	18.2	10.7	17.8	8.9	-	8.4	4.7	
80歳以上		9.8	16.3	10.9	19.6	18.5	-	8.7	12.0	
無回答		-	-	8.3	-	-	-	25.0	41.7	

【居住地区】

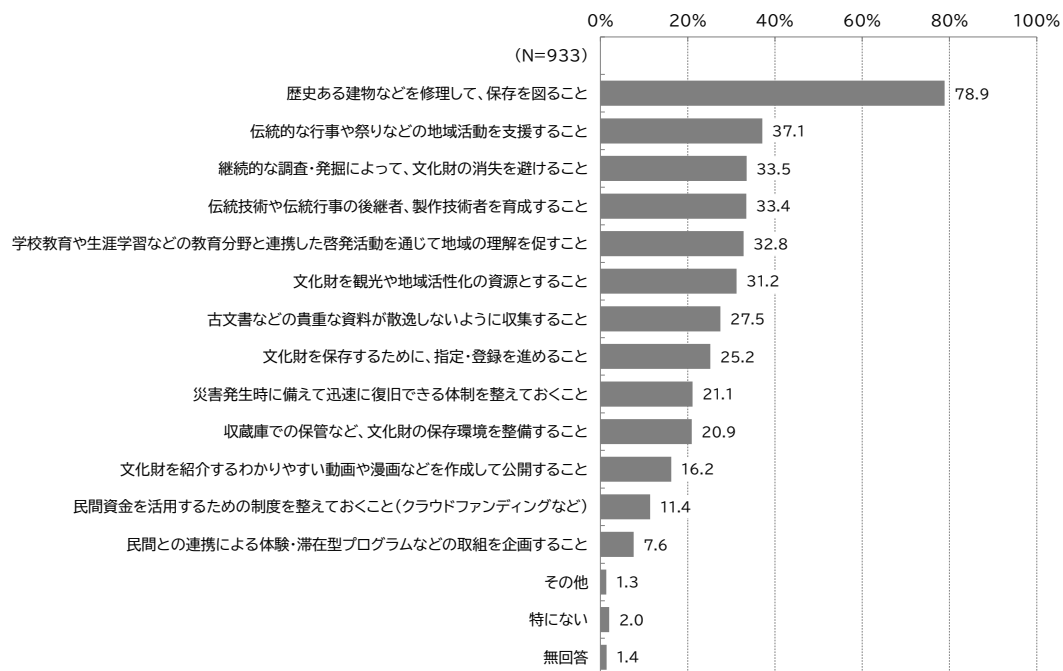
	合計	犬山城の調査・整備	犬山城の世界遺産登録に向けた取組	犬山祭の車山、からくりなどの修理への補助	東之宮古墳の整備（令和3年3月オープン）	歴史的建造物の保存修理や城下町の景観向上に対する補助	民俗文化財（地域の祭礼の伝承）などに対する補助	市民総合大学歴史文化学部	歴史資産を活かしたまちづくりセミナー（犬山市の歴史まちづくりに関する講演会）	犬山市文化史料館、青塚古墳ガイダンス施設などの文化財施設での展示・案内
全体	933	52.4	32.8	43.6	16.3	22.0	11.6	12.8	7.3	23.2
犬山	401	57.4	38.7	50.1	19.7	27.4	14.2	14.0	9.0	19.2
城東	155	51.0	31.6	44.5	16.1	18.1	12.3	11.6	6.5	20.0
羽黒	176	50.6	27.3	43.2	13.1	18.2	7.4	10.8	5.7	23.3
楽田	145	42.8	24.8	30.3	12.4	14.5	9.0	12.4	2.8	39.3
池野	18	44.4	33.3	33.3	16.7	22.2	16.7	16.7	5.6	27.8
その他	26	65.4	38.5	34.6	15.4	34.6	11.5	15.4	23.1	19.2
無回答	12	33.3	16.7	16.7	-	8.3	-	8.3	8.3	-
		犬山市歴史まちづくり賞（城下町周辺の歴史的な景観に配慮した建物の表彰）	文化財を紹介するパンフレットの作成	WEBサイトでの市内文化財の紹介（犬山市HP、犬山文化遺産ナビ、犬山市観光情報）	文化財防火デー（文化財の防災訓練、犬山城無料開放など）	SNS（わん丸君Twitter、犬山市文化史料館Facebookなど）による情報発信	その他	特になし	無回答	
全体		5.7	14.1	16.0	9.5	14.1	0.8	17.9	5.3	
犬山		7.2	15.0	20.4	11.5	17.7	1.0	16.0	3.7	
城東		6.5	16.8	12.3	10.3	12.9	-	16.8	7.1	
羽黒		3.4	11.9	13.6	8.5	14.8	1.7	15.3	5.7	
楽田		2.1	10.3	11.0	4.1	7.6	-	25.5	4.8	
池野		5.6	22.2	16.7	16.7	5.6	-	33.3	5.6	
その他		15.4	23.1	15.4	11.5	11.5	-	15.4	-	
無回答		-	-	8.3	-	-	-	25.0	41.7	

【文化財の保存・活用活動への参加状況】

	合計	犬山城の調査・整備	犬山城の世界遺産登録に向けた取組	犬山祭の車山、からくりなどの修理への補助	東之宮古墳の整備（令和3年3月オープン）	歴史的建造物の保存修理や城下町の景観向上に対する補助	民俗文化財（地域の祭礼の伝承）などに対する補助	市民総合大学歴史文化学部	歴史資産を活かしたまちづくりセミナー（犬山市の歴史まちづくりに関する講演会）	犬山市文化史料館、青塚古墳ガイダンス施設などの文化財施設での展示・案内
全体	933	52.4	32.8	43.6	16.3	22.0	11.6	12.8	7.3	23.2
積極的に参加している	19	73.7	42.1	52.6	21.1	47.4	47.4	21.1	31.6	31.6
ときどき参加している	150	70.7	46.7	60.7	34.0	38.7	20.0	17.3	10.0	41.3
参加していない	603	47.8	31.3	39.0	11.4	17.6	9.5	11.6	6.3	18.7
活動が行われていない	127	50.4	22.0	43.3	17.3	17.3	7.1	11.8	4.7	20.5
無回答	34	50.0	32.4	47.1	17.6	29.4	8.8	11.8	8.8	26.5
		犬山市歴史まちづくり賞（城下町周辺の歴史的な景観に配慮した建物の表彰）	文化財を紹介するパンフレットの作成	WEBサイトでの市内文化財の紹介（犬山市HP、犬山文化遺産ナビ、犬山市観光情報）	文化財防火デー（文化財の防災訓練、犬山城無料開放など）	SNS（わん丸君Twitter、犬山市文化史料館Facebookなど）による情報発信	その他	特になし	無回答	
全体		5.7	14.1	16.0	9.5	14.1	0.8	17.9	5.3	
積極的に参加している		26.3	10.5	21.1	21.1	15.8	-	-	10.5	
ときどき参加している		9.3	23.3	19.3	20.0	18.0	2.0	4.7	2.7	
参加していない		4.3	13.1	15.4	7.8	12.8	0.7	21.1	5.3	
活動が行われていない		3.1	11.0	15.7	4.7	17.3	-	23.6	2.4	
無回答		11.8	5.9	8.8	5.9	8.8	-	8.8	23.5	

問 10 文化財の保存・活用に関する取組の中で、重要だと思うことは何ですか。
(○は5つまで)

「歴史ある建物などを修理して、保存を図ること」が 78.9%と最も多く、次いで「伝統的な行事や祭りなどの地域活動を支援すること」が 37.1%、「継続的な調査・発掘によって、文化財の消失を避けること」が 33.5%となっている。



【その他の内容】

- 文化財と共に存在する自然風景を護ること。
- 市民が身近に思える取組。
- 核となる博物館美術館の建設。
- 盗難防止のための保管先の定期的な管理、把握の調査と現状の課題をヒアリング。
- メディアに取り上げてもらう為、今までのような犬山の固い観光案内だけでなく、若者に面白がってもらえるような少しふざけた動画等を SNS で発信していく必要があると思います。以前岐阜で作られた「岐阜クエスト」のように話題性のあるものがほしいです。SNS で話題の城下町の若い方々の意見を取り入れると良いと思います。
- 私たちは歴史の伝承の途中にいます。勝手に解釈して変えてはいけないこと。

地区別では、「伝統的な行事や祭りなどの地域活動を支援すること」が犬山地区や羽黒地区、池野地区で高く、「文化財を観光や地域活性化の資源とすること」は城東地区、「学校教育や生涯学習などの教育分野と連携した啓発活動を通じて地域の理解を促すこと」は楽田地区で高い傾向にある。

【性別】

	合計（人）	歴史ある建物などを修理して、保存を図ること	継続的な調査・発掘によって、文化財の消失を避けること	古文書などの貴重な資料が散逸しないように収集すること	収蔵庫での保管など、文化財の保存環境を整備すること	文化財を保存するために、指定・登録を進めること	学校教育や生涯学習などの教育分野と連携した啓発活動を通じて地域の理解を促すこと	文化財を紹介するわかりやすい動画や漫画などを作成して公開すること	文化財を観光や地域活性化の資源とすること
全体	933	78.9	33.5	27.5	20.9	25.2	32.8	16.2	31.2
男性	414	80.2	38.4	33.6	21.3	30.2	26.6	15.9	33.3
女性	505	78.4	29.1	22.4	20.6	21.6	38.8	16.8	29.7
その他	1	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-
無回答	13	53.8	46.2	30.8	15.4	7.7	-	-	23.1
		民間との連携による体験・滞在型プログラムなどの取組を企画すること	伝統技術や伝統行事の後継者、製作技術者を育成すること	伝統的な行事や祭りなどの地域活動を支援すること	災害発生時に備えて迅速に復旧できる体制を整えておくこと	民間資金を活用するための制度を整えておくこと（クラウドファンディングなど）	その他	特になし	無回答
全体		7.6	33.4	37.1	21.1	11.4	1.3	2.0	1.4
男性		7.7	32.4	37.4	15.7	12.1	1.7	1.9	0.7
女性		7.5	34.5	37.0	25.1	11.1	1.0	2.2	1.4
その他		-	-	-	100.0	-	-	-	-
無回答		7.7	30.8	30.8	30.8	-	-	-	23.1

【年齢】

	合計（人）	歴史ある建物などを修理して、保存を図ること	継続的な調査・発掘によって、文化財の消失を避けること	古文書などの貴重な資料が散逸しないように収集すること	収蔵庫での保管など、文化財の保存環境を整備すること	文化財を保存するために、指定・登録を進めること	学校教育や生涯学習などの教育分野と連携した啓発活動を通じて地域の理解を促すこと	文化財を紹介するわかりやすい動画や漫画などを作成して公開すること	文化財を観光や地域活性化の資源とすること
全体	933	78.9	33.5	27.5	20.9	25.2	32.8	16.2	31.2
10代（18～19歳）	14	64.3	28.6	28.6	14.3	14.3	71.4	21.4	42.9
20代	49	73.5	28.6	18.4	18.4	28.6	49.0	14.3	36.7
30代	83	89.2	24.1	13.3	19.3	25.3	34.9	20.5	28.9
40代	165	79.4	27.3	20.0	27.3	24.2	33.9	18.2	31.5
50代	176	80.7	33.5	23.9	20.5	20.5	32.4	12.5	27.8
60代	128	81.3	40.6	28.1	19.5	24.2	30.5	15.6	28.1
70代	214	73.8	37.9	41.1	18.2	29.9	30.4	15.9	34.6
80歳以上	92	81.5	34.8	32.6	22.8	28.3	28.3	19.6	31.5
無回答	12	58.3	50.0	33.3	16.7	8.3	-	-	25.0
		民間との連携による体験・滞在型プログラムなどの取組を企画すること	伝統技術や伝統行事の後継者、製作技術者を育成すること	伝統的な行事や祭りなどの地域活動を支援すること	災害発生時に備えて迅速に復旧できる体制を整えておくこと	民間資金を活用するための制度を整えておくこと（クラウドファンディングなど）	その他	特になし	無回答
全体		7.6	33.4	37.1	21.1	11.4	1.3	2.0	1.4
10代（18～19歳）		21.4	21.4	42.9	21.4	7.1	-	-	-
20代		10.2	24.5	44.9	20.4	12.2	2.0	2.0	2.0
30代		9.6	37.3	44.6	31.3	15.7	1.2	-	-
40代		12.7	29.7	31.5	14.5	12.1	1.8	3.0	0.6
50代		5.7	27.3	29.5	21.6	15.3	-	2.3	1.7
60代		5.5	35.2	36.7	22.7	10.2	1.6	2.3	0.8
70代		6.1	39.7	43.5	18.7	8.9	1.9	1.9	0.5
80歳以上		3.3	38.0	37.0	25.0	7.6	1.1	2.2	3.3
無回答		8.3	33.3	25.0	33.3	-	-	-	25.0

【居住地区】

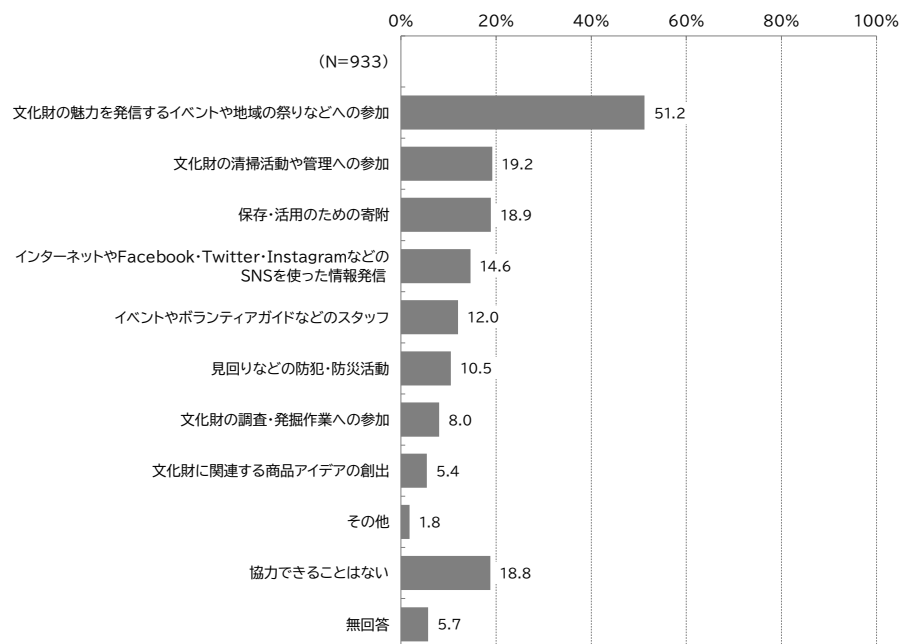
	合計	歴史ある建物などを修理して、保存を図ること	継続的な調査・発掘によって、文化財の消失を避けること	古文書などの貴重な資料が散逸しないように収集すること	収蔵庫での保管など、文化財の保存環境を整備すること	文化財を保存するために、指定・登録を進めること	学校教育や生涯学習などの教育分野と連携した啓発活動を通じて地域の理解を促すこと	文化財を紹介するわかりやすい動画や漫画などを作成して公開すること	文化財を観光や地域活性化の資源とすること
全体	933	78.9	33.5	27.5	20.9	25.2	32.8	16.2	31.2
犬山	401	80.8	33.4	29.9	19.7	27.4	34.2	14.2	29.4
城東	155	78.7	38.1	24.5	16.8	21.3	36.8	18.7	41.9
羽黒	176	80.1	31.3	25.0	26.1	27.3	29.5	19.3	28.4
桑田	145	74.5	31.0	24.1	20.0	19.3	33.1	15.9	29.0
池野	18	66.7	27.8	33.3	33.3	22.2	33.3	16.7	22.2
その他	26	84.6	34.6	38.5	26.9	42.3	23.1	19.2	34.6
無回答	12	58.3	50.0	33.3	16.7	8.3	-	-	25.0
		民間との連携による体験・滞在型プログラムなどの取組を企画すること	伝統技術や伝統行事の後継者、製作技術者を育成すること	伝統的な行事や祭りなどの地域活動を支援すること	災害発生時に備えて迅速に復旧できる体制を整えること	民間資金を活用するための制度を整えること（クラウドファンディングなど）	その他	特になし	無回答
全体		7.6	33.4	37.1	21.1	11.4	1.3	2.0	1.4
犬山		8.5	34.2	39.7	24.4	12.5	1.0	2.2	0.5
城東		5.8	28.4	34.8	14.8	12.3	1.9	1.3	0.6
羽黒		8.5	36.4	39.2	19.3	10.8	1.7	2.8	0.6
桑田		5.5	32.4	32.4	20.0	10.3	1.4	2.1	3.4
池野		16.7	38.9	50.0	11.1	5.6	-	-	5.6
その他		3.8	34.6	19.2	26.9	7.7	-	-	-
無回答		8.3	33.3	25.0	33.3	-	-	-	25.0

【文化財の保存・活用活動への参加状況】

	合計	歴史ある建物などを修理して、保存を図ること	継続的な調査・発掘によって、文化財の消失を避けること	古文書などの貴重な資料が散逸しないように収集すること	収蔵庫での保管など、文化財の保存環境を整備すること	文化財を保存するために、指定・登録を進めること	学校教育や生涯学習などの教育分野と連携した啓発活動を通じて地域の理解を促すこと	文化財を紹介するわかりやすい動画や漫画などを作成して公開すること	文化財を観光や地域活性化の資源とすること
全体	933	78.9	33.5	27.5	20.9	25.2	32.8	16.2	31.2
積極的に参加している	19	89.5	31.6	36.8	-	26.3	31.6	15.8	26.3
ときどき参加している	150	72.7	36.0	29.3	24.0	32.0	29.3	13.3	30.7
参加していない	603	80.4	32.7	26.7	21.2	23.5	34.0	16.9	30.0
活動が行われていない	127	78.0	37.0	26.0	18.1	26.8	33.1	18.1	37.0
無回答	34	76.5	26.5	35.3	23.5	17.6	26.5	8.8	35.3
		民間との連携による体験・滞在型プログラムなどの取組を企画すること	伝統技術や伝統行事の後継者、製作技術者を育成すること	伝統的な行事や祭りなどの地域活動を支援すること	災害発生時に備えて迅速に復旧できる体制を整えること	民間資金を活用するための制度を整えること（クラウドファンディングなど）	その他	特になし	無回答
全体		7.6	33.4	37.1	21.1	11.4	1.3	2.0	1.4
積極的に参加している		10.5	31.6	57.9	10.5	10.5	5.3	-	-
ときどき参加している		8.7	40.0	44.7	21.3	12.7	1.3	2.7	1.3
参加していない		8.0	31.7	34.2	21.9	10.9	1.2	2.0	1.2
活動が行われていない		6.3	33.9	37.0	20.5	11.0	0.8	2.4	-
無回答		-	35.3	44.1	14.7	14.7	2.9	-	11.8

問 11 文化財の保存・活用に関する取組の中で、あなたが協力できると思うものは何ですか。(〇は3つまで)

「文化財の魅力を発信するイベントや地域の祭りなどへの参加」が 51.2%と最も多く、次いで「文化財の清掃活動や管理への参加」が 19.2%、「保存・活用のための寄附」が 18.9%となっている。



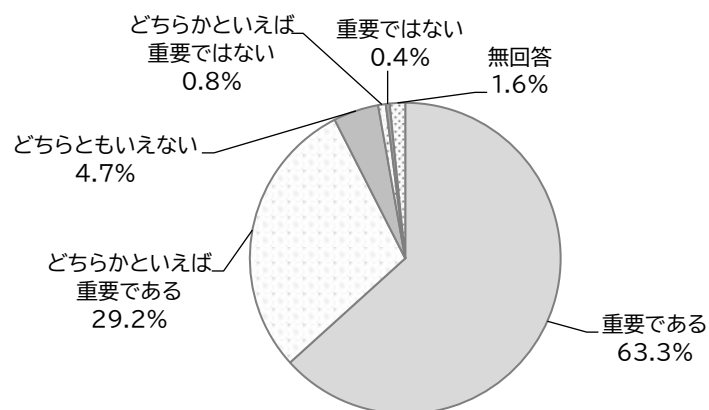
【その他の内容】

- 犬山を題材にした舞台芸術の指導、創作。
- 自然保護。
- 古文書の解説。

問 12 文化財を地域の宝として次世代に継承することは重要だと思いますか。(○は1つ)

「重要である」と「どちらかといえば重要である」を合計した「重要と考える傾向」は92.5%であり、多くが文化財の次世代継承を重要と考えている。

(N=933)



文化財を地域の宝として次世代に継承することの重要性は、性別や年齢、居住地区、文化財の保存・活用活動への参加状況による傾向はみられない。

【性別】

	合計（人）	重要である	どちらかといえば重要である	どちらともいえない	どちらかといえば重要ではない	重要ではない	無回答
全体	933	63.3	29.2	4.7	0.8	0.4	1.6
男性	414	67.1	25.8	4.6	1.0	0.2	1.2
女性	505	60.4	32.3	4.8	0.6	0.6	1.4
その他	1	100.0	-	-	-	-	-
無回答	13	53.8	15.4	7.7	-	-	23.1

【年齢】

	合計（人）	重要である	どちらかといえば重要である	どちらともいえない	どちらかといえば重要ではない	重要ではない	無回答
全体	933	63.3	29.2	4.7	0.8	0.4	1.6
10代（18～19歳）	14	64.3	21.4	14.3	-	-	-
20代	49	61.2	30.6	4.1	-	4.1	-
30代	83	57.8	36.1	6.0	-	-	-
40代	165	55.2	35.8	6.7	1.2	0.6	0.6
50代	176	63.6	29.5	4.0	0.6	-	2.3
60代	128	59.4	34.4	3.9	0.8	-	1.6
70代	214	69.6	23.8	4.2	0.9	0.5	0.9
80歳以上	92	76.1	17.4	2.2	1.1	-	3.3
無回答	12	50.0	16.7	8.3	-	-	25.0

【居住地区】

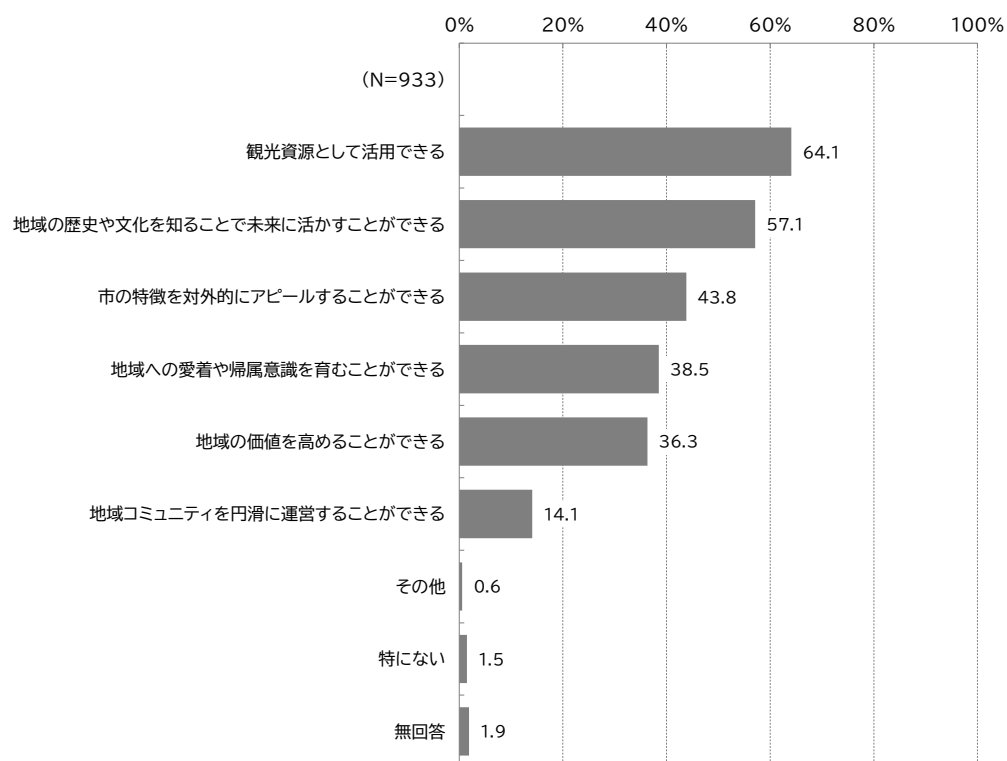
	合計	重要である	どちらかといえば重要である	どちらともいえない	どちらかといえば重要ではない	重要ではない	無回答
全体	933	63.3	29.2	4.7	0.8	0.4	1.6
犬山	401	64.8	28.9	3.7	1.0	0.5	1.0
城東	155	63.2	29.7	5.2	1.3	-	0.6
羽黒	176	63.1	30.7	5.7	-	-	0.6
楽田	145	59.3	29.0	6.2	0.7	1.4	3.4
池野	18	61.1	27.8	5.6	-	-	5.6
その他	26	73.1	26.9	-	-	-	-
無回答	12	50.0	16.7	8.3	-	-	25.0

【文化財の保存・活用活動への参加状況】

	合計	重要である	どちらかといえば重要である	どちらともいえない	どちらかといえば重要ではない	重要ではない	無回答
全体	933	63.3	29.2	4.7	0.8	0.4	1.6
積極的に参加している	19	94.7	5.3	-	-	-	-
ときどき参加している	150	63.3	29.3	3.3	0.7	1.3	2.0
参加していない	603	61.9	30.3	5.1	1.0	0.3	1.3
活動が行われていない	127	68.5	26.0	5.5	-	-	-
無回答	34	52.9	32.4	2.9	-	-	11.8

問 13 文化財を継承することの効果としてどのようなものが考えられますか。
(〇はいくつでも)

「観光資源として活用できる」が 64.1%と最も多く、次いで「地域の歴史や文化を知ること未来に活かすことができる」が 57.1%、「市の特徴を対外的にアピールすることができる」が 43.8%となっている。

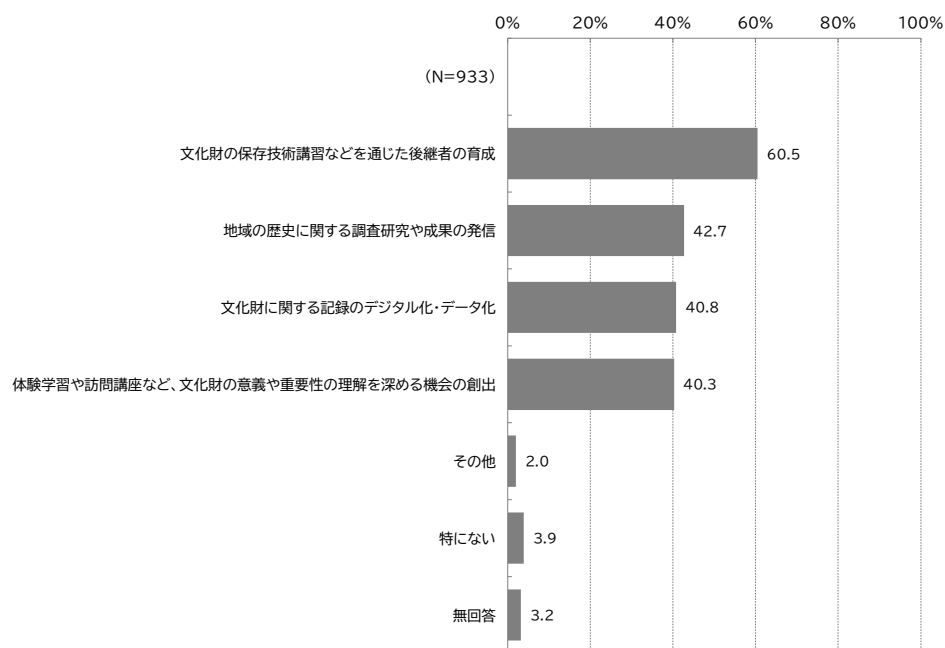


【その他の内容】

- なくしてしまう事は簡単。継承（残す事）は難しい。だからこそ大事にしなくてはとアイデンティティが生まれるのでは。人それぞれの価値観が違うので何がどう大事かを伝えるのは難しいですが。
- 保存をシルバー人材センターに任せれば就業の機会を与えられる。
- 犬山にしかない物に対し誇りを持つことが出来る。
- 歴史の聖地と捉えられる。
- 心が豊かになるので嬉しいです。
- 正しく昔を伝えて欲しい。

問 14 文化財の継承に向けて、あなたはどのような取組が望ましいと思いますか。
(〇はいくつでも)

「文化財の保存技術講習などを通じた後継者の育成」が 60.5%と最も多く、次いで「地域の歴史に関する調査研究や成果の発信」が 42.7%、「文化財に関する記録のデジタル化・データ化」が 40.8%となっている。



【その他の内容】

- 文化財や言い伝えを知ってる世代が少なくなっているのので、学校、地域を総動員してでも、交流、聞き取り調査、記録を残す。一旦なくなっても記述記録があれば復活できる。有形は厳しいですが。
- 犬山市内、市外を問わず気興味を持ってくれる人を増やす。例えば古墳なら今話題の「まりこふんさん」に取り上げてもらうように働きかけたりとか。
- 文化財が観光資源、地域の魅力となり、賃金を回収できる仕組みが必要。
- 舞台芸術等で表現し、一人でも多くの客に観て知ってもらう事。
- 恩恵を受ける人の努力。
- 文化財は建物や祭りだけでは無い、地道な自然を大切にしたい。
- SNS 等で若者に向けた発信。
- 世界への PR 活動。
- 観光資源に付随する収入（城下町の店など）に税をかける。
- 子供達に伝授、学校への出張授業など。
- 現状を維持させる事。
- 学生の頃に現物を見せる事。

問 15 地域にある歴史的な建物、祠（ほくら）、言い伝え、風習、後世に残したい犬山らしい風景など、身近な文化財についてご記入下さい。個人的に大切にすべきと思うものや失われてしまいそうなものを含め、些細なことでもよいので教えてください。

（令和 3 年度第 2 回委員会資料「資料 1-2」参照）

問 17 本市の文化財を活用したまちづくりへのご意見、ご提案などがあれば、ご記入ください。

（別紙「資料 1-2」参照）

問 17 本市の文化財を活用したまちづくりへのご意見、ご提案などがあれば、ご記入ください。

回答は以下の分類別に整理した。回答は原文のまま記載することを基本としているが、明確な誤字等については修正を加えている。また、不明の場合は「●」とし、無回答欄は「－」としている。

自由記述の分類

地域の理解や愛着の醸成に関すること
文化財・伝統行事・景観や自然等の保存・継承に関すること
文化財や文化財に関わる活動の広報・周知に関すること
市の魅力発信に関すること
文化財を身近に感じられる取組に関すること
観光地としての文化財の活用や仕組みづくりに関すること
文化財及び周辺環境整備に関すること
資金面・費用面に関するにすること
文化財の保存・活用に関する提案

地域の理解や愛着の醸成に関すること

内 容
まず学校教育の場で自分達の住んでいる犬山を知る機会を多く提供し、理解を深めることが大切と思う。文化財を、それを管理したり関わっている人だけの物にしない努力（例えば地域を積極的に巻き込んで、より多くの人に関わってもらえるような取り組みをする等）。
犬山祭りの車山に乗れる子供は車山のある町内の子のみと聞きました。町内によっては女の子も OK、服はレンタル OK などバラツキもあると聞いています。同じ犬山に住んでいるのであれば犬山市内の子供全員を対象にして行っていけば小さいうちから犬山の伝統などについて興味が湧くのでは？同じ北小でもお祭りとは縁のない我が子は全く興味がありません。屋台目当てでお祭りに行くくらいです。
観光向けも大切だと思いますが、犬山市民の理解が少ないような気がします。
新しく出来た住宅地に住んでいる人、特に県外から来た人は犬山市の文化財について詳しく知る人は少ないように感じる。犬山城や、犬山祭りテレビやネットにて知る機会が有るので全くゼロという事は無いと思う。次世代の活躍を期待するのであれば学校教育の場を利用するのも有効的であると考え、保護者の理解も必要と考える。地域に対する愛着を作るのは難しい事で市だけではなく、区域でも考慮することが多い。
若い人達に文化財に対する意識を高めることを市としてやってほしい。
子供の学校の課題で、文化財の研究などがあり、文化財を訪れ魅力を身近に触れられたのは良い経験でしたので、学校でその様な機会があったのは良かったと思います。若い方に興味を持ってもらうのは魅力ある SNS 発信がいいかと思います。
30 年程前から職場が近い絡みもあり、犬山市の街づくりを見て参りました。特に城下町のリニューアルには、目を見張るものを感じております。 すでに小中学校では、犬山の歴史や伝統文化にふれる課外授業など実施されていると思われますが、興味を示す子供たちにはさらに深く参加できる機会を作り、市内の高校にも専門課を設け、祭りの山車の組付け、木曽川鵜飼の鵜匠、犬山焼、げんこつ飴など、守るべき伝統のエキスパートナー輩出を市の責任をもって取り組んでいく。 都市計画課や観光課とも連携して民間も巻き込んだでの推進でまだまだ発展していけると思います。週末に観光客がとぼと歩く、成田山から犬山城までの導線を非常に残念に感じておりますが、近い将来観光客が、高山まで行かなくても、犬山に宿泊してもらえる町になることを楽しみにしております。

文化財・伝統行事・景観や自然等の保存・継承に関すること

内 容
1. 犬山市が名鉄から明治村を譲り受け、各建築物を犬山市内、主として犬山東小学校辺りの田畑に移築し（バラまき）、市が管理する。 2. 管理は「犬山市シルバー人材センター」に依頼する（市の人件費だとアルバイトでもシルバー人材センターの依頼費よりかなり高くなる）。 3. A. 建築物の移築（バラまき）状況は、できるだけ川の沿岸にする。ただし浸水に気をつける。B. 名鉄遊園駅～犬山城下～犬山駅～同駅東口～新郷瀬川、この辺りの田畑を買収～五条川～羽黒駅。C. 各川には船を浮かべて、客（人）を乗せて明治村建築物を案内する。春の桜見物も最高である。D. 歩いて、あるいは自転車でも見学出来るよう遊歩道を造る。
城下町の古民家の修復、保存、整備を。本町通りの町並みだけでなく、城下町全体の古い民家の景観をもっと小ざれいにできないか？町並みのあり方について検討されたい。
お金をかけて魅力のある施設整備が必要。
仕事や家庭で精一杯である。なので、手が空いた時に協力できることがあればしたい。祭りは大事だと思う。
丸型のポストはぜひ現役で残してほしいと思います。いつも使っています。
文化財の場所をお借りして子供たちの発表や作品の展示をして下さると足を運びやすくなると思います。中学や高校でやられているからくりのクラブ？を続けてほしいです。実演やテレビの放送を見て、犬山の学生が制服でされているのがとても良かったです。
城下町（特に本町通り以外）の古い町並みの消えていく様子が、見ていて心苦しいです。日に日に一般的な住宅街と化していつにいつか消えていっています。景観だけでもなんとか古い町並みに合わせたものにできないでしょうか。
とにかく、何が有っても犬山市には犬山城が必要だと思いますので、国宝を大切にしていかなければならないと思います。市の方でも大切に管理されていると思いますが、犬山城の為に寄付は出来ます、町内会で集めてもらえば良いと思います。
文化財への宣伝が無い。市の文化財への管理がずさんにつき参加寄付が出来ない。意見を発表する場所がない。犬山に文化財が一杯あります、もっと調査して下さい、何故古老から話を聞かないのか。
今も昔も変わらない、地元の風景を後世に残していきたい。
城下町の高齢化が進む中、犬山祭りの存在は非常に難しいと思うが、犬山の古き良き伝統を後世に続けて行く事を真剣に取り組んで頂きたい。40～50 年前は城下町が「シャッター通り」化して、大変不安に感じたが、ここ 20 年ほど、色々な方の努力で昔の賑わいを見せる事になりましたが、飲食店中心のいわば客寄せパンダ的な状況で、犬山の古き良き文化が薄れつつあるので、もっと文化の香りのする、取り組みを進めて頂きたい。本町通りのみ賑わいを見せている現状には、大変危惧を感じている、もとの城下町全体に活況を呈する取り組みを考えて頂きたい。
YouTube 等 SNS を使った発信をこまめに行う。
今は CG も有るのでから例えばたった 1 つのかけらからスクリーンの画像の中で、昔の建造物が再現される。それで充分です。
住んでいる方は、大変かと思いますが、犬山地区の古い町並みは、次世代へ残して欲しいです。
文化財という事でよく昔、城下町沿いを良く通っていましたが、古いというのは有りますが、空き家なのか古い建物がめだちます。犬山にある文化史料館をもっときつくアピールした方がいいと思います。犬山にあるすすみ公園があまり有名でないのが残念です。
古いものがどんどんすてられ、忘れ去られていきます。角ノ館の武家屋敷の様な町並みは望めませんが、古い歴史の有る物を豊かだった町なのであるはずで、それらが残せて行けたらと思います。
水田畑を残し、魚の住む川に戻し子供らが自然に触れられる街にして欲しい。
犬山の自然を大切にしたい。城下町の桜が減ってしまったのは非常に残念。これ以上減らさないでほしいです。川の護岸工事などで桜並木を減らしたりしないで古い木も樹木医などによるケアをしっかりしてほしい。必要ならクラウドファンディングも。

文化財は文化財として保存してほしい。観光資源ではなく文化財として保存活用を。犬山城は世界遺産登録を目指さなくて良いと思う。
犬山城を今のまま保存してほしいです。
犬山の住人になろうとしている人に一方的に昔の慣習をおしつけたりしないでその人の思いを良く聞き話し合う事も必要ではないかと思います。
犬山市には国宝犬山城があり、城下町エリアには磯部邸のような国の登録有形文化財があります。犬山城は城下町あってこそだと思います。しかし城下町の古い町家はどんどん解体されて駐車場になったり新しい白っぽい家が建ったりしています。城下町が城下町らしさをなくしている現実はやがて魅力のない街並みになってしまうのではないかと懸念しています。住民の意思に任せるのではなく行政がまちづくりの方向性を示すことも必要なのではないかと思います。
犬山城、犬山祭を守っていくこと。昔は各町内の夏祭りがあり子供達は浴衣を着せて赤いちょうちんを持ってなつかしいね。
方言（ほうげん）犬山らしい言葉。なつかしい犬山弁。
団地造成と共に催されて来た町内の伝統的な夏祭り、盆踊りが高齢化と若い人達の関心の薄さから廃止されてしまった。無気力、積極性のない人格が形成されてしまい嘆かわしく思います。
城下町周辺は重要な観光の収入源となる為、今後も積極的に文化財の保存活動が必要であると考えますが、地域の風習などは現状各町内などに任せている状況であると考えます。働き頭となる世代では集まることも難しくなっている。時代や現状のコロナ禍で風習や活動をこのままなくしてしまっているのかという意見も出ています。 地域にある風習なども重要な市の文化財であると考えます。人が積極的に参加できる様な市からの支援や後継者育成の機会の場を設けるなどの対応も考えていただけるといいと思います。
犬山は地方出身者が多いと思います。それぞれの地域で保存、活用に力を入れていかないとなくなってしまうような気がします。
文化財は大切な資産です。調和できる自然も必要と思います。田園風景があった頃と子供の頃に遊んだ所も今では住宅が建設され、自然もだんだん少なくなっております。文化財と自然、共存できると良いです。
旧市街地の一方通行等、これからも残していただきたい街並みだと思います。以前、京都の友達が来た時、京都以上に街並みが素敵と言っていたことを思い出します。
犬山市の象徴は治安と自然と歴史です。開発（メガソーラー、採石場の設立）は論外な行為であると思います。せめて犬山だけでも自然界を護ってほしいです。
YouTubeなどのSNS・インターネットというツールを使い、地域の文化財に次世代・子供たちにも分かりやすく、関心をより持ってもらえるような動画作りをして欲しいです(子供たちはYouTubeが大好きで見ると思うから)。

文化財や文化財に関わる活動の広報・周知に関すること

内 容
広報に固定枠を設けて、文化財のシリーズ化を考えてはどうか。
一般的に知る機会が少ない。活動をもっと市民が知るとような発信があった方が良いと思う。大人にも子供にも。
問 8 で、文化財が思ったより多かったと思いました。コロナで県外を控えているので、意外と知らなかった（知られていない）場所を市を上げてアピールすると良いと思います。住んでいる人向けにも広報に上げて頂けるといいかも、駅や公共の場所の目につく所にもアピール出来るといいかも。SNS をみるのもいいけど、何気なく入る情報もいいです、年配の方、SNS 等使っていない方にも発信できると思いますね。
各種活動が行われている事を知らない。犬山駅前等人通りの多い場所で、地域の宣伝を行ってはどうか。
文化財に対するアピールが足りない様に思われる。生活に余裕が無い為か？関係者のみが働いているだけの様な気がする。意識の高揚を図るべき施策も必要かと思う。大切さ、重要性の意識を持たせる事も必要かと。
宿泊施設を充実させてほしい（市外の友人を呼べない、SNS での広報が難しい）。SNS 等インターネットでの広報に力を入れて欲しい。現在、文化財への興味が有る層の方が、SNS で情報を集める様になっています。モンキーセンターのツイッターが有名になったのも、そのような層の目に留まったからだと思われます。今は TV よりインターネットで情報を集めるのが主流です。
犬山城下や明治村、木曽川などは若い人にも映える所が多く、SNS を最大限活用して欲しいです。コロナ終息後は外国人向けのサイトも充実して欲しいです。
文化財を利用した観光アピール、SNS を利用した地域活性化にする取り組みに力を注ぐべきと思います。
月間リブルのような文化財の広報誌をつくる。イベント情報を市民に発信する（情報を手に入れる手段がありません）。
名鉄と犬山市観光協会のコラボしている犬山駅までの切符と犬山駅周辺の観光ができるチケット等がセットになっているプランを実際に利用したことがあるのですが、お手頃な価格でとても内容もよかったので、もっとそういうものがあるという PR を広く行うことができれば犬山市外からの訪問者も増えると思った。 また犬山焼が体験できるプランも用意してほしいと思った。如庵・旧正伝院書院は、今は工事の為入れませんが、工事が終了したらそのことを広く知らせてほしいと思った。
犬山城を中心とした文化財と民間施設との協働による PR 活動のさらなる推進。
以前青塚古墳へ子供と行きましたが、ちょっとさみしい感じがしました。古墳が高い所から見られれば良いと思います。子供は登りたがっていました。 天道宮神明社ですが、立派な神社なのでもっと PR した方が良いと思います。文化財ではないですが、ワン丸以外にも城を PR するキャラクターがあると良いと思います。
映画やドラマ等の撮影で沢山使用して欲しいと思います。明治村以外でも、各所へアピールして欲しいと思います。

市の魅力発信に関すること

内 容
石川県から移住してきましたが、犬山はとてもステキな街だと思います。愛知県だと当たり前かもしれませんが、まず電車が通っていること、電車旅の計算が立つことは大きな利点だと思います。観光地として、犬山城や明治村をはじめ魅力あふれる場所も多いので、今よりも更に大きな観光地になりうるポテンシャルもあると思います。 一方で、観光地として成功を収めればおのずと外からの人が増え、ゴミ問題や治安の問題が出てくると思います。第一に犬山に住む人を大切にし、その上で観光地としての魅力を発信し、伝統や文化をより多くの人に伝えていってほしいです。現時点で観光客ファーストという印象は受けておらず、住みやすい街だと思うので、犬山市の活動に不満があるわけではないですし、現状のスタンスに賛同します。コントロールできる範囲で犬山を大きくしていく、身の丈に合った成長を期待します。
本気で活性化させたいのであれば、それなりの資金が必要。そのためまずは観光資源としてもっと人に来てもらえる、来たくなるような取り組みが必要。幸いにも田村淳さんが好きでいて下さっている。もっともっと活用すべき。 コンサルをがつつりしてもらおう。アイデアを出してもらって一緒にまちづくりをしてもらうのはいかがでしょうか。そしてそのまちづくりの過程をコンテンツとして配信する。NiZiUのプロジェクトのように、オーディションの過程で人を魅了し、始まった時にはファンがいる。そんな仕掛けが必要です。 例えば犬山市在住の若手、やる気あるキャラクターもあって（美男美女）の人達を募集。田村淳さんがプロデュースし、アイデアから出し合って、もちろん人間模様をしっかりと伝える番組化。どうですか？わくわくしませんか？コロナ禍の今財源が苦しい中と思いますが、逆にチャンスでもあると思います。足から踏ん張って未来に向けてしっかり考えて実行するよい機会ですね。犬山のことを考える良いアンケートと思いました。何卒宜しくお願い致します。
Instagram を活用して世界中に犬山市の魅力を写真で発信。大学などの授業科目に地域活性化などの活動を入れてもらう。発信対象を 10～20 代にするなら、大学生の力を借りるのも手だと思います。せっかく犬山市役所には「職犬」という、他の市町村に自慢できる魅力的な存在があるので、セラピー犬としてだけでなく、SNS で活動させてあげてほしい。
素敵な街をたくさんアピールしてください！頑張ってください。
犬山を取り上げたアニメなんてどうかな。若者が行ってみたいと思えばいいんじゃないか？
今はコロナ禍で動きが鈍いと思えるが、市の広報や回覧板等々を使い、まちづくりの情報を出来る限り発信してほしい。
城下町は色々な人が来ます。犬山市というと城下町と言われるので、もっと犬山城や城下町を充実させて人を呼び込んで文化財への興味がわくようにしたらいいと思います。
もう一度行ってみたい、参加してみたいと思えるような企画があれば。
NHK 大河ドラマで紹介されることが今後も多くあると思います。例えば犬山城、青塚古墳、明治村、小牧長久手の戦い、関ヶ原の戦い等。今以上にもっと PR しても良いと思います。
犬山市に居住して 3 年半。犬山市の文化財についてほとんど知らない事が多く意見を言える程ではありませんが、交通のアクセスも良く、より多くの人に犬山市に魅力や犬山城などの文化財のすばらしさが市内外にもっと周知されたらと思います。
ロンドンブーツ淳が犬山城を PR するイベントをやってほしい。イベントがあるときには教えて欲しい。

文化財を身近に感じられる取組に関すること

内 容
県外居住してからバタバタしている間にコロナになり、犬山市のことはあまりわかりません。未就学児がおり、その子のために色々な体験をさせてあげたいと思っていますが、目を引いたような活動があまり行われていないように感じます（広報読む限り）。犬山市の貴重な文化財と触れ合えるようなイベントを告知→実際の様子など発信（SNS）するような取組を希望します。
東之宮古墳から出土された数々の副葬品を、複製（レプリカ）する許可を受け、そのものを現存する資料館で展示し、古墳、又は犬山市への誘いが出来ないか（京都の博物館まで出向かないとお目にかかれない）。
犬山には古墳が少なからずあります。小学校の授業として古墳を訪れ、そこで歴史や人々の暮らし等の学習を行う、あるいは学習の拡充を行うことを提案します。もう50年近く前になりますが、筆者は犬山北小卒業生ですが、当時の記憶ではそのような授業は無かったと思います。小学校の学習は一生記憶に留めるものもあり、提案させて頂きました。
大人になってから犬山に住んでいます。住宅街で地元の方々のお話を聞く機会がなく、犬山の歴史や文化財等はよく知りません。観光ガイドにある内容くらいの知識しかありません。犬山の文化財をもっと身近に感じられる取組があると良いと思います。興味を持つことができれば活用の輪が広がるのではと思います。大人だけの市内の名所まわりとかがあれば参加したいです。
文化財に興味はあっても、触れる機会、知る機会がない。だから犬山城や明治村など有名なものはわかるがほとんど知らない。残念だとこのアンケートで改めて思った。
文化財に触れたり興味をもつ機会が少ない。小学校では子どもたちが犬山市のことを学び調べたりする授業があるため、小さい子の方がよく知っている。親は子供の学習につきあうことで犬山市の文化財について学ぶことができた。子供たちは犬山に住んでいることを誇りに思っているので、文化財保護と観光活用を上手く利用していただきたい。全国の観光客から評価されることで、地域の方々の意識が高まるでしょうし、子供たちの誇りとなると思うのです。 資金が豊かになれば文化財の保護に回せばよいと思います。とりあえずわん丸くんの子どもちび丸くんでも作ってみては？二頭身のかわいいゆるキャラとか。わん丸くんは子ども受けしない（ごめんなさい）。
文化財の保存、活用のための取組をもっとわかりやすく、子供でも、高齢者でも参加できるようなものがあると良いかと思います。

観光地としての文化財の活用や仕組みづくりに関すること

内 容
本市はアンケートにもあるように、犬山城や如庵に代表される歴史的建造物、古墳などの遺跡、犬山祭・鶯飼いなどの伝統行事がたくさんあります。これらの資源を活用して、観光客の方がこれらに触れ、体験し、そして犬山に泊ってくれるような観光施策を進めて下さるようお願いいたします。外部の人から犬山が注目されれば、犬山市民も地元に誇りと愛着を持つのではないのでしょうか。本町通の電線地中化と今の賑わいは大変良い施策だったと思います。
歴史ある街なので文化財を活用し、観光の活性化につなげて頂きたい。
周囲から犬山城は見応えはあるが、城下町は小さく道一本だけでつまらないと声をいただくことが多々あります。若年層の観光客が多くなってきている今、若年層の方たちがリピートしたくなるよう、店の種類の拡大等あってもよいと思います（飲食店が多いが、洋服、体験型の店舗など）。
全国から観光客が多く犬山へ来られています。ただ、犬山城と古い町なみの散策が多く、他の場所に移動して散策する人が少ないと思います。神戸や京都みたいにバスを利用する人が増えれば明治村や入鹿池、リトルワールド、モンキーパーク、成田山、寂光院、桃太郎神社などに若い人が写真を撮ろうとして人が動くので、もっと観光客が増えると思うし、他の地域の人々の売り上げも増えると思います。
地域の観光地のハイキングとか、最寄りの駅集合とか、分かり易い所に集合して皆で、見て回ったら楽しいと思う。時々というより、月2回くらい平日とかにも行ってくれと助かります。
犬山遊園駅周辺の観光化、集客化、モノレールが廃止になり駅の利用者が激減した。成田山、モンキーパーク、犬山城、犬山橋、木曽川、鶯飼、寂光院、新しく建築中のホテル等、集客スポットは沢山有ると思う。犬山遊園駅を使った観光客は今でも少なくないのに、コンビニ1つない。なぜですか？飲み物1本買うお店も無い。犬山駅や城下町だけでなく、犬山遊園駅も連帯させて観光化事業を進めて欲しい。
犬山城を見た後や、城下町でのお店を見たり、食べたりした後に、観光客が休める場所、屋根付きの建物が有ればよいと思います（空き家を利用しても？）。犬山城の周りや近辺には高層的なアパート、マンションやビル等はお城の景観が損なうので、建てない様にして欲しいです。桃太郎神社について、新しく作り替える。桃太郎他のキャラクターも絵本のキャラクターを基本に（小さいお子さんにも、もっと親しみが持てる様な（お金が掛かると思いますが？）観光の目玉にして行ったらどうか、桃太郎のキャラクターをお土産にもひとついかがですか？如庵の茶室や、庭等も絶対残して欲しいです（木々や草花の整備）。
文化財を活用し、観光客をもっと増やす。観光客だけでなく、犬山に住みたいと思う商業施設が必要（市外へ買い物に行ってしまう）。犬山名物の人気の有る商品を作る。観光施設の看板を増やす（明治村、古墳等で分かりづらい）。
犬山市には、観光資源となる文化財やスポットがたくさんあると思います。市外県外からより多くの人々に来てもらう為に、特に駅徒歩圏内の道を車側も歩く側も安心して通行できる道整備が必要だと思います。住民にとっても観光者にとっても安全な観光地を目指して下さい。UFJ銀行の前の道、成田山の前の道、モンキーパークへの道、等危ない箇所が多々あります。地域で子育てしている身でもありますので、観光の街犬山にする為に改善していただきたいです。
近年の犬山城下町の賑わいは、多いに歓迎すべきですが、新たに参入する飲食店の中には、いわゆる「インスタ映え」を狙う奇抜な商品を提供する店もあります。観光文化都市を標榜するのなら、あまり突飛なものは手放しに喜べないと感じております。
犬山城への観光客が年々増えつつある中、お城へ誘う道の御幸町辺り、下本町辺りの寂しさをもう少し発展させたらもっと観光客の足も増え活気があふれる街になって欲しいです。

文化財及び周辺環境整備に関すること

内 容
犬山駅～城下町へ向かう道を整備してほしい。観光客が広がって歩くので、駅へ車で رفتり歩いて行くにもこわい。道が広がらなくても、電柱を地中に埋めたりやれることはあるのではないかと思います。
犬山遊園駅から犬山城に行く、木曽川沿いの歩道がすごく汚い、せっかく犬山橋が綺麗なのに勿体ないと思います、例えば歩道を木目調にし、所々にテーブルと椅子を置き公園の様にしてみてもどうでしょう。フランスのセーヌ川にも負けない立派な場所になると思います。
文化財の保存にも力をそそいでいただきたいと思います、その周りの環境の手入れもして欲しい。雑草など地面に布を張って対応などは見栄えが悪くせっかくの建造物が台無しになっていると思う。除草作業にも公費を使って欲しい。
カプセルホテルがほしい、犬山駅付近に、観光の人が来やすくなる。
犬山駅西口から犬山城に続く整備が必要かなと思います。
入鹿池周辺の整備を希望。サイクリング、ウォーキング、バスフィッシング、アウトドアなど名古屋周辺からも人を呼べる魅力的な場所であるとともに地元民の生活の質の向上にもつながると思う。
犬山城は白帝城とも云われ、城そのものは優美であり素晴らしい佇まいであるが、遊郭がないのがさびしい。是非とも復元をして頂きたい。道路上の道案内看板に、観光施設や文化財の名前を入れてわかりやすくしてほしい。
ひばりが丘公園と小野洞砂防公園の橋が取り壊されたが今迄通り行き来出来る様橋をかけてほしい。入鹿池一周をもっと整備し、皆が手軽に楽しく利用出来る様、犬山遊歩道を作り、自然豊かな犬山を観光地に出してほしい。
明治村の村民制度を復活してほしい。道路に外灯が少ないため夜道を明るくしてほしい。入鹿池の廻りにサイクリングロードを作る。
問 15 に書いてある磨墨塚史跡公園へ犬の散歩へ時々行くのですが、竹でおおわれている場所があり、そこが磨墨塚だということを初めて知りました。このアンケートでは文化財を残して行く事についての質問ですが、塚の周りにある竹の剪定もされず、伸び放題でほったらかしのように入思えます。保存や活用法を求める前に見栄えるように整備するのが先ではないでしょうか？そういう場所はここだけではなく、他にも沢山あるのではないのでしょうか？
日頃の活動お疲れ様です。文化財保護に関する意見等は有りますが、文化財を活用し人に知らしめ永い保護を図るには、他府県からの観光客の誘い込みは欠かせないと思えますが、主要文化財への道路整備に不足を感じます。新しい道をつくる必要は感じませんが、定期的な舗装を心がけていただけると観光客にも喜ばれると思っています。例えば中央道小牧東 IC で出口から明治村に至る道など。今は綺麗になりましたが、かなりひどい状態が長く続き閉口しました。
柴田地区にも羽黒地区のように寺、お宮等に言われのある場所に立て看板があればいいと思われます。
主要な文化財を結ぶ車の道路やサイクリング用や歩行用の道路を整備。また、文化財近くに駐車場や休憩場所、道の駅などの施設があると良いと思う。特に、サイクリング用や歩行用の道路があると、市民の健康寿命を延ばす点においてもとても役立つものと思う。この道を「文化と健康の道」など命名してはどうでしょうか。
犬山城下はかなり重点をおかれて整備されているので、城東のほうまで桜通りを延長してもっと広範囲でまちづくりをすすめて欲しいです。
木曽川での水上バイクを禁止してほしい。木曽川の風景に合わない！

資金面・費用面に関すること

内 容
クラウドファンディングをしてお金を集めて広告集客して下さい。
犬山市民に対して観光地（例えば犬山城等）への入場料の補助。
とにかく、何が有っても犬山市には犬山城が必要だと思しますので、国宝を大切にしていかなければならないと思います。市の方でも大切に管理されていると思いますが、犬山城の為なら寄付は出来ます、町内会で集めてもらえば良いと思います。
心の豊かさや帰属意識の喪失、AI/デジタル社会化進展など今後の人間社会を予想すると、文化財行政は極めて重要です。その為継続的な財源確保の制度化が不可欠と考えます。例えば、「ふるさと納税」制度の活用、或いはこれに類似の制度作りなどを検討されたい。
それ以前に県や国から予算を引っ張るのが重要。
犬山市民特別料金とかにしてくれたら、犬山の文化財の施設にももっと頻繁に遊びに行くことも増えると思う。犬山に引越して来たけど、犬山市内のテーマパークはほとんどの場所が行ったことがなかったり、利用料金がなくて1回しか行ったことがないです。
山車を保存している町内は山車の手入れや修理などお金も時間も費やしている。町内会費も1カ月2000円と山車のない町内と比べても倍以上の会費であり、出費も多い。町民の負担が大きく、やりくりがかなり厳しくなっている。文化財を保存し、継承していくのであれば、市からの補助をお願いしたい。

文化財の保存・活用に関する提案

内 容
未来の犬山市をどのような市にしたいかが問題である。 Aプラン（犬山城を中心とした歴史・文化都市を目指す。）日本の観光地（京都・奈良・高山・金沢等）の研究。実際に現地へ旅行し、調査&研究してすばらしい所を取り入れる。犬山城と木曾川鵜飼いのコラボ（犬山城からの夜景・木曾川鵜飼いと花火。）犬山城周辺の植樹（サクラの木・もみじの木）&犬山城周辺の木のイルミネーション（春→ピンク、夏→ブルー、秋→レッド、冬→ホワイト）。 Bプラン（犬山市の国際都市への発展を図る。）名鉄犬山ホテル→イギリスチュードリーホテルの活用で国際化を。外人の市会議員さんによる英語の普及で国際化？日本人だけでなく外国人の観光客の誘致を図る。
花は、人を呼びます。立派な観光資源です。昔は、犬山は桜の名所といわれていました。「市の花も桜です」。今は他の名所に比べると劣ると思います。最近、新郷瀬川合戦橋南の「白い花が枝一杯に咲く大島桜」の巨木が工事の為に切られました。（犬山では他に無い巨木でした）残念ながら次世代にあの花の見事さを見せられません。 友人2人が、東小学校前の半ノ木川両岸に8年ほど前に「彼岸花」を植えました。9月になると、両岸に毎年増えて咲きます。文化財建物や、祭りなども大事です。それとは別に犬山を花の名所にされたいかがですか。桜・ヒトツバダコ・羽黒のマメナシの巨木は多くの人に見せたいです。彼岸花・コスモス等花の名所は、今からでも遅くないです。市の長期の取組と、若い人の協力をお願いしたいです。
文化遺産カードの様に文化財カードを作り、犬山に人を呼び込めませんか？城、古墳、鵜飼、木曾川（マンホール）…と1日～2日位で廻れたら、お金もおとしてくれるでしょう。古墳なんかは『古墳カレー』みたいな食事がとれ、カードをもらえれば楽しいですね。ダムカレー参考。《文化財》ってとても静かなイメージなのでその裏をとって、『そこ押すの！？受ける！』みたいにして、もっと沢山の犬山の人や犬山の文化と歴史を知って頂きたいです。+αお金を落として頂き、保存活用に繋がればと思います。
私は犬山祭の車山を観る事が好きです。春祭りは、天気がよければ巡行されますが、雨天の場合は、順延が無く中止となり一年が無くなった気がします。又、秋にも祭りが有れば良いと思うのは、春に出来なかった時に、秋の代替という事で出来れば、主催者側も観客側も良いのではないですか？検討の余地はあると思います。
文化財ではないかもしれないが、民家に眠る「古民具」を収集し展示する（学校の空教室等で）。後継者不在で廃業する場合、道具等不用品となりゴミとなる。ゴミとして廃棄する前に広報等で必要品を募

集して「収集展示」する。例、小学校の学習田で収穫作業（稲こき）で古民具千歯こき、足踏み輪転機を使用している。
他県出身なので遠方の友、知人が来ると必ず犬山城と鶴飼に連れて行きます。意外にも犬山市や近隣の市町村出身の方は鶴飼に行った事がない方が多くて驚きです。あんな素敵な風物詩を楽しまないなんて！一度舟に乗ったら何度も行きたくなるはずです。市民割引があるとはいえまだまだ高いです。市の行事の抽選などの景品に鶴飼参加券を入れるとか。まずは市民の皆さんに体験してほしいです。ちなみに長良川鶴飼より木曽川鶴飼の方が好きです。
美濃市や高山市の町並みを歩くと、家の前は季節の花や鉢植えがおかれ、住人の美意識の高さを感じます。犬山の城下町もそうなるといいですね。有楽苑の如庵の価値、ぜひ皆様に知って見ていただきたいです。織田有楽斎のことも。「へうげもの」とコラボしても楽しそう。
文化活動そのものだけではなく、例えば教育と文化（別記＊参照）、福祉と文化、観光と文化（犬山市では比較的連携されている）、産業と文化など、文化との広範な連携により、文化的コモンズが形成され、地方の活力を生み出していくことにつながっていくものと思います。新たな地域を創造する取組が必要になると考えます。 また、全市博物館構想がお蔵入りになっているように感じます。教育と文化について、小中大学との連携は時々見かけますが、高校との連携がされていません。地域の人材育成のためにも必要となってくると思います。島根県海士町の隠岐島前高校の取組が参考になると思います。ご参考までに。
漫画家の柳原望さんの作品には時々犬山市が出てきます。何かコラボがあればと思います。
城下町ばかりに予算を使わず世界灌漑施設遺産にも登録された「入鹿池」をもっとアピールすべきでは！犬山の東玄関です！
犬山駅辺りはとても栄えていてとても良いと思いますが、それ以外の地区は少し寂しいと感じています。犬山市の人にも沢山見てもらう為に犬山城や城下町を散策できる様なクーポンを市役所、駅に置いて宣伝するのは如何でしょうか。そのクーポンには文化財や企業、食、犬山焼などを紹介するページもつけます。周りの人が知ると口コミとして知れ渡り、文化財や歴史あるものにも関心が集まると思います。何でも知ってもらうという事が良いのではと考えました。
古民家、空家などを生かし、若者も来る機会が増える様、新しい物を取り入れた展開が出来たら良いと思います。
犬山ウォーキングアプリでてくてくを利用した文化財を巡るスタンプラリー。犬山たびアプリを利用した文化財を巡るスタンプラリー。城とまちミュージアムを犬山市民に無料開放する。犬山市内全域を現存する古地図と重ねて見れるマップアプリを作る。埼玉大学教育学部が作成している今昔マップのような感じで犬山を詳細化する。マップには文化財を表記して実際に行ってみることができる→スタンプラリーと連動。
各文化財を見学するコースをe-Paletteで結ぶ無料バス。料金は公●料で対応(病院、モンキーパーク等名鉄とか？)。できればミニウーブンシティのイメージ。
何度も書いている事であるが、以前あった市民ミュージカルのような犬山に関する舞台芸術があったが、とてもいい取組だと思った。犬山の歴史や言い伝えを知るだけではなく、市民のみんなと1つのものを作り上げる最も有効なコミュニケーションの場であった。お金も時間もかかる事なので、行政としたら大変なことだと思うが今の時代、ケータイやパソコンといったデジタルの世界で生きてきているが、舞台を作り上げるのはアナログ。子供から大人までコミュニケーションをとらないと一つの物を作り上げることができなく、大変なことではあるが、今の時代にはないものを味わえる。そういったものを犬山の歴史と一緒に作り上げ、完成し、表現する大切さは、この先必要な物だと考えている。
犬山には犬山城・明治村・犬山祭など文化財が豊富にあると思います。なので、これから文化財を見学してもらうだけでなくプラスアルファとして犬山焼の絵付けや犬山祭や石上祭への参加など体験して記憶に残る取り組みを増やしていったらより良いのではないかと思います。
歴史・文化などに於ける発掘・調査・整理などについて地域活動して取り入れることができないか？
文化財を巡るウォーキングコースを作ると良い(各務原市にはあります。)例えば古墳めぐりコース、木曽川コース、城下町コース、お寺巡りコース、樹木めぐりコースなど、スタンプを作ったりすると楽しい。
明治村でろうに剣心コラボなどをしたら、より犬山の事を認知して頂けると思う。

団体向けアンケート

2022. 2. 15 時点

1. 調査の概要

調査名

犬山市の文化財に関する団体アンケート調査

調査の目的

文化財の保存（管理）と活用や地域に関わる活動をしている団体から、活動するうえでの課題や必要とする支援などを把握し、計画に反映するため。

調査対象

文化財の保存（管理）と活用や地域に関わる活動をしている団体 49 先

調査方法

郵送による配付・回収（一部の先は直接配布）

調査期間

令和3年9月9日（木）～令和3年9月30日（木）

回収状況

配布数：49 票

有効回収数：46 票 有効回収率：93.9%

調査の見方

- 比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。このため、百分率の合計が100.0%にならないことがある。
- 基数となる実数はNとして掲載しており、各グラフの比率はNを母数とした割合を示している。
- 1人の回答者が複数回答する設問では、比率の合計は100.0%を上回ることがある。

2. 調査の結果

問1 貴団体について教えてください。【①名称】

名古屋経済大学 犬山学研究センター	特定非営利活動法人 犬山里山学研究所	犬山城跡整備復元を 盛り上げる会	犬山歴史研究会
特定非営利活動法人 古代瀬波の里・文化遺産 ネットワーク	ナイスで犬山	犬山グッドウィルガイド	犬山北のまちづくり推 進協議会
特定非営利活動法人 犬山城下町を守る会	公益財団法人 犬山白帝文庫	犬山西地区コミュニテ ィ推進協議会	一般社団法人 犬山祭保存会
上野北保存会	上野南保存会	熊野神社氏子奉賛会	五郎丸神明社だんだん 申せ保存会
中々切保存会	石作神社氏子総代会	今井小学校区コミュニ ティ推進協議会	栗栖神楽囃子保存会
城東小学校区コミュニ ティ推進協議会	郷土・城東の歴史を知る会	杉町内会	塔野地北町内会
塔野地南東町内会	中組神楽保存会	南中町内会	東コミュニティ推進協 議会
伏屋町内会	前原区	ミラマチ栗栖	梶原景時公顕彰会
高橋獅子保存会	野呂塚保存会	羽黒地区コミュニティ 推進協議会	羽黒まちづくり委員会
堀田町内会神楽保存会	青塚古墳を見守る会	本郷町内会（神楽保存 会）	楽田地区コミュニティ 推進協議会
二ノ宮町内会	石上げ祭伝承保存会	虫鹿神社御神楽保存会	中切町内会
荒井組			

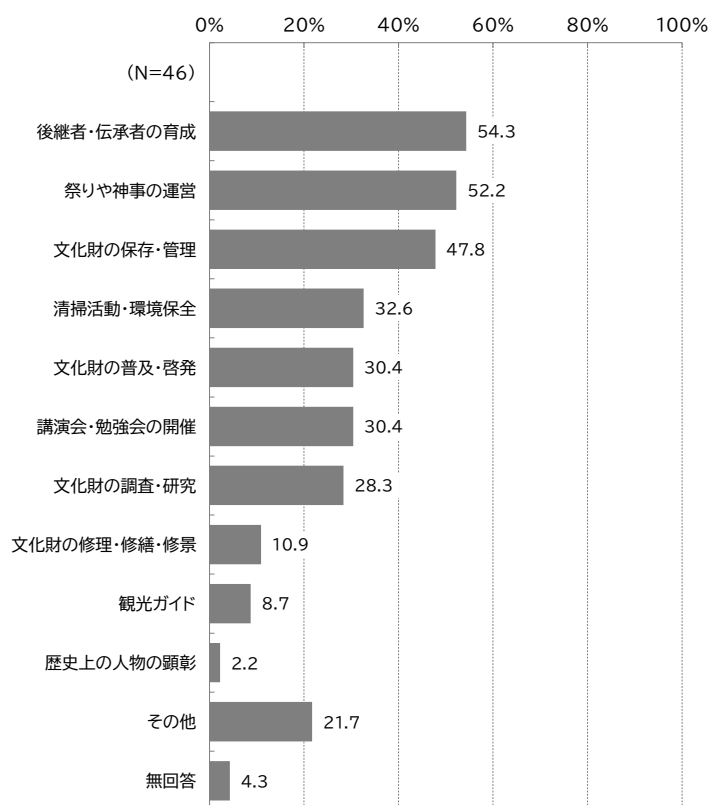
※団体名は、犬山市 市内文化財関連団体等一覧の順に列記している。

※1 先は団体名不詳先。

問1 貴団体について教えてください。

【②団体の特徴】 文化財に関する活動内容（〇はいくつでも）

「後継者・伝承者の育成」が54.3%と最も多く、次いで「祭りや神事の運営」が52.2%、「文化財の保存・管理」が47.8%となっている。



その他の内容

● 犬山周辺の伝統食の調査・研究
● 外国語話者に対する観光ガイド。現在英語、中国語、独語、仏語、韓国語に対応。英語講演会、外国語でお城等の開催。研修会の実施。
● 城下町の活性化のための事業 おひなさまめぐり、端午の節句かざり 旧磯部家住宅の活用（コンサート等）
● 安心安全の町づくり。いつ起きても不思議でない自然災害にそなえ、顔の見える環境作りの推進。
● 毎年3月に任期満了する氏子総代を指導員として「わら細工製作の技法」を新しい氏子総代に継承すること及び、町内巡行を子供会と共催することで子供たちにだんだん申せ行事の意義を伝承していく。
● 2017年に里山善師野再発見プロジェクトを結成し善師野地区の神社、仏閣等の掘起しと地域の偉人堀澤周安、また善師野地区に点在する彫刻作品を皆さんに知ってのアピール頂く為に、マップの作製に取組、来る11月21日に子供と保護者を対象にマップ片手にウォーキングを開催（宝くじ、青少年健全育成助成金）
● 塔野地熊野神社（南宮）に残る古文書を読み解き、冊子にまとめた。（1～3号）これを犬山市立図書館に寄贈し、郷土資料の棚に置いていただいている。
● 無事祭、秋まつり、熊野・津島神社

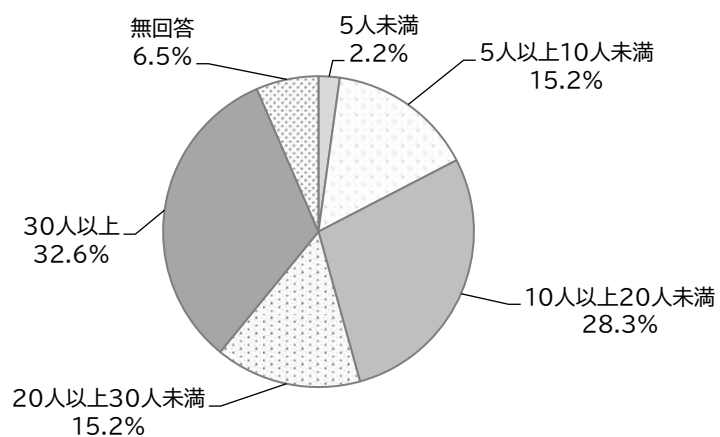
● 神社で祭礼の神事がある時の奉納
● 月1回の定例会(会議)のほか、フィールドワークの実施。調査結果を「季刊楽田歴史文化だより」で発表蓄積している。年1回11月に「歴史散歩」を実施。楽田地区内の史跡散策を継続実施。令和3年度で8回目となる。楽田歴史文化を守る会から継続実施の企画。本年は11月7日(日)、楽田城を巡る。

問1 貴団体について教えてください。

【②団体の特徴】 メンバーの人数（○は1つ）

「30人以上」が32.6%と最も多く、次いで「10人以上20人未満」が28.3%、「5人以上10人未満」「20人以上30人未満」が15.2%となっている。

(N=46)

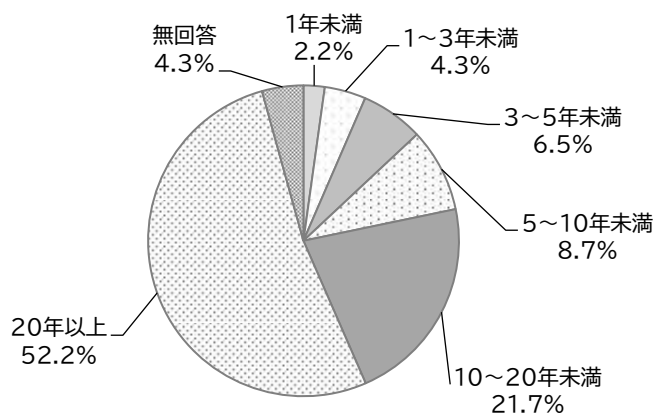


問1 貴団体について教えてください。

【②団体の特徴】 活動年数（○は1つ）

「20年以上」が52.2%と最も多く、次いで「10～20年未満」が21.7%、「5～10年未満」が8.7%となっている。

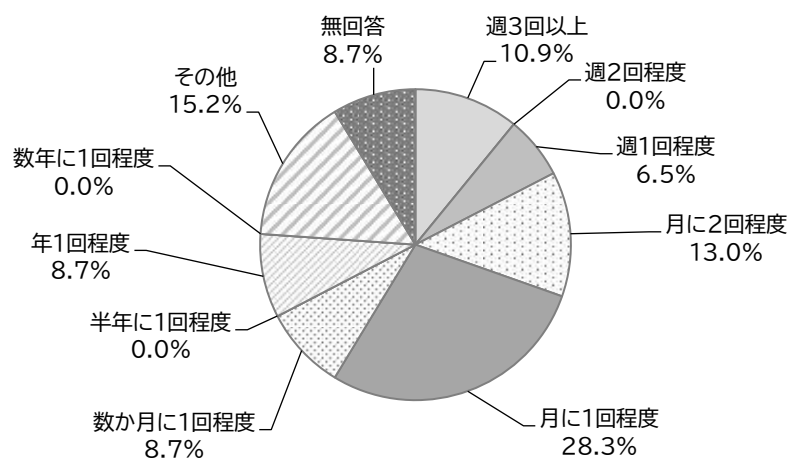
(N=46)



問1 貴団体について教えてください。
【②団体の特徴】 活動頻度（○は1つ）

「月に1回程度」が28.3%と最も多く、次いで「その他」が15.2%、「月に2回程度」が13.0%となっている。

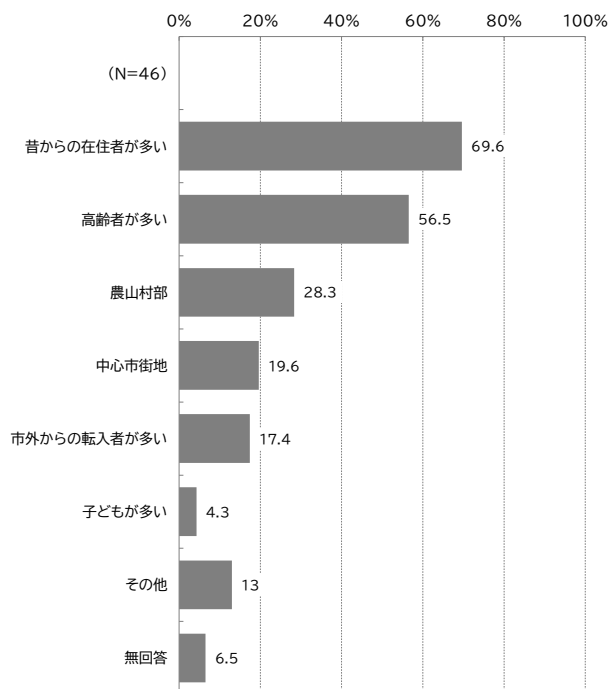
(N=46)



問1 貴団体について教えてください。

【③活動している地域の特徴】（〇はいくつでも）

「昔からの在住者が多い」が69.6%と最も多く、次いで「高齢者が多い」が56.5%、「農山村部」が28.3%となっている。



問2 活動の対象とされている文化財について教えてください。(主なものを3つまで)

文化財の名称	文化財の特徴
ヒトツバタゴ自生地	国指定天然記念物として、ヒトツバタゴ、湿地植物群落全体が保全対象になっている。
民具類	里山の暮らし、農業、人生儀礼にかかわる民具類
国宝犬山城天守	—
史跡犬山城跡	—
堀部家住宅	—
青塚古墳	—
東之宮古墳	—
国宝犬山城	1537 年築城、日本最古の城
城下町の町並み	犬山城主小笠原吉次、平岩新吉によって 1610 年前後に造られた町並み。城下町の町並み（道路）は 410 数年前と変らぬ全国に誇れる町並み。
神社、仏閣、古墳	○歴史・格式有る神社 大縣神社、針綱神社 ○歴史・格式有る仏閣 寂光院、瑞泉寺 ○歴史・格式有る古墳 東之宮古墳、青塚古墳
犬山城	国宝犬山城。ガイドボランティアの待機場所の提供、呼び出し用の無線機の貸し出しを受けています。
犬山城下町	城下町街案内、歴史資料館、どんでん館。資料館等の入場料免除の便宜を受けています。
有楽園 如庵	国宝如庵
旧犬山城主成瀬家に伝来した文化財（犬山城天守を含む）	犬山城天守（犬山城跡とともに）、武器・武具、絵画、工芸品、古文書・古地図・古書
犬山祭の車山行事	寛永 12 年（1635）に始まったと伝えられる針綱神社の祭礼。華やかな車山が古い町並みを巡行することで有名な犬山祭へは、現在は 13 町内から出される車山のほか 3 町内から練り物が出され、計 16 町内が参加している。犬山祭の車山行事は、平成 18 年に国の重要無形民俗文化財に指定され、平成 28 年に全国 33 件の「山・鉦・屋台行事」の一つとしてユネスコ無形文化遺産に登録された。
上野立野神社	立野神社。慶応元年（1648）木津用水開発で現在地に移る。明治 5 年 3 月村社に列格。10 月第 2 日曜日を例祭としている。屋形巡行を実施する。（北・南コースがある）
立野神社	立野神社。慶応元年（1648）木津用水開発で現在地に移る。明治 5 年 3 月村社に列格。10 月第 2 日曜日を例祭としている。屋形巡行実施（北・南コース）
だんだん申せ＝疫除祭	毎年 7 月に、だんだん申せ（疫除祭）と蝗除祭（虫送り）という二つのお祭りを同時に行います。竹皮に包んだ神札（疫除神）や、ワラ人形、提灯を持って、子供たちが町内を巡行し、町内の安全、無病息災を祈願します。だんだん申せの神札は 8 ヶ所の辻に設置し、人形・提灯は合瀬川の堤防に飾り付け、向こう 1 年間の疫病の侵入防止を念じることとなります。

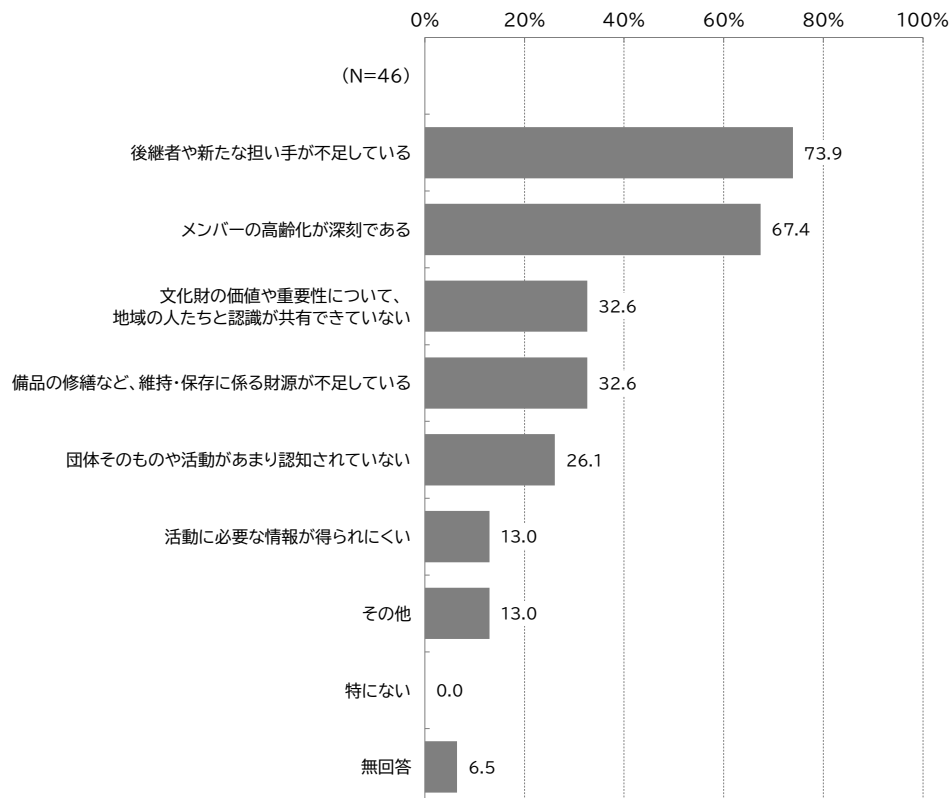
文化財の名称	文化財の特徴
蝗除祭＝虫送り＝豊作祈願	齋藤実盛が源平合戦の折、乗った馬が稲の切株につまづき落馬し、討死したことを恨み、怨霊がウンカとなって稲を食い荒らして不作になった故事に倣い、実盛の霊を慰める祭事で実盛人形や毒蛇退治にクジャクをかたどったワラ細工を掲げ、豊作祈願をします。 蝗除祭の実盛人形やクジャクは、犬山ニュータウン北東角の水神様に飾り、その後、前原地区の人たちが、虫鹿神社に運んで使用されます。
巫女によるお神楽奉納	巫女の舞の奉納と参拝者の無病息災の祈願を行う。
疫神祭を見送るおはやし	疫病退散を願う神輿を送り出す行事として行う。
虫送り	－
秋祭り	－
堀澤周安（善師野出身の国文学者） 生誕地、文部省歌「田舎の四季」の 掘起し、木曾街道と善師野宿⇒木 曾街道道標、常夜灯一里塚	－
神社仏閣、善師野地区に神明神社 2、熊野神社2、白山神社1、存在。 お寺は清水寺、善徳寺、陽徳寺、福 昌寺4寺が各町内に有る。	－
彫刻作品が善師野駅から上切町内 の沿道に設置されている。一部北 部聖苑にも有り。	－
塔野地杉ノ山にあった「宋岳寺」の 石碑を建立（杉組公民館の角）	享保5年に下津村より塔野地に移転、その後焼失と「犬山市史」にあるが、古文書では再建の内容が詳しく書かれていた。杉1組、2組に内容をし、石碑建立の了承を得たところ
塔野地の「熊野神社と熊野神社古 墳群」	神社前に看板を立てたいのでこれから氏子代表の方に話を持っていくところ。片桐且元の妻が再建したと書かれた棟札がある。古墳群は1～6号墳の説明を書き入れる予定。
善師野三軒寺にある石碑「従是継 鹿尾山寂光院四九丁」	この碑は、昔あった「東山道」から寂光院へ入る僧や旅人のために建てられたもの。下の8文字が読めるように建て直したい。（善師野川堤防上にあるので掘り返せない。半分諦め状態）
塔野地南組神楽保存会	祭事に神楽奉納、太鼓大1・小1、横笛2つ以上、獅子舞1つで構成です。
和太鼓	道行等
獅子舞	神への礼の舞
笛	十二間
神明神社	神楽、奉納
上・下のお天王様	－
稲荷山鳥居整備	年に一度鳥居製作！
木曾川の景観保全	－
粟栖神社（境内含む）の祭礼 別紙（粟栖地区の祭礼）	－
粟栖神社（境内含む）にともなう神 楽屋形2台 別紙（粟栖地区の祭礼）	－

文化財の名称	文化財の特徴
梶原景時公	1144 年平忠盛が尾張守に任ぜられ、その目代(受領国司)として尾張国府に赴任してきたのが梶原景時公。在任中の 1174 年に山弓壮羽黒下大日に真言宗の光善寺を建立した(後の興禅寺の開基は梶原景時公とされる)。後に、鎌倉幕府の有力御家人。
興禅寺	梶原景時公の没後、孫の梶原景親と乳母隅の方と梶原内羽黒 7 人衆は羽黒へ落ち延ぶ。城屋敷の地に梶原の館を構え”梶原屋敷”とも言われ、1582 年本能寺の変まで続く。この梶原の館の一角に、1476 年梶原景親七代目梶原景綱により、衰退した興禅寺。臨済宗妙神寺派興禅寺として再興、羽黒梶原氏の菩提寺として栄えてきた。1584 年小牧長久手の戦いの折、大火で焼失した。関ヶ原の戦いのあと、犬山城主小笠原吉次が下大日から現在地に移転復興した。
磨墨塚	梶原景時・景季親子が源頼朝から拝領した黒毛の名馬。清見ヶ関で親子が敗没した後も梶原一族と同行し、梶原景親の乳母隅の方と同道し、羽黒の地まで同道し、この地に没し、塚にまつられ、現今まで守られている。
羽黒城跡の保全 小高い前方後円型の古代の跡があり、発掘調査、トレンチ調査が行われ、資料等は市担当課で保管されている。当課の担当者は退職されているとの事。	大木、竹林、民有地、記念碑あり。市が貸上げ 10 年間、以後一部分を 5 年契約で現在 3 年経過 大木、竹、雑草、道路等について、定期的に管理作業。特に”竹の子”が出る。5、6 月頃伐採が大変である。 竹林にしての魅力をどのように管理するか。品種の改める事も大切か。食品としては、竹細工製品の作成等、竹の活用も検討されます。小弓の庄としての”マタケ”材は良質
地域のお祭り	町内の有志、子ども会による神楽の伝承
青塚古墳	—
須賀神社	—
二の宮稚児山(檀尻)保存会	十月の第二土曜日(10 日前)の夜(試楽祭)と日曜日の昼(本祭)に大縣神社境内の山車小屋から引き出した山車を一週間前に組み立て、その山車に子ども役者 9 人(稚児 2 名、獅子 1 名、鼓 4 名、小太鼓 1 名、大太鼓 1 名)を乗せ、全町内会員の男性が子供の健やかな成長と町内安全、家内安全、五穀豊穡を祈願して参集殿正面から本殿正面までの約 50m を移動する。山車の上の役者は、笛の演奏(テープ)合わせて移動の道中とその前後に、太鼓や鼓・獅子舞を披露して大縣神社の神に奉納する大太鼓・小太鼓の小学生役者は、5・6 年生が主に担当し、祭りの数週間前から町内の熟練した長老の師匠のもとで練習を重ね本番に備える。
石上げ祭	・毎年 8 月第 1 日曜日に実施。 ・石連による頂上まで石上げ、4 名、8 名、16 名、32 名による石上げ。団体石連、町会、子供会、大学、中学校等々約 35 連くらい。 ・祭り最後は、祈願成就、家内安全、五穀豊穡等々を願う。花火の打ち上げ、及び火振り神事の実施。
お神楽はやし	道行、祇園、宮入り、12 文 その他教曲
獅子舞	笛太鼓 12 文に合わせたの演舞
巡行屋台	—
木曾川沿いの地層	木曾川沿いの地層(第三紀～白亜紀のチャート地層が中心)
本学図書館が所蔵する史資料	本学図書館が所蔵する史資料(犬山の古地図、村瀬太乙や内藤文草などの犬山に縁のある人物の関係史料、航空産業の資料など)
五郎丸の潜伏キリシタン史跡	五郎丸周辺の潜伏キリシタン史跡の保存団体との協力

文化財の名称	文化財の特徴
旧磯部家住宅	—
城下町の町割り、古民家等	—
磯部邸	—
その他伝統的建造物	—
熊野神社神楽囃子	—
熊野神社神楽	—
中北熊野神社	—
津島神社	—
熊野神社	山王大権現祭（7月）・試楽祭（10月）
南弘法堂	春・秋弘法（年2回）
町内の秋祭り（町内の区単位で順番制）	—
石上げ祭り（町内の子供会中心）	—
盆おどり大会（町内の有志中心）	—
羽黒城跡の利活用	羽黒城跡は、現在私有地でこれまでも利活用を図るも制約が多く、思うように進められていません。これまでは羽黒城跡のみにとらわれていましたが、城跡の周辺を見渡すと、体育館・文化会館・史跡公園・興禅寺等があり、まさしく文教地区を標榜するにふさわしい材料が揃っており、これらを総合的に利活用する方法を探索して、青少年育成などに寄与できるような整備を進めたい。
文化財の価値や意義の周知と啓蒙	これまで羽黒地内に点在する名所・旧跡を紹介した案内板の設置とこれらを巡ってもらうための「ウォークマップ」や「羽黒の名所・旧跡案内マップ」の作成などを行っています。また、「犬山羽黒今昔物語」・「続犬山羽黒今昔物語」と題する冊子を発行。今後も羽黒に関わる資料などを集め新たな冊子の発行を計画していきます。
羽黒のまちの歴史の周知と啓蒙	羽黒の街の歴史を知ってもらうために、「古代人の足跡を訪ねて」や「わがまち羽黒の今昔展」などの展示会を小弓の庄で開催してきました。
楽田城址	永正年間織田久長（信長の本家筋）によって築城されたとあるが、久長が活躍したのは応仁の乱時期であり築城は少なくとも20～30年は遡る。犬山城の築城・整備年（1598年）より120年前には存在した2重堀を持つ平城で、内堀、土居（土塁）の遺構が残る。
二宮・真長寺本堂	かつての大縣神社神宮寺の一寺。神道形式の本堂で神宮寺の痕跡を示す市内でも珍しい建築物と思われる。既に廃寺となり、いつ取り壊されてもおかしくない状況にある。
横町「山車」及び「すわり山（据山）」	横町「山車」は現在今井収蔵庫内で解体保管。修繕時に元の形式から変えられ幕も黒から赤に変わった。「すわり山（据山）」は伊勢湾台風時まで組み立てられた固定式の山で山車の古い形式か。諸くわ神社倉庫等含め数台、各所にあると思われるが未調査。
町内の巡業	市の指定を受けている塔野地神楽の各町内持ち回り登板による伝承と思われます。今般のコロナ感染拡大に伴い、2年連続練習の中止となり、再開が危惧されます。
白山神社春祭り	町内巡行・神楽・お囃子奉納
白山神社夏祭り	ご祈祷
祭り用のみこし等	—

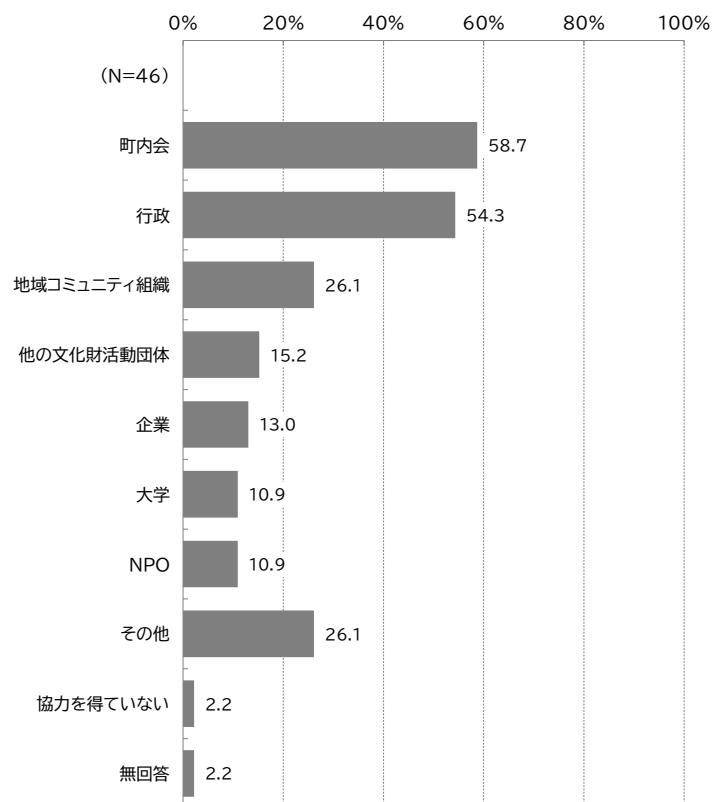
問3 貴団体が活動を行ううえで、課題と感じていることは何ですか。(〇はいくつでも)

「後継者や新たな担い手が不足している」が73.9%と最も多く、次いで「メンバーの高齢化が深刻である」が67.4%、「文化財の価値や重要性について、地域の人たちと認識が共有できていない」が32.6%となっている。



問4 貴団体が活動を行ううえで、他の団体から協力を得ていますか。また、どのような団体からの協力を希望しますか。理由を含めてお答えください。
 (○はいくつでも)【協力を得ている団体】

「町内会」が58.7%と最も多く、次いで「行政」が54.3%、「地域コミュニティ組織」「その他」が26.1%となっている。

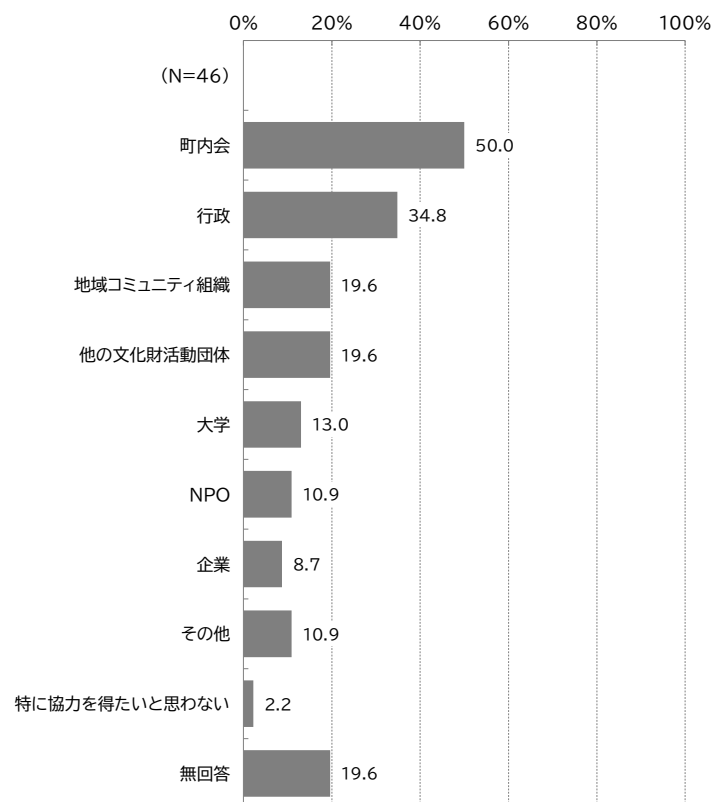


その他の内容（一部抜粋）

- 神社・仏閣の関係者
- ボランティア連絡協議会
- 老人クラブ、子供会
- 民生委員等

問4 貴団体が活動を行ううえで、他の団体から協力を得ていますか。また、どのような団体からの協力を希望しますか。理由を含めてお答えください。
(〇はいくつでも)【協力を希望する団体】

「町内会」が50.0%と最も多く、次いで「行政」が34.8%、「地域コミュニティ組織」「他の文化財活動団体」が19.6%となっている。



その他の内容（一部抜粋）

- 神社・仏閣の関係者

問4 貴団体が活動を行ううえで、他の団体から協力を得ていますか。また、どのような団体からの協力を希望しますか。理由を含めてお答えください。 【協力を希望する（しない）理由】

協力を希望する理由

協力を希望する相手	内容
・地域コミュニティ組織 ・行政 ・他の文化財活動団体	活動の幅を広げたい。目的や存在を知ってほしい。
・地域コミュニティ組織 ・行政 ・大学 ・NPO ・他の文化財活動団体	高齢化による会員の減少を止め、各種団体等から人材、会員の増加を願う。
・町内会 ・行政 ・その他	活動資金の助成
・町内会 ・行政 ・その他	町内会行事として確立。次代に継承させたい。維持管理に於ける行政の支援は不可欠。
・町内会	町内会と町内子供会の協力なしでは伝統行事の継続ができない。
・行政 ・企業 ・NPO	案内板の設置費用、維持管理（特に彫刻作品）
・地域コミュニティ組織 ・町内会 ・行政 ・他の文化財活動団体	地域に住んでいる人に広く知ってもらいたいため。看板や石碑を立てる場合、少しまとまったお金がいる。会員のみのささやかな寄附ではやや足りない。
・町内会	4町内で1年輪番で神楽の奉納が主である。以前はこの4町内からの人それぞれが出ていたため、共通の処がある。
・地域コミュニティ組織 ・行政 ・企業 ・NPO ・他の文化財活動団体	神奈川県、静岡県、岐阜県など他の顕彰会団体との交流をさらに深めたい。
・行政	資金面および情報共有
・町内会	地域の活性化と住民生活の安全
・地域コミュニティ組織 ・町内会	地域の伝承、個人で所蔵する史料やコミュニティで共有する文書を調査する上で、地域コミュニティ団体や町内会を通して協力の呼びかけを行いたいと考えています。
・地域コミュニティ組織 ・大学	地域の人々との協力が必要ですが、機会が少ない。
・町内会 ・行政	—
・町内会	—
・町内会	—
・町内会	お祭りの行事、町内の区単位で順番制にて実施することに変更された。
・町内会 ・行政	—

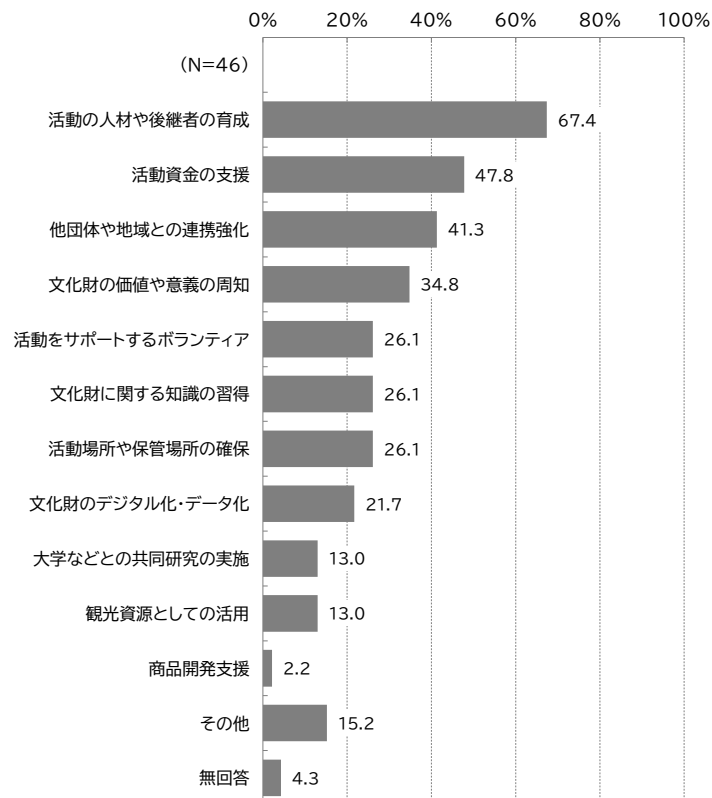
協力を希望する相手	内容
・地域コミュニティ組織 ・町内会 ・行政 ・大学 ・企業 ・NPO ・他の文化財活動団体	多方面の文化財活動団体や大学などとの情報交換を行い、町の文化財の価値や意義の周知を図りながら、新たな価値を創造し新しい協賛者を募る。
・地域コミュニティ組織 ・町内会 ・行政 ・大学 ・NPO ・他の文化財活動団体	学芸員など専門知識を持つ人材のいる団体、研究者の支援。行政には情報提供をはじめ、とりわけ令和 4 年「楽田ふれあいセンター」内に整備予定の「資料室」完備のための助言、支援を求めたい。
・町内会 ・行政	

協力を希望しない理由

なし

問5 貴団体がこれからも活動を行うにあたり、どのような支援があれば良いと思いますか。(〇はいくつでも)

「活動の人材や後継者の育成」が67.4%と最も多く、次いで「活動資金の支援」が47.8%、「他団体や地域との連携強化」が41.3%となっている。



その他の内容（一部抜粋）

- 市広報に活動内容の記載
- 祭り用のみこしの修繕をしたい

問6 貴団体の活動について、今後の展望を教えてください。

● 地域の埋もれた文化遺産、とくに近世の商業史料（犬山商人など）、潜伏キリシタン史跡関係資料の調査・研究・教育に力を入れて行きたいと考えています。
● 学校教育との連携を深め、地域が有する文化財の持つ価値を世代を超えて継承して行きたい。
● 国宝犬山城天守、史跡犬山城跡の保存・活用に関することに積極的に関わっていきたくて考えています。犬山市民や犬山在勤の方に深く知っていただきたいので、そのための活動を行います。
● 郷土犬山の文化財・史跡の価値を若い人たちに学んでもらい、歴史への興味関心を高め、あわせてその継承と保存を担う人材を育成していくための一助となりたい。
● 周辺地域文化財の周知、研究活動を継続する。
● 郷土の歴史と文化遺産の知識を広め、犬山の歴史に親しみ、ガイド活動を通じて、犬山市の発展向上に寄与及び歴史文化を継承・反映・会員相互の親睦。会のモットー「感動と癒し」
● コロナ禍のため通常の活動は全くできていないが、ホームページ上に外国語でコロナ禍解消後には犬山を訪問するように勧誘するページを追加。この夏からはオンラインによる会員向けの勉強会を2度実施し、今後も月一程度の継続を予定。
● 商業者の企画・準備等の参加を呼びかけ、城下町のさらなる発展をはかりたい。
● 城下町地区を重伝建地区にすることは必ず必要です。現状では、くずれて行きます。防災施設の設置。
● 犬山城ならびに成瀬家伝来資料をよりよい状態で保存し、広く知ってもらう
● 愛知県の車山祭りのリーダーであると自認している。今後は全国的な活動を増やしていきたい。
● 1) 今後は年数回の回覧配付する 2) 練習体験演奏を実施、会費増を図る 3) 北・南を区別せず後継者育成を図るため全上野で考えて行く。
● 1) 活動内容の回覧 2) 練習の見学・演奏体験にて会員増を図る 3) 後継者育成など、活動を合同（北・南分かれず）で進めたい。
● ・町内会の役職の一つとして、今後も氏子総代が選出され、伝統事業は継承されるものと思料。 ・町内世帯のうち、高齢世帯や転入世帯の増加で、五郎丸神明社の氏子の数は減少中（神社の下草刈り、本殿、社務所、境内の掃除、獅子当番など労役が敬遠される。） ・老朽化した神社の維持・管理費の捻出が最大課題。
● 伝統行事の継続をとの想いで、後継者育成を行っているが、教える側は高齢化で少人数である。又、後継者と考えるも、学生や社会人となって、地区外居住や仕事の都合で参加が続かない状況である。
● 大人の後継者の育成
● 善師野地区から塔野地地区、富岡地区への展開。
● 石碑や看板をつくる時の金銭面の援助があると助かる。「木曾街道旧跡」石碑と「条里制遺構の標」の石碑は、会の5周年と10周年記念として会員から少額ずつ寄附を募った。「宋岳寺旧跡」の石碑もその予定である。
● 町内の人数が少なくなっている（退会者）
● 老若男女で揃って練習に勢いが付けば、難なく覚えられるはずであるが、やはり都合の悪い練習日も出来一日休むと？そこは指導のコツ。神楽は太鼓(大小各1)、笛2人以上、獅子舞で最低5人が揃わないと？毎年の練習で大きい実りとなると思います。
● 若い人たちの後継者の育成が今後の課題で重要であり、いかに協力関係をきづくか問題である。
● 若者、子供が少ないので先が見通せない。
● 犬山市観光課、犬山観光協会さんが「梶原景時公と犬山、羽黒との関わり」「徳川家康公と犬山羽黒(八幡林)との関わり」など、NHK 他にPR 連携を策定・働きかけを進めておられます。
● 年中（2月第3土曜日）行事として行っているので多くの人に参拝していただきたい。
● 1 市有地化して羽黒地区の地域拠点として発展させたい 2 組織全般を見直し改革し、積極的建設的に推進したい。
● メンバーの高齢化、子どもの人数の減少、若者層の価値観の違い及び無関心感、将来の展望はむづかしい。
● 定期的な保護活動の継続、周知。将来的には、以前行っていた古墳の山焼きなども行いたい。
● メンバーの高齢化に伴い、後継者の育成がむずかしい。

● ・文化財としての価値や意義の向上と地域住民の積極的参加。 ● ・若年層への伝承が必要となってきた。
● 今のところ順調に活動できている
● 活動拠点の整備と8部会と協働して、地域に貢献できるような企画立案をして実施していきます。
● 「楽田ふれあいセンター」を拠点に、定例会議を軸に楽田地区の地域調査、史料収集と記録、保存を継続していく。令和4年度「楽田ふれあいセンター」内に資料室が整備、5年度から活用できる予定。生史料の収集・蓄積も行っていく。新たな担い手を育成するための事業活動も検討していきたい。
● 地域の小学生に太鼓の練習を行ってきました。去年、今年とコロナの為、限られた練習となっています。今後は小学生に限らず、中学生・大人も積極的に参加していきたいです。

問7 本市の文化財を活用したまちづくりに関するご意見、ご提案等があれば、ご記入ください。

意見・提案等の内容
犬山地区内には、一つの町内会で一つの神社を守り続けている町内会が多く存在する。城下町（下町地区等も含めたエリア）にある各神社の成り立ちや、神社での奉納事など、その町内や神社にまつわる神事や祭礼など犬山の歴史と人の営みを、町々を回遊し、触れることにより犬山散策する一つとしてはどうか。又、各町内会との連携の再構築を図る一助となることも考えられないか。
犬山市は、犬山城と言う立派な文化財が有り自然と援助の手が差し伸べられているが、里山地区の掘起しにも注いでほしい。案内板の設置と設置済みの案内板の修正（例）東海自然歩道にある案内板が文字が消え白紙になっている等（文化財と関係ない？）
1 広報活動の推進、文化財とは有意義に具体的に発信周知する。地域に教育、研究会等を実施する。 2 観光資源として活用方策の推進、活性化の問題提起 3 無償ボランティア活動は限界がある。公助による共同作業の実現
もう少しこのアンケートにもあるように、各町内にある伝統的な行事にも注目してほしい。
文化財への積極的な財政支援と広報活動の支援が必要。
文化財や地名等の案内板の整備。城下町の保存、整備計画の明確化。若い人の育成。
犬山の文化財には、犬山城・城下町と並んで、その周辺の街道・農村地帯・自然も含めた文化的景観の全体を含めて考える必要があると思います。犬山城主・成瀬氏の活動の大きさや尾張における犬山の戦略的重要性を考えるためには、その周辺の街道・農村地帯も含めた全体像を捉え、それを文化的景観として再評価する必要があると考えるからです。そのためには、地域の全体像を再構成するために必要な調査・研究・教育活動を行い、犬山の歴史・文化を市民・学生・観光客に追体験してもらえようような体験・展示施設を設置するべきではないかと考えます。
城下町・城郭、木戸等の復元、古民家の保存と活用。町名板、祭車山蔵等説明板の整備。
およそ20年前に全市博物館構想がありました。ここでの犬山市のまちづくりにおいては、地域力の活性化を導くためのものであったと解釈しており、現在においてもまちづくりの根幹部分であると思います。犬山市＝国宝犬山城で、犬山市のシンボルとして不動のものとなっていますが、博物館構想で見られる地域ごとにこうしたシンボリックなものを地域と行政あるいは大学や高校など（官民学）とタッグを組んで探求していくシステムを構築していければ文化財を活用したまちづくりと併せ地域の活性化につながると考えられます。

問8 地域にある歴史的な建物、祠（ほくら）、言い伝え、風習、方言、後世に残したい犬山らしい風景など、一般には知られていなくても地域で大切にされている文化財、地域の人達の心のよりどころとなっている文化財があれば教えてください。

文化財名・特徴・場所
例) ①文化財名 ②特徴 ③場所
①今井の里山全景 ②里山らしいたたずまいを見せる ③中峠を下った所あたり
①今井石作神社のハイロジ ②このあたりでは珍しい ③ー
①尾張富士麓の湿地 ②ミカワバイケイソウ、サクラバハノキの植生 ③神社から少し上った右側（車道沿い）
①マメナシ成育地 ②東海丘陵要素の典型 ③犬山南高校入口付近、永泉寺の周囲林（西側）
①犬山城外堀跡 ②犬山城で唯一といってよい外堀の跡 ③旧名鉄犬山ホテル
①犬山城丑寅櫓跡石垣 ②石垣の一部が現存 ③彩雲橋の東
①余坂木戸跡 ②犬山総構えの木戸、形状が良く残っている ③余坂、余遊亭近辺
①粟栖の渡し場所 ②近世までの様子がわかる ③粟栖地区
①名鉄犬山橋 ②美しいアーチ式の橋 ③犬山市内田、犬山市民の心象風景の1つ
①内藤丈草のうぶ場井戸 ②俳人丈草の生地を偲ぶ ③犬山市寺内町（新町）、私有地に隠れてよく見えないのでわかるように…
①飛驒街道拡幅記念碑 ②粟栖と縦鹿尾の三差路にある。寂光院へ上る三差路（寂光院案内看板の背後にある石碑） ③私との関係で粟栖道は飛驒街道と呼ばれていた。
①「今上陛下御探勝聖蹟にしき溪」 ②昭和2年に昭和天皇が馬で来られた ③犬山遊園から粟栖に向かう途中の狭路にみえる
①願入寺セメントの釣鐘 ②戦時中の金属供出のため取り外された釣鐘に代わって、吊られていた釣鐘状のセメントの塊 ③西古券 376 願入寺門前

文化財名・特徴・場所
①犬山城下の古い蔵・茶室・庭など ②城屋城下町に関連する資料が眠っている可能性がある。 ③犬山城下に点在
①上野弘法堂 ②別紙（弘法堂記録簿） ③立野神社、石田屋店前
①上野弘法堂 ②別紙（弘法堂記録簿） ③立野神社石田屋前
①キリシタン供養塔 ②寛文元年（1661）尾張藩による弾圧は帷子村（可児市）より五郎丸村から高木村（扶桑町）へ波及。五郎丸村では7年間に124人が処刑。当時の人口205人の半数以上で、村は橋爪村に合併され橋爪下となった。現在、橋爪地区に上・中はあるが下がないのは、この為と考えられる。 ③県道犬山線、万願寺交差点西「山の子社」にある。正徳4辰2年（1712）に建てられた「諸神諸仏諸菩薩」と刻まれた石塔。
①中々切町（北町）の馬頭観音祠 ②－ ③中々切北町の犬山高校から西へ約200mの県道の左側に位置する。
①中々切町の馬頭観音祠 ②－ ③犬山高校西側、交差点を北へ、喫茶ローレルの北東角地に位置する。
①首切り地蔵 ②今井村の境界争いでお上に裁定にたてついたので、罪となった男にちなむ ③塔野地北組の集会所の西側。他に馬頭観音など7体の中にある 別紙（首切り地蔵の写真）
①夜泣き地蔵 ②幻の寺（塔野地廃寺）付近から出土した。五輪塔や馬頭観音（道標）などが集合させてある ③塔野地中浦交差点20m南東（道路沿い） 別紙（夜泣き地蔵の写真）
①お山王様（柱穴のある礎石が出土） ②毎年夏祭りで神楽を出している ③塔野地山王 別紙（お山王を整備した際の出土品の写真）
①木曾街道沿い常夜灯と今井道への分岐を示す観音仏 ②－ ③前原天道宮（鬼まつりあり）より北へ50m程度のところ（街道の西と東）別紙（前原沿いの写真）
①今井村の祠と石仏たち ②各地にあります。石仏巡りもできる ③今井（石蔵、落洞、観音堂、禰宜洞、四ツ家、岩穴） 別紙（今井の祠と石仏の写真）
①善師野宿、常夜燈 ②一里塚と馬頭観音 ③ねぎぼら 善師野伏屋
①塔野地中ノ切の弘法堂 ②現在、持ち主がかわり、住宅建築中で、これを移動させると言っている。 ③塔野地中北の熊野神社正面左
①粟栖の渡し跡 ②石量の道、水神 ③－

文化財名・特徴・場所
①栗栖神社 ②境内社(6社)、山神 ③－
①神楽囃子保存会 ②大祭、小祭4回で神楽演奏 ③－
①羽黒城趾 ②－ ③－
①磨墨塚 ②－ ③－
①八幡林 ②－ ③－
①野呂塚 ②－ ③－
①興禅寺 ②梶原公ゆかり、入鹿切大岩等 ③－
①観音寺十一面観音、その他数点あり ②朝日町内会で管理している。 ③－
①小弓の庄(旧加茂郡銀行羽黒支店復原施設) ②明治40年代、建造された擬洋風建築 ③羽黒駅近く
①内久保砦跡 ②小牧・長久手の戦いの砦跡 ③犬山市内久保61-1 名古屋経済大学および周辺地域
①物狂峠 ②小牧・長久手の戦いに由来する峠 ③大学周辺楽田二宮地域
①内久保砦跡 ②小牧・長久手の戦いの砦跡 ③犬山市内久保61-1 名古屋経済大学および周辺地域
①石作神社の狛犬 ②－ ③－
①長瀬家の門(伝犬山城二の門) ②－ ③－
①五条川改修記念碑 ②－ ③東ふれあいセンター東
①白山神社 ②古墳がある ③安戸町内
①半の木川 ②ホテルが見られる ③新郷瀬川東

文化財名・特徴・場所
①追分道標 ②3本の道標。 ③木曾街道と稲置街道が分岐する地点。現在地権者により移動され、表示が見えない状態になっている。
①マメナシ ②樹齢150年、樹高12mの双幹の古木。 ③永泉寺墓地内にある。東海地方に分布する絶滅危惧種。
①『楽田村史』に記載記録がある旧道 ②当時の生活文化を想定できる道名が貴重 ③楽田全域。
①楽田城「南門旧跡碑」「北門旧跡碑」「裏ノ門旧跡碑」 ②楽田城外堀(推定)付近にある3か所石碑 ③「南門」は楽田本町「北門」は横町、「裏ノ門」は、名鉄楽田駅から大縣神社へ向かう市道東側。
①荒井地区「河村家屋敷」 ②岐阜もしくは小牧城下から移築したと伝えられる。織田家家紋の屋根瓦が歴史を物語る。 ③荒井地区、河村正幸氏自宅。484-0837 犬山市字荒井73番地
①追分駅舎跡(産業遺跡) ②楽田・羽黒間にあった愛岐鉄道駅舎跡 ③木曾街道と名鉄小牧線線路が交差する。線路西側。車両1両分の低い土盛り。
①瓦製八代六郎像・「立像」「胸像」2体 ②荒井地区の名工瓦職人・河村竹松氏製作。かつて楽田小学校「城山」にあった。 ③立像：小西寺：犬山市字本町 胸像：大縣神社境内(楽田神社西側)
①梶川高盛墓所、肖像画[写真⑨](常福寺) ②最後の楽田城主、梶川弥三郎高盛菩提寺、常福寺にある。寺内しだれ桜も秀逸。高盛肖像画(複製)は名古屋博物館に常設展示されている。 ③犬山市北大門30 名古屋市瑞穂区瑞穂通1-27-1 名古屋市博物館内
①山の子(子供神様)12月上旬 ②野外で御払して頂いて、たき火をし、御下がりを頂く。 ③塔野地杉ノ山、竹林の中(一角)、アミックスの南
①諸饗神社 ②社が放火で燃えてしまったから、社が元の大きさまでは復元できていない。 ③犬山市裏之門221

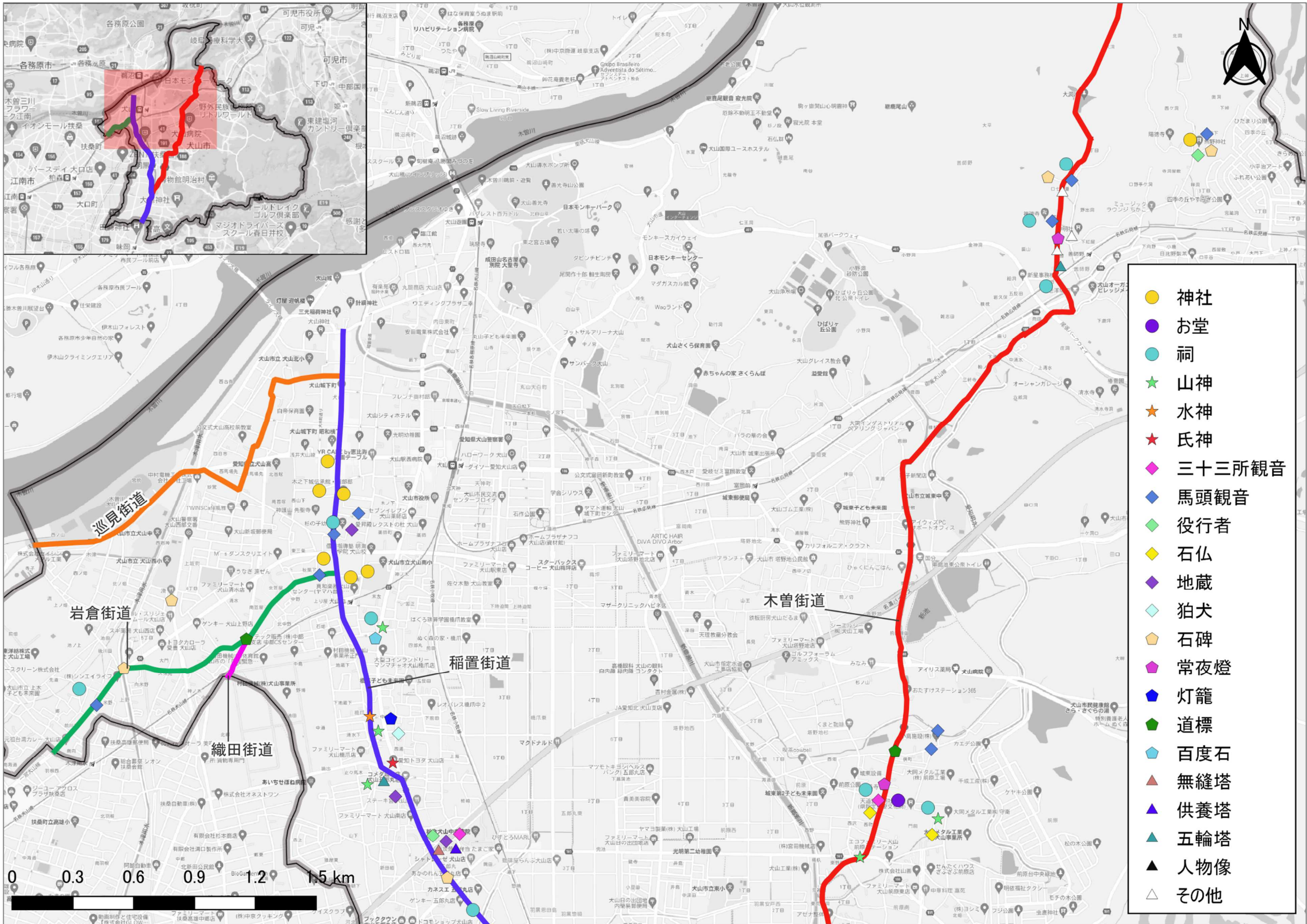
問9 地域の歴史に詳しい方をご存じでしたら教えてください(貴団体のメンバー以外でも可)。

13名の情報提供あり

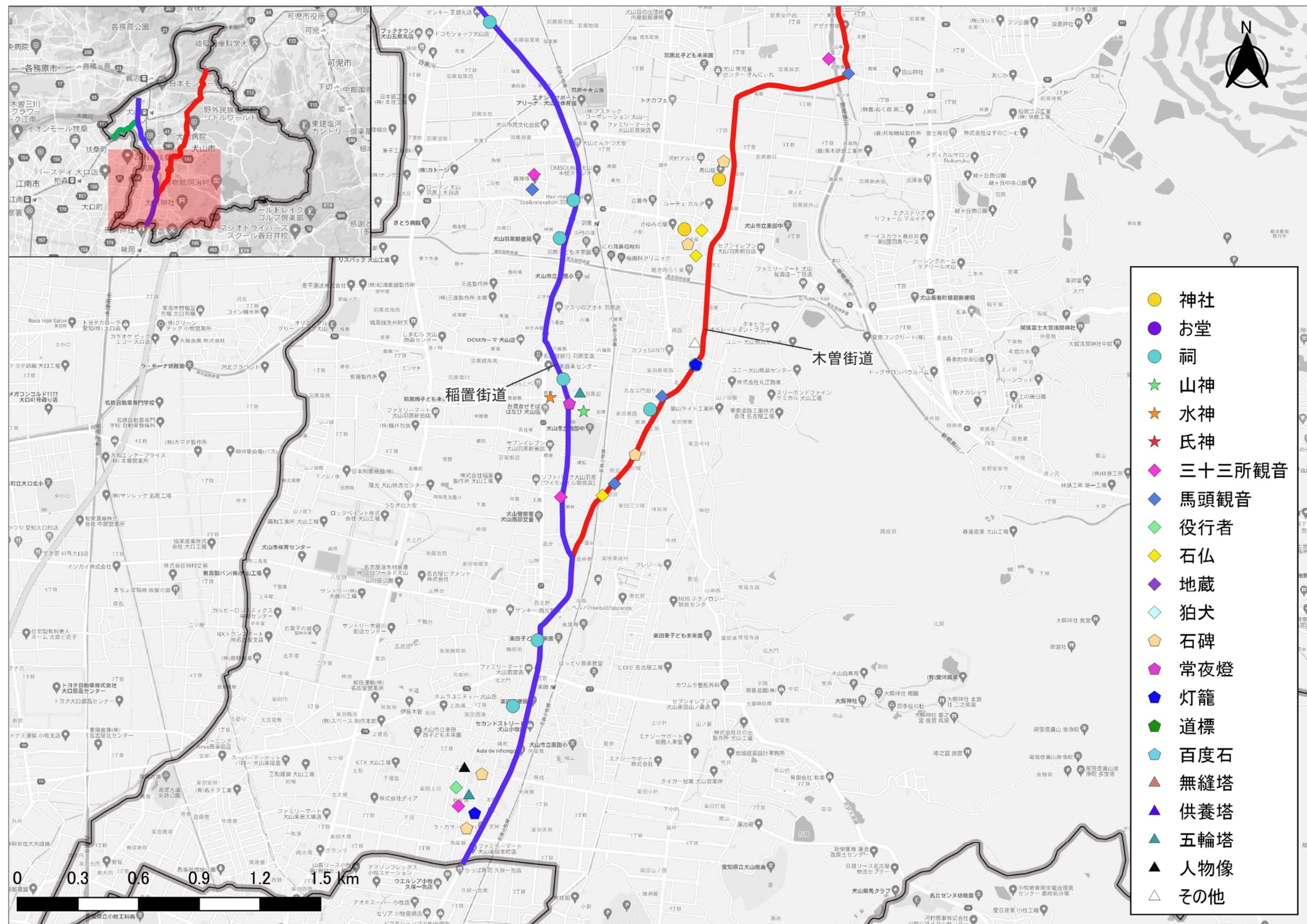
犬山市文化財保存活用地域計画 団体ヒアリング実施団体一覧

No.	地区別	実施日	団体名	活動内容
1	全体	1月20日	犬山学研究センター(名古屋経済大学)	犬山市の豊富な地域資源の研究による犬山学の構築、地域の研究機関・NPO・市民団体・自治体・企業との産官学連携ネットワークの構築
2		1月7日	特定非営利活動法人 犬山里山学研究所	犬山周辺の里山に関する調査・研究、自然資料の収集・分析、環境学習・観察・保全に関する事業の実施等
3		1月18日	犬山歴史研究会	犬山市及び周辺地域の歴史・文化の研究、講演会の開催等
4		1月18日	特定非営利活動法人 古代瀬波の里・文化遺産ネットワーク	犬山市及び周辺地域の歴史教育・文化財等の啓発活動、施設管理
5		1月14日	ナイスで犬山	観光客に対する歴史や文化財等に関する観光ガイド
6		1月20日	犬山グッドウィルガイド	外国人に対する歴史や文化財等に関する観光ガイド
7	犬山	1月7日	特定非営利活動法人 犬山城下町を守る会	歴史的建造物の修理・修景指導、施設管理・公開、建造物調査等
8		1月6日	犬山西地区コミュニティ推進協議会	各種イベントや防災訓練の実施、登下校スクールガード活動、清掃活動等
9		1月24日	上野北・南保存会	立野神社に伝わる夏祭り、秋祭りの保存・伝承者(巫女の舞・獅子舞・笛・太鼓)の育成
10		1月14日	五郎丸神明社だんだん申せ保存会	五郎丸神明社に伝わる蝗除祭の保存・伝承者(わら細工製作)の育成
11	城東	1月19日	今井小学校区コミュニティ推進協議会	入鹿池周辺への桜の植樹、草刈り等の実施
12		1月19日	城東小学校区コミュニティ推進協議会	各種住民交流事業の実施等
13		12月17日	城東の歴史を知る会	郷土の歴史についての勉強会やハイキングの企画等
14		1月20日	東コミュニティ推進協議会	各種イベントや防災訓練の実施、登下校スクールガード活動、清掃活動等
15		12月17日	ミラマチ栗栖	栗栖地区の発展のためのイベントの企画
16	羽黒	1月14日	羽黒地区コミュニティ推進協議会	羽黒地区の歴史研究、講演会の開催
17		1月20日	羽黒まちづくり委員会	羽黒城址竹林の草刈
18	楽田	1月18日	青塚古墳を見守る会	青塚古墳での清掃活動、イベントの開催等
19		1月7日	楽田地区コミュニティ推進協議会	楽田地区の歴史研究、資料収集、イベント開催等
20	池野	2月7日	石上げ祭伝承保存会	石上祭の運営・伝承

主要街道沿いの石造物・祠等の分布



出典：Google Maps



出典 : Google Maps

課題の整理と方針の検討

課 題

課題１ 調査研究・共有に関する課題

- 市内各所に残されている、未だ発掘や価値付けがされていない歴史文化資源について、その分布状況が十分に把握できていない。分野（文化財種別）ごとの把握状況に差がある。
- 市職員のみでの対応は困難であり、専門家に加えて、地域住民や事業者との協力体制構築により、計画的かつ継続的に調査を実施する体制づくりが必要である。
- 既往調査成果を電子化し、情報を体系的に管理して計画性を持った調査研究の展開・共有を図る必要がある。
- 歴史文化資源に関する価値や魅力を伝えきれておらず、地域住民との間で、地域の歴史文化資源の価値の共有が十分に図られていない。
- 文化財の保存・活用等に関する取組が十分に周知されていない。

課題２ 保存に関する課題

- 定期的な保存修理を実施し、価値を維持する必要がある。
- 資料の収蔵スペースが不足している。
- 歴史文化資源及びその関連資料、記録映像等のデジタルアーカイブ化が進んでいない。
- 近年増加している浸水被害や火災等の災害に対する備えや啓発が十分ではない。
- 文化財の類型ごとの指定数に偏りが見られる。
- 後継者不足や維持管理の困難さが未指定文化財の滅失に繋がる恐れがある。

課題３ 継承に関する課題

- 少子高齢化の進行や定年延長により、活動の担い手が不足している。
- 地域及び各種団体間の連携及び交流が図られていない。
- 新型コロナウイルス感染症の流行によって行事が行われなくなったことで、行事の段取りや作法が忘れられる懸念がある。また、行事を行わないことが常態化することで、再開を望まない声が出てくる可能性がある。
- 団体が歴史文化資源の保存・活用や人材育成を行うための資金が不足している。
- 庁内関係部署（観光、環境、都市計画、消防、市民活動等）との連携を強化する必要がある。

課題４ 活用に関する課題

- 市民が歴史文化資源と日常的に接する機会が少ない。
- 歴史文化資源の案内板、解説板等の設置が十分でなく、デザインも統一されていない。
- パンフレット、解説版等の多言語化・ユニバーサルデザイン化をさらに推進する必要がある。
- 活用の取組が特定の地域や歴史文化資源に留まっており、地域づくりに効果的に活かされていない。
- 歴史文化資源の観光資源としての活用は古くからなされているが、資源を相互につないでその価値を高め、わかりやすいストーリーで来訪者に伝えるまでには至っていない。

方 針

方針１ 歴史文化資源を理解する

- 継続的な調査を通じて歴史文化資源の把握を進め、新たな価値や魅力を発見する。
- 調査対象の幅を広げるとともに偏りを解消する。
- 専門知識を有する人材の育成に努めるとともに、調査研究機関等との連携を図り、多様な歴史文化資源に対応可能な調査体制を構築する。
- 将来的な文化財行政のICT化を見据えたデータベースを作成し、歴史文化資源に関する情報を一元化する。
- 調査成果や調査対象の価値を共有するため、積極的に情報発信を行う。
- 文化財の保存・活用等に関する取組を過程も含めて積極的に公開する。

方針２ 歴史文化資源を守る

- 保存修理は、専門家等の知見を得ながら適切に実施する。
- 収蔵スペースの確保・資料の良好な保存状態の維持に努める。
- デジタルアーカイブ化の実施に向けた情報収集・体制構築に努める。
- 歴史文化遺産の防災・防犯に対する市民意識の向上を図る。
- 平時から所有者・消防署・地元消防団・周辺地域住民との緊密な連携を図り、歴史文化資源の防災・減災に備える。
- 指定及び登録制度に基づいた歴史文化資源の保護を推進する。
- 所有者だけでなく“地域ぐるみ”で歴史文化資源を保存する体制の構築を図る。

方針３ 歴史文化資源を伝承する

- 地域や教育機関等と連携して、歴史文化資源を継承する意義や価値を市民に伝える。
- 地域活動団体、文化財関連団体等の情報共有の場を。
- 社会情勢の影響などにより活動が休止した場合も滞りなく行事を再開できるよう、運営マニュアルの作成を支援するなど、積極的な保護措置に努める。
- クラウドファンディング等、民間資金を積極的に活用できるよう支援を行う。
- 庁内関係部署との連絡調整会議を開催する等、市内部の連携を強化する。

方針４ 歴史文化資源を活かす

- 所有者等と意識の共有を図り、市民が文化財に接する機会を提供する。
- 看板設置等、歴史文化資源や施設の周辺環境整備を推進するとともに、ボランティアガイド等との連携を強化し、幅広い層を受け入れる体制づくりに努める。
- 活用の範囲を広げ、歴史文化資源を活かした地域づくりに対する意識を市民と共有する。
- 関連する文化遺産をつなぎ、歴史文化資源の相互価値や魅力を高める。

(3) 犬山市の歴史的環境（修正版）

① 犬山市の歴史

古墳時代以前

犬山では、木曽川によって運ばれた砂や礫の堆積した扇状地が広がっており、縄文・弥生時代に小集落が生まれた。入鹿池の付近は礫の多い地層をなし、旧石器時代から弥生時代にかけての土器や石器が池周辺の至るところに散布している。また、羽黒の北屋敷遺跡は、洪積世の段丘縁辺に所在し、搔器や石刃、削器、尖頭器などが出土している。石器の剥離技術からみると、旧石器文化の終わりごろの遺跡として把握される。木曽川の河岸段丘にある材木町遺跡は、北屋敷遺跡よりやや新しい遺跡である。田口洞遺跡は塔野地に所在する遺跡であり、この遺跡は西側斜面の尾根付近から愛知用水の堤防までに広がっている。このように、市内では、旧石器時代の生活の跡が数多くみられる。

縄文時代の遺跡としては、上野遺跡から縄文早期の押型文土器が出土しているが、縄文時代前期以降は、犬山市域においては遺跡がほとんど見られなくなり、栗栖地区の尾崎遺跡で縄文時代中期後葉から後期にかけての土器片や石器が確認されている程度である。

弥生時代になると、生活の基盤は狩猟から農耕へと移りつつあったが、犬山扇状地の扇頂部にあった上野遺跡は低湿地に恵まれず、狩猟や漁労・採集にも多く依存していたことが分かる。常に木曽川の洪水にさらされる杞憂が絶えない位置にあったため、遺跡は微高地で洪水の害を受けにくい安全な場所に展開していた。

弥生時代後期になると、集落の拡大がみられるようになる。自然をうまく利用すると同時に、土地環境に働きかけて可耕地を有効に活用するようになり、犬山扇状地や東部丘陵地から流れ出た水路の縁辺に小規模な遺跡が形成された。四郎丸遺跡・青塚南遺跡など、犬山市域から扶桑町・大口町にかけて弥生時代後期の遺跡数が急増したが、分村化による遺跡数の増加と考えられ、扇状地としての制約から大集落になることはなかった。

古墳時代前期の3世紀後半頃には、木曽川中流域における最古・最大の前方後方墳である東之宮古墳が築造された。その後、犬山扇状地では5世紀にかけて青塚古墳や妙感寺古墳等の大型の前方後円墳が築造された。古墳時代前期の集落跡としては、市内の上野遺跡のほか、岐阜県各務原市の鵜沼古市場遺跡群が確認されている。

古墳時代後期から終末期にあたる6世紀から7世紀を中心とした時期には、内田・丸山古墳群、上野古墳群、入鹿池古墳群をはじめとして各地に古墳群が形成され、犬山市域では100を超える古墳が確認されている。

大王（現在の天皇）を中心に中央集権体制が確立されると、在地豪族である県主や国造の勢力が弱められ、畿内政権の支配が強まった。それに伴い、屯倉が設置され、人・土地・建物が政権の直轄地として位置づけられた。尾張に設置された屯倉の一つである入鹿屯倉は、正確な場所は把握されていないものの、入鹿池周辺または安楽寺及び五条川上流域がその対象とされている。

古代～中世

律令制が敷かれた頃には、国・郡・里制とよばれる行政区画がつくられ、中央集権体制が進んだ。市内に残る「西三条」、「東三条」や「梅坪」などの地名は、律令制下における条里制の名残とされる。延喜式によると、尾張国は上国とされるなど、国として高い地位を獲得していた。尾張における摂関家領の最も早い例と言われる小弓荘は、藤原道長が建立した持仏堂法成寺に良峰季光が寄進

して成立したとされる莊園であり、遅くとも 11 世紀には成立していた。羽黒地内には当時の地方行政の末端組織である「郷」として、市内で唯一確認できる小弓郷が成立しており、良峰氏は、丹羽郡司を代々務めた家系である。小弓荘は、鎌倉時代以後は近衛家領として伝領されたことから、建長 5 年（1253）の近衛家所領目録にも、その記述が見られる。

11 世紀前半には、市域内の東部丘陵地で焼物が盛んにつくられるようになり、これらの跡は堂ヶ洞古窯や橋爪池古窯からも確認される。また、中世の羽黒では鋳物師集団が活躍し、主として青銅製仏具の鋳造を職業とした技術者集団の根拠地となった。中でも、一宮市妙興寺の鐘は、羽黒金屋の作品の中で最も古いとされている。

社殿によると垂仁天皇 27 年（紀元前 3）に現在の地に遷座したとされる大縣神社は、康治 2 年（1143）の尾張国安食荘検注帳案に大縣社領が「二宮領」として表記されており、遅くとも 12 世紀前半には、尾張二宮としての地位を得ていたと考えられる。平安末期から鎌倉末期にかけて大縣社を実質的に支配していたのは丹羽郡司として影響力を持ち続けた良峰氏の流れを汲む社家一族であったが、15 世紀半ば頃には、大縣社及び大縣社領の経営を守護被官である織田氏が請け負うようになった。中世の資料によれば、大縣社では、年中行事として大般若經の転読などの仏事が行われており、江戸時代初期の資料には「二宮神宮寺仏供田」などの記載が見られることから、神仏習合した神社であったことがわかる。

犬山の地名が史料として最初に確認できるのは、美濃の横蔵寺に架蔵されている大般若波羅蜜多經奥書（永和 4 年 1378 年）の「尾州犬山郷之内、繼鹿尾山八葉□□」、「犬山清水寺」であり、後醍醐天皇の皇子宗良親王歌集「李花集」に収められている歌の詞書にも「犬山」の地名が見られることから、南北朝期には定着していたとされる。文亀 3 年（1514 年）、永正 11 年（1514）の阿弥陀如来画像裏書には、のちに城下町を形成していく現市街地も「犬山」と称されるなど、中世の「犬山」は、少なくとも現在の市街地から繼鹿尾・善師野の丘陵地帯までを含む犬山市北西部を示す地名であったと考えられている。

応仁の乱前後の尾張の争乱では、守護斯波家と守護代織田家に二分され、争乱が 20 年に及んだことで、織田信秀が尾張を統一の機運に向かわせるまでは分裂状態が続いていた。

戦乱期においては、源平合戦で勇名を馳せた源頼朝の重臣・梶原景時の子孫である梶原茂助景義が、天正 10 年（1582）に本能寺の変で討死して梶原家が途絶えるまで梶原一族によって治められた。天文 6 年（1537）に織田信康によって築城された犬山城は、本能寺の変後の後継者争いから天正 12 年（1584）に羽柴秀吉と織田信雄・徳川家康の連合軍が衝突した「小牧・長久手の戦い」の際に、池田恒興の急襲に遭い落城した。その後も、秀吉方の森長可と織田・徳川方の酒井忠次らが戦った羽黒八幡林の戦いが起こり、秀吉が楽田城を本陣とするなど、犬山市域はこの戦いにおける主戦場の一つとなった。小牧・長久手の戦い以降、犬山城主はめまぐるしく変わったが、元和 3 年（1617）に成瀬正成が城主となってからは、幕末まで成瀬家が代々城主を務めることとなった。

近世

成瀬氏はもともと三河国足助庄（現豊田市足助町）を本拠地としていたが、同国松平郷（現豊田市松平町）の松平親氏に仕えたことをきっかけに、徳川氏との関係を築いた。元和 2 年（1617）に成瀬正成は秀忠の命により犬山城を預けられ、成瀬氏として初代の犬山城主となった。犬山城は、正成入部後の元和年間に城の整備が行われて以降、代々にわたって大改修工事が行われ、4 代正幸の代には、ほぼ城郭が整備されている。

また、犬山の城下町は、町の中央部に町人地を置き、武家町はそれを取り巻くように配置され、

町全体を土塁や堀で取り囲んでおり、成瀬正成が入部する以前から、ほぼ、その基本となる形を整えていた。犬山城下町は、近世身分制社会の支配機軸であった身分、職業、居住地が三位一体として固定化されていたことを受け、町並み構成についても、士・農・工・商に町割りがなされていた。商・工の同業者を同じ町内に住まわせるなどして、町の発展を促すとともに、成瀬氏における支配統制が図られていた。犬山の町人地に存した鍛冶屋町・魚屋町・鵜飼町等の地名がそれを物語っている。

犬山城下では、酒造業や紺屋職、製瓦業、鍛冶・刀工などの工業が発展し、また、町ごとに日を定めて市が開催されたことで、町の繁栄に大きく影響した。犬山焼は元禄年間に起源を持つ「今井窯」から始まったとされているが、今井焼は天明7年（1781）に廃絶した。その約30年後の文化7年（1810）には、島屋宗九郎が城下東郊の丸山新田に窯を築き、いわゆる犬山焼を創業した。その後は経営難や資金不足等に悩まされながらも陶業者によって受け継がれ、今日では犬山を代表する伝統工芸品として桜・紅葉を描いた雲錦手や、赤絵の手法による絵付けの花瓶・壺・抹茶茶碗等が人気を博している。

犬山城下町では、寛永12年（1635）に針綱神社の祭礼である「犬山祭」が始まったと言われている。慶安2年（1649）頃、3代城主成瀬正虎によって車山や練り物を出して祭るようになると祭礼が奨励されたため、翌年の慶安3年（1650）には、各町内が車山や練り物を出すようになった。祭礼に曳山の類を巡行する祭りの形式は、今日においても全国各地で見受けられ、それぞれの土地で「鉾」「山車」「屋台」「車楽」などと呼ばれているが、犬山では「車山」と表記し、「やま」と言い慣わされている特徴がある。安永年間（1771～1780）には、犬山祭の車山に唐子などのからくり人形が乗り、車山が一層豪華になり始めた。これら車山は、曳山の形態では「屋台」に属し、さらに人形を有することから「人形屋台」に類別することができる。この形態は、三層式の屋台の中では起源が最も古いものと言われており、「犬山式人形屋台」と、独立して分類される場合もある。

そのほか、万治3年（1660）頃には、鵜匠により操られた鵜が、灯された篝火の下で鮎を獲る独特の漁法である「鵜飼漁」が本格化し、近年の観光鵜飼の基となった。

犬山は木曽川を隔てて美濃に接している地域特性から、木曽街道、犬山街道（稲置街道）、柳街道（岩倉街道）、巡見街道などの街道が整備され、往来の人が多く立ち寄った。中でも、中山道と結び木曽へとつながる木曽街道は、尾張藩の主要道の一つとして一里塚が整備されたほか、善師野には宿駅が置かれた。名古屋方面との交流も盛んであり、随筆・紀行をはじめ、伝説・物語、和歌・狂歌など多くの文化が花開いた。

犬山は、木曽川を下る材木の中継、あるいは荷物の発着といった湊としての機能を有しており、犬山湊で扱われる物資の中で最も比重の大きいものは材木であった。上流から流されてきた木曽材、飛騨材は、犬山に到着した後、犬山湊支配神戸家によって改められ、問題がなければ筏2枚が一つにつながられて、さらに川下へと移送された。材木筏ばかりでなく通船も多く、元禄3年（1690）頃には年1万艘ほどもあったという。また、荷物だけでなく、人も乗船して川を下ることもあった。

近世には、尾張藩による木曽川の治水や水利の確保、新田開発が進められ、犬山市域は水源として重要な役割を果たした。慶長14年（1609）から翌年にかけて、木曽川分流支川をしめ切って尾張側への流入を防ぐ大築堤工事を行い、犬山から河口までの木曽川の流れを固定した（御囲堤）。その一方で、木曽川の水を灌漑に利用するため、枅（水門）を設けて用水路の整備を図り、慶安3年（1650）に木津用水、さらに寛文4年（1664）には新木津用水が整備されて、新田開発が進んだ。新木津用水はその後、用水量の増大に合わせて木曽川と名古屋城の堀川を船で物資を運ぶ水運業明

治 19 年に開始し、旅人や木曾川の丸石、薪炭や米などを運んで、地域の発展に大きく貢献した。

寛永 5 年（1628）には、「入鹿六人衆」と呼ばれる郷土によって、元々周囲を山に囲まれた盆地状の低地に河川が流れ込む入鹿の地の地形を利用してため池とし、丹羽郡や春日井郡の台地を開発しようとする計画が持ち上がり、犬山城主成瀬正虎の取次で尾張藩主に願い出た。寛永 9 年から着手し、寛永 10 年には入鹿池が完成して、犬山の台地の新田開発が進んだ。入鹿池の築造に伴い、入鹿村の人々は主に前原の地へと移転し、神尾や奥入鹿へと移転した者もあった。ところが、明治元年（1868）、4 月から降り続いた長雨により、5 月 14 日ついに入鹿池の河内屋堤が決壊し、尾張北部一帯を浸水させる大惨事となった。「入鹿切れ」と呼ばれるこの大洪水の被害は 133 か村に及び、死者 941 人、負傷者 1471 人流出家屋 807 戸、浸水家屋 11,709 戸を数える甚大なものであった。

近代・現代

明治元年（1868）に尾張藩から犬山藩が独立し、明治 4 年（1871）、廃藩置県により犬山藩は犬山県に改められた。この廃藩置県によってこれまでの藩体制は解体され、犬山県は同年 11 月に名古屋県に市域の村々とともに合併され、すべて名古屋県の管下に属することとなった。明治維新後には、江戸詰め・名古屋詰めの武士が帰郷して居住した結果、開発可能な周辺部が宅地化された。近世封建社会から近代社会への変化に伴い、さまざまな活動の制限が解消された。明治 6 年（1873）には地租改正法が公布され、**金納制度に転化した租税体系が確立されたことで、土地利用売買に対する制限がなくなり、分割所有されて利用可能となった「総構え」は、近代に入り急速に姿を消した。**明治 11 年（1878）には地方官会議が開かれ、町村制が敷かれた。犬山市域の町村制は明治 22 年（1889）に施行され、新しく善師野村、岩田村、今井村、楽田村、羽黒村、犬山町、岩橋村、高雄村の一町七か村が誕生した。

明治維新以降、主要道路の整備などによる交通の発達と相まって、犬山町は武士の町から商人の町へと変容し、明治の末頃には、戸数 2,100 余戸、人口 11,000 人を超えるに至った。大正元年には名古屋電気鉄道株式会社が岩倉経由で名古屋の押切から東一宮間（本線）、犬山から岩倉間（支線）で鉄道を開業し、この鉄道敷設が商業活動に一層の活力を与えることとなった。商業の発達に加えて観光業も発達し、木曾川（日本ライン）が昭和 2 年（1927）に日本八景に当選したこともあって観光客が増加し、商業のさらなる振興につながった。

昭和 28 年（1953）から始まった町村合併は、近代的地方自治行政を必要とする新しい市町村の発足のための一大変革であり、「町村合併促進法」の施行を契機として各地で合併の機運が盛り上がった。同年には、犬山町・城東村・羽黒村・楽田村・池野村の五か町村の合併問題に関する協議が重ねられ、昭和二九年（1954）3 月に犬山市が誕生した。市制施行当時の市の面積は 74.24 平方メートル、人口は 35,995 人であった。

木曾川が名勝に、犬山城天守が国宝に指定されたことで、全国的にも犬山市が知られるようになるとともに、明治村の開村や国宝如庵の移設などにより、観光地としての発展が見られるようになった。

城下町では、商業の活性化を図るため、通りに面してパラペット看板を立ち上げるなど町家の改修が進んだが、平成 7 年の「全国町並みゼミ犬山大会」開催決定を機に景観に対する意識が高まり、近年ではその伝統的な意匠を後世に伝えるためかつての姿に修景され、城下町の景観が復元されつつある。平成 28 年（2016）には犬山祭の車山行事が全国の 32 件の祭りとともに「山・鉾・屋台行事」としてユネスコ無形文化遺産に登録され、平成 30 年（2018）には、「犬山城跡」が史跡指定されるなど、犬山城及び城下町における取組みが、その歴史的価値の向上につながっている。

令和4年度犬山市文化財保存活用地域計画作成事業計画（案）

1. 文化財に関する情報収集、調査

- （1）現地調査
- （2）文化財データベース作成

2. 文化財保存活用地域計画の作成

- （1）文化財保存活用地域計画の具体的な記載内容の検討
 - ①文化財の保存・活用に関する措置の検討
 - ②文化財を把握するための調査に関する検討
 - ③文化財の保存・活用の推進体制の検討
 - ④関連文化財群に関する検討
 - ⑤文化財保存活用区域に関する検討
 - ⑥文化財の防災・防犯に関する検討 など
- （2）文化財保存活用地域計画（案）のとりまとめ
 - ①計画書（案）の作成
 - ②概要版（案）の作成

3. 市民向け説明会の開催

地域住民への周知を目的とする市民向け説明会の開催